

FUJITSU Printer

B5WY-1701-01 Z0



XL シリーズ

ソフトウェアガイド

カラーページプリンタ XL-C8350

FUJITSU

目次

このマニュアルについて	5
本書のマーク	5
本書の記号	5
本書の表記	6
1. 便利な印刷機能	8
機能の説明	8
はがき、往復はがき、封筒に印刷する	9
ラベル紙に印刷する	10
任意の用紙サイズに印刷する	11
手差し印刷をする	13
1枚の用紙に複数のページを印刷する（マルチページ印刷）	14
両面印刷する	14
ページを拡大 / 縮小する	15
部単位で印刷する	15
小冊子用にページを並べ替えて印刷する（製本印刷）	16
表紙のみ別のトレイから印刷する	16
ポスター印刷をする	17
印刷品位（解像度）を変更する	17
カラーデータをモノクロで印刷する	18
細線や小さな文字を補正する	18
トレイを自動的に選択する	19
トレイを自動的に切り替える	19
トナーを節約する	20
ウォーターマークを印刷する	20
プリンタードライバーの設定を保存する	21
プリンタードライバーの初期設定を変更する	22
プリンターのフォントを使用する	22
コンピューターのフォントを使用する	23
印刷モードを変更する	23
ファイルに出力する	24
2. カラーを調整する	25
操作パネルでカラーを調整する	25
色ずれ補正を手動で行う	25
濃度補正を手動で行う	25
カラーバランス（濃度）を調整する	26
コンピューターでカラーを調整する	27

カラーモード (推奨)	27
カラーモード (カラー調整)	27
カラーモード (カラーマッチングオフ)	28
黒の仕上がりを変更する	28
文字と背景の間の白すじを目立たなくする (ブラックオーバープリントをする)	29
カラー調整ユーティリティでカラー調整する	30
インストールする	30
パレットカラーを変更する	30
ガンマ値や色相を変更する	31
調整後のカラー設定で印刷する	32
カラー調整の設定を保存する	32
カラー調整の設定をインポートする	33
カラー調整設定の削除	33
アンインストールする	34
色見本印刷ユーティリティでカラーを指定する	35
インストールする	35
色見本を印刷する	36
希望する色でファイルを印刷する	36
アンインストールする	36
3. プリンター本体の設定を変更する	37
現在の設定を確認する	37
プリンター情報を印刷する	37
機器設定を変更する	38
管理者用メニュー	38
その他設定のメニュー	38
Boot Menu	38
各設定メニューの項目一覧	39
4. ユーティリティーソフトウェアを使う	64
各ユーティリティーの概要	64
ユーティリティー	65
Web ページ (FUJITSU Printer Internet Service)	65
FUJITSU LPR ユーティリティ	67
Network Extension	71
5. ネットワークに関する設定	73
ネットワーク設定項目	73
IP アドレスの設定	87

Web ページ (FUJITSU Printer Internet Service) からネットワーク設定を 変更する	90
消耗品寿命やエラーをメールでエラー通知する (E メールアラート)	90
IP アドレスを使用してアクセスを制御する (IP フィルタリング)	91
MAC アドレスを使用してアクセスを制御する (MAC アドレスフィルタリング)	92
SSL/TLS で通信を暗号化する	92
IPP 印刷	93
WSD 印刷	97
IPSec で通信を暗号化する	100
SNMPv3 を使用する	101
IPv6 を使用する	101
IEEE802.1X を使用する	102
その他の操作	103
ネットワーク設定を初期化する	103
DHCP を使用する	103
6. こんなときには	105
初期化する	105
機器設定を初期化する	105
プリンタードライバーを削除またはアップデートする	106
プリンタードライバーを削除する	106
プリンタードライバーをアップデートする	108

■ このマニュアルについて

本書のマーク

本書では、以下のマークを使用しています。



- 本プリンターで未サポートの情報を示しています。必ずお読みください。



- 操作に関する重要な情報を示します。必ずお読みください。



- 操作に関する追加情報を示します。お読みになることをおすすめします。



- 参照ページを示します。詳しい情報や関連する情報を知りたいときにお読みください。

本書の記号

本書では、以下の記号を使用しています。

記号	説明
[]	<ul style="list-style-type: none">● 液晶パネルのメニュー名を示します。● コンピューターのメニュー、ウィンドウ、およびダイアログ名を示します。
「 」	<ul style="list-style-type: none">● 液晶パネルのメッセージおよび入力テキストを示します。● コンピューター上でのファイル名を示します。● 参照先のタイトルを示します。
< > ボタン / キー	操作パネルのボタンまたはコンピューターのキーボードのキーを示します。
>	本機またはコンピューターのメニュー階層を示します。

本書の表記

製品などの呼び方について

本書では製品名称などを、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記		
Microsoft® Windows Server® 2016 Standard			
Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter	Windows Server 2016		
Microsoft® Windows Server® 2016 Essentials			
Windows 10 Home 64 ビット版			
Windows 10 Pro 64 ビット版			
Windows 10 Enterprise 64 ビット版			
Windows 10 Education 64 ビット版	Windows 10		
Windows 10 Home 32 ビット版			
Windows 10 Pro 32 ビット版			
Windows 10 Enterprise 32 ビット版			
Windows 10 Education 32 ビット版			
Windows 8.1 64 ビット版			
Windows 8.1 Pro 64 ビット版			
Windows 8.1 Enterprise 64 ビット版	Windows 8.1		
Windows 8.1 32 ビット版			
Windows 8.1 Pro 32 ビット版			
Windows 8.1 Enterprise 32 ビット版			
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter			
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard	Windows Server 2012 R2		
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Essentials			
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Foundation		Windows Server 2012	
Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter			
Microsoft® Windows Server® 2012 Standard		Windows Server 2012 (R2 以外)	
Microsoft® Windows Server® 2012 Essentials			
Microsoft® Windows Server® 2012 Foundation			
Windows 7 Ultimate 64 ビット版			
Windows 7 Enterprise 64 ビット版			
Windows 7 Professional 64 ビット版			
Windows 7 Home Premium 64 ビット版			
Windows 7 Ultimate 32 ビット版	Windows 7		
Windows 7 Enterprise 32 ビット版			
Windows 7 Professional 32 ビット版			
Windows 7 Home Premium 32 ビット版			
Windows 7 Starter			
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard	Windows Server 2008 R2		
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise		Windows Server 2008	

製品名称	このマニュアルでの表記		
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard (64-bit)	Windows Server 2008 (R2 以外)	Windows Server 2008	Windows
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™ (64-bit)			
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise (64-bit)			
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™ (64-bit)			
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard (32-bit)			
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™ (32-bit)			
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise (32-bit)			
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™ (32-bit)			
Web Services on Devices	WSD		

画面例、イラストについて

- このマニュアルに掲載されている画面例の IP アドレスやホスト名などは一例であり、実際の入力内容を表すものではありません。
- 画面例でプリンター名を「XL-XXXX」と表示している箇所があります。このときは、お使いのプリンター名で読み替えてください。
- 機種、ソフトウェアのバージョン、OS によっては、画面例とは表示内容が一部異なることがあります。
- 本書に掲載されているプリンターのイラストは、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。
- 本書では、特に記載がない限り Windows 7 を例にしています。

Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012 の「サインイン」／「サインアウト」について

Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012 の場合、Windows やソフトウェアに「ログイン」することを「サインイン」、「ログオフ」することを「サインアウト」と言います。ただし、本書では、Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012 の場合でも「ログイン」「ログオフ」と表記しています。

[スタート] メニューの[すべてのアプリ]について(Windows Server 2016/Windows 10の場合)

[スタート] をクリックしてアプリの一覧が表示されていない場合は、[](すべてのアプリ) をクリックし、アプリの一覧を表示させてください。

商標および著作権について

RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

1. 便利な印刷機能

！お願い！

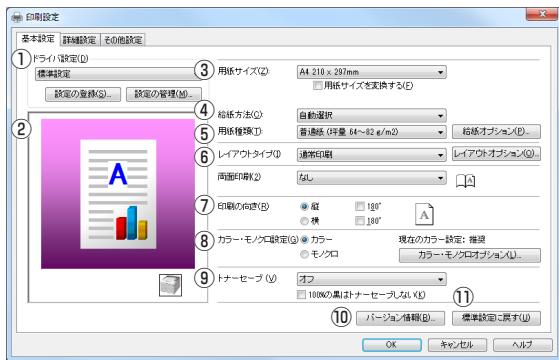
- 本プリンターでは、網掛け部は未サポートです。設定しないでください。

この章では、いろいろな印刷機能について説明します。

機能の説明

プリンタードライバーの機能

【基本設定】タブ



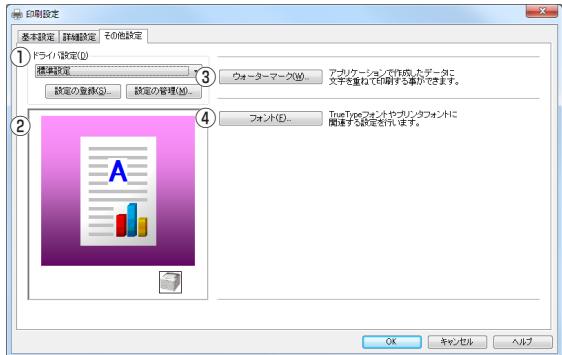
項目	説明
① ドライバ設定	設定した内容を保存したりします。
② プレビュー画面	印刷結果のイメージを表示します。
③ 用紙サイズ	用紙サイズを指定します。
④ 給紙方法	給紙方法を指定します。
⑤ 用紙種類	用紙の種類を指定します。
⑥ レイアウトタイプ	マルチページ印刷、製本印刷、ポスター印刷などを指定します。
⑦ 印刷の向き	印刷の向きを指定します。
⑧ カラー・モノクロ設定	カラー印刷、モノクロ印刷を指定します。
⑨ トナーセーブ	トナーを節約して印刷します。
⑩ バージョン情報	プリンタードライバーのバージョンを表示します。
⑪ 標準設定に戻す	タブ内の設定を初期値に戻します。

【詳細設定】タブ



項目	説明
① ドライバ設定	設定した内容を保存したりします。
② プレビュー画面	印刷結果のイメージを表示します。
③ 印刷品位	印刷するときの解像度を指定します。
④ 拡大・縮小	印刷するときの拡大 / 縮小率を指定します。
⑤ 部数	印刷部数を指定します。
⑥ その他特殊設定	その他の印刷設定ができます。
⑦ 標準設定に戻す	タブ内の設定を初期値に戻します。

【その他設定】タブ



項目	説明
① ドライバ設定	設定した内容を保存したりします。
② プレビュー画面	印刷結果のイメージを表示します。
③ ウォーターマーク	スタンプ印刷をしたいときに設定します。
④ フォント	TrueType フォントやプリンターフォントについて設定します。

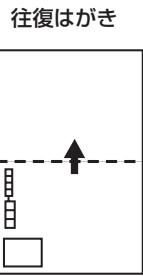
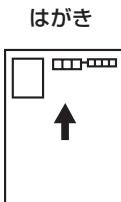
はがき、往復はがき、封筒に印刷する

はがき、往復はがき、封筒に印刷するときは、用紙サイズの設定を変更し、マルチパーパストレイとフェイスアップスタッカーを使用します。

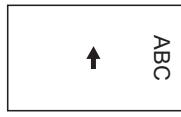
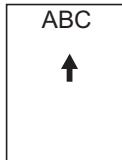
まず、操作パネルでマルチパーパストレイの用紙サイズを設定します。そのあとで、プリンタードライバーで用紙サイズ、用紙トレイなどの印刷設定を行います。

! 注

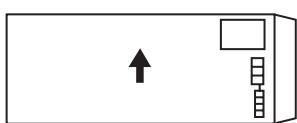
- 印刷後は反りやシワが発生することがあります。必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。
- はがき、往復はがきは印刷する面を上に、封筒は宛名面を上にし、それぞれ次の向きにセットします。
 - はがきは、上端から給紙口に入していくようにセットします。
 - 往復はがきは、右端から給紙口に入していくようにセットします。
 - 長形封筒（長形3号、長形4号）は、フラップ（ふたののりしろ部分）を開いた状態で、図のようにセットします。
 - 洋形封筒（洋形0号、洋形4号）は、フラップ（ふたののりしろ部分）を折った状態で、図のようにセットします。



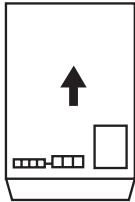
用紙に上下がある場合



封筒（長形3号、長形4号）

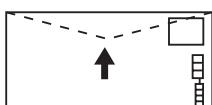


封筒（角形3号、2号）



* フラップは折らずにそのままセット

封筒（洋形0号、4号）



メモ

- はがき、往復はがき、封筒は、両面印刷できません。

■ 参照

- 使用できるはがき・封筒の種類については、「ハードウェアガイド」を参照してください。
- はがき、往復はがき、封筒は手差し印刷することもできます。手差し印刷については、「手差し印刷をする」(P.13) を参照してください。

1 マルチパーパストレイに用紙をセットします。

■ 参照

- 「ハードウェアガイド」 - 「マルチパーパストレイから印刷する」を参照してください。

2 背面のフェイスアップスタッカーを開きます。

メモ

- 常に、はがきや封筒をマルチパーパストレイから印刷したい場合は、セットした用紙を本機に登録します。一度だけ印刷をしたい場合は、プリンタードライバーからの印刷手順へ進んでください。

3 <Fn> キーを押します。

4 数値の入力画面になるので、[9]、[0]、<設定>ボタンを押します。

5 スクロールボタン▼を押して [はがき]、[往復はがき]、または [封筒*] を選択し、<設定>ボタンを押し、用紙サイズを設定します。

* 封筒の種類を選択します。

6 <オンライン>ボタンを押し、メニュー mode を終了します。

7 コンピューターで、印刷するファイルを開きます。

8 プリンタードライバーで、用紙サイズ、用紙トレイ、印刷の向きを指定し、印刷します。

プリンタードライバーで設定する

1 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

2 [詳細設定] (または [プロパティ]) をクリックします。

3 [基本設定] タブの [用紙サイズ] から [はがき]、[往復はがき]、または [封筒*] を選択します。 * 封筒の種類を選択します。

4 [給紙方法] から [マルチパーパストレイ] を選択します。

- 5 [印刷の向き] で印刷の向きを選択します。
 - 長形封筒の場合は [縦] を選択します。
 - 洋形封筒の場合は [横] を選択します。
- 6 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

ラベル紙に印刷する

ラベル紙に印刷するときは、用紙の種類の設定を変更し、マルチパーカストレイとフェイスアップスタッカーバーを使用します。

まず、操作パネルでマルチパーカストレイの用紙サイズと用紙種類を設定します。その後で、プリンタードライバーで用紙サイズ、用紙トレイなどの印刷設定を行います。

メモ

- ラベル紙は両面印刷できません。

参照

- 使用できるラベル紙については、「ハードウェアガイド」を参照してください。
- ラベル紙は、手差し印刷することもできます。手差し印刷については、「手差し印刷をする」(P.13) を参照してください。

1 マルチパーカストレイに用紙をセットします。

参照

- 「ハードウェアガイド」 - 「マルチパーカストレイから印刷する」を参照してください。

2 背面のフェイスアップスタッカーバーを開きます。

メモ

- 常にラベル紙をマルチパーカストレイから印刷したい場合は、セットした用紙を本機に登録します。
- 一度だけ印刷をしたい場合は、プリンタードライバーからの印刷手順へ進んでください。
- プリンタードライバーが節電モードになっている場合は、<節電>ボタンを押し、節電モードから復帰してください。

3 <Fn> キーを押します。

4 数値入力の画面になるので、[9]、[0]、<設定>ボタンを押します。

5 スクロールボタン▼を押して [A4] または [レター] を選択し、<設定>ボタンを押します。

6 <戻る> ボタンを押し、[マルチパーカストレイ設定] 画面が表示されていることを確認します。

7 スクロールボタン▼を押して [用紙種類] を選択し、<設定>ボタンを押します。

8 スクロールボタン▼を押して [ラベル紙] を選択し、<設定>ボタンを押します。

9 <オンライン> ボタンを押し、メニュー画面を終了します。

10 コンピューターで、印刷するファイルを開きます。

- 11** プリンタードライバーで、用紙サイズと用紙トレイを指定します。

プリンタードライバーで設定する

- 1** [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 2** [詳細設定] (または [プロパティ]) をクリックします。
- 3** [基本設定] タブの [用紙サイズ] から [A4] または [レター] を選択します。
- 4** [給紙方法] から [マルチパーパストレイ] を選択します。
- 5** 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

任意の用紙サイズに印刷する

任意の用紙サイズ（カスタムサイズ）をプリンタードライバーに登録して、長尺用紙など、さまざまなサイズの用紙に印刷できます。

● 設定できるカスタムサイズの範囲

幅：64～297 mm

長さ：90～1320.8 mm

給紙できる用紙サイズはトレイにより異なります。

! 注

- 用紙は縦向きに登録し、縦向きにトレイにセットします。
- 長さが 432 mm を超えるときは、フェイスアップスタッカーを使用します。
- アプリケーションによっては、この機能が使用できないことがあります。
- 長さが 432 mm を超える用紙の印刷品質は保証できません。
- 用紙が長すぎて、マルチパーパストレイの用紙サポートからはみ出るときは、用紙を手で支えてください。
- トレイ 1 またはトレイ 2/3/4 を使用するときは、操作パネルの <設定> ボタン > [メニュー] > [トレイ構成] > [(使用しているトレイ) の設定] > [用紙サイズ] > [カスタムサイズ] を選択してから、以下の操作を行ってください。
- 幅が 100 mm 未満の用紙は、紙づまりの原因になることがありますので、ご使用をおすすめしません。

■ 参照

- それぞれのトレイに給紙できる用紙サイズや両面印刷ができる用紙サイズについては、「ハードウェアガイド」を参照してください。
- 工場出荷時の設定では、トレイの自動切り替えは有効になっています。印刷中に用紙がなくなると、自動的に別のトレイから給紙を始めます。特定のトレイからだけカスタムサイズの用紙を給紙する場合には、トレイの自動切り替えを無効にしてください。トレイの自動切り替えについては、「トレイを自動的に切り替える」(P.19) を参照してください。

■ カスタムサイズ（任意の用紙サイズ）を設定する

カスタムサイズの用紙をセットするには、印刷前に用紙の幅と長さを登録する必要があります。設定できるサイズの範囲は、用紙トレイによって異なります。

トレイ	使用できる用紙サイズの範囲
トレイ 1	幅： 105～297 mm(4.1～11.7インチ) 長さ： 148、182～431 mm (5.8、7.2～17.0インチ)
トレイ 2/3/4 (オプション)	幅： 148～297 mm(5.8～11.7インチ) 長さ： 182～431 mm(7.2～17.0インチ)
マルチパーパス トレイ	幅： 64～297 mm (2.5～11.7インチ) 長さ： 90～1321 mm(3.5～52.0インチ)

! 注

- [用紙サイズ] が [カスタムサイズ] に設定されている場合のみ、[カスタムサイズ] が表示されます。
- 両面印刷に使用できる用紙サイズの範囲は、トレイ 2 に使用できる用紙サイズの範囲と同じです。

- 1 操作パネルの <設定> ボタンを押します。
- 2 スクロールボタン▼を数回押して [メニュー] を選択し、<設定> ボタンを押します。
- 3 [トレイ構成] が選択されていることを確認し、<設定> ボタンを押します。
- 4 スクロールボタン▼を数回押して用紙をセットしたトレイの [トレイ設定] を選択し、<設定> ボタンを押します。
- 5 [用紙サイズ] が選択されていることを確認し、<設定> ボタンを押します。
- 6 スクロールボタン▼を数回押して [カスタム] を選択し、<設定> ボタンを押します。
- 7 <戻る> ボタンを押します。
- 8 スクロールボタン▼を押して [用紙幅] を選択し、<設定> ボタンを押します。
- 9 テンキーを使って用紙幅を入力し、<設定> ボタンを押します。
- 10 <戻る> ボタンを押します。
- 11 スクロールボタン▼を押して [用紙長] を選択し、<設定> ボタンを押します。
- 12 テンキーを使って用紙長を入力し、<設定> ボタンを押します。
- 13 <オンライン> ボタンを押してメニュー モードを終了します。

プリンタードライバーで設定する

1 [印刷設定] ダイアログを表示します。

■ Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1. [スタート] をクリックし、[Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
2. プリンターアイコンを右クリックし、[印刷設定] を選択します。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の  を右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
2. プリンターアイコンを右クリックし、[印刷設定] を選択します。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の [すべてのアプリ] を選択します。
2. [Windows システムツール] の [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
3. プリンターアイコンを右クリックし、[印刷設定] を選択します。

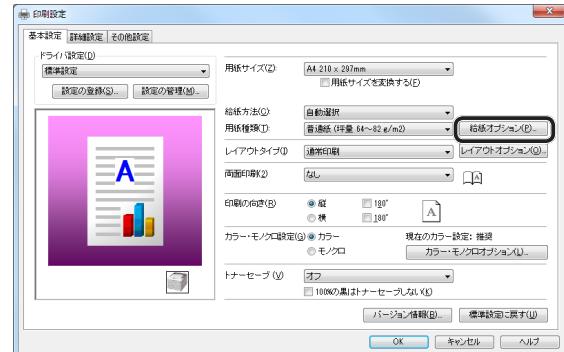
■ Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

1. [スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。
2. プリンターアイコンを右クリックし、[印刷設定] を選択します。

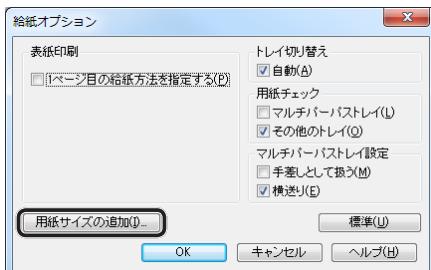
■ Windows Server 2008 (R2 以外) の場合

1. [スタート] をクリックし、[コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [プリンタ] を選択します。
2. プリンターアイコンを選択します。
3. [ファイル] メニューから [印刷設定] を選択します。

2 [基本設定] タブの [給紙オプション] をクリックします。



3 [用紙サイズの追加] をクリックします。



4 名前と寸法を入力します。

a [名称] に新しいサイズの名前を入力します。

b [幅] および [長さ] に値を入力します。



5 [追加] をクリックして任意の用紙サイズをリストに保存し、[OK] をクリックします。

最大 32 個まで保存できます。



6 [印刷設定] ダイアログが閉じるまで [OK] をクリックします。

7 アプリケーションから印刷するファイルを開きます。

8 プリンタードライバーで、登録した用紙サイズを指定し、印刷します。

手差し印刷をする

マルチパーカストレイに用紙をセットして 1 枚ずつ印刷できます。

1 ページ印刷するごとに、操作パネルの液晶パネルに「手差し印刷を行ないます [用紙サイズ] をマルチパーカストレイにセットして、オンラインボタンを押してください」とメッセージが表示されます。印刷を続けるときは、<オンライン> ボタンを押します。

1 マルチパーカストレイに用紙をセットします。

■ 参照

- 「ハードウェアガイド」 – 「マルチパーカストレイから印刷する」を参照してください。

2 コンピューターで、印刷するファイルを開きます。

3 プリンタードライバーで手差し印刷の設定を行い、印刷します。

プリンタードライバーで設定する

1 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

2 [詳細設定] (または [プロパティ]) をクリックします。

3 [基本設定] タブの [給紙方法] から [マルチパーカストレイ] を選択します。

4 [給紙オプション] をクリックします。

5 [手差しとして扱う] にチェックをつけ、[OK] をクリックします。

6 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

7 操作パネルの液晶パネルに、マルチパーカストレイに用紙をセットするように指示するメッセージが表示されたら、<オンライン> ボタンを押します。

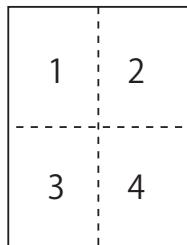
複数ページの原稿を印刷するときは、1 ページ印刷するたびに、同じメッセージが表示されます。

■ 参照

- プリンタードライバーで用紙を指定する方法については、「ハードウェアガイド」を参照してください。

1枚の用紙に複数のページを印刷する (マルチページ印刷)

複数のページを1枚の用紙に印刷できます。



! 注

- この機能では、原稿のページサイズを縮小して印刷します。印刷画像の中央が、用紙の中央と一致しないことがあります。
- アプリケーションによっては、この機能が使用できないことがあります。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル]メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定] (または [プロパティ]) をクリックします。
- 4 [基本設定] タブの [レイアウトタイプ] で、1枚の用紙に印刷するページ数を選択します。
- 5 [レイアウトオプション] をクリックします。
- 6 [枠線]、[マルチページ]、[とじ代] で各設定を行い、[OK] をクリックします。
- 7 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

両面印刷する

用紙の両面に印刷できます。

● 両面印刷できる用紙サイズ

A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガル (14インチ)、カスタムサイズ

● 両面印刷できる用紙の厚さ

64 ~ 220 g/m²

上記以外の厚さの用紙を使用すると紙づまりの原因となりますので使用できません。

! 注

- アプリケーションによっては、この機能が使用できないことがあります。

□ メモ

- 両面印刷できるカスタムサイズの幅と長さの範囲は下記のとおりです。

トレイ 1 とオプションのトレイ 2 ~ 4 では長さは 431.0mm までとなります (インチ指定では 17.0 インチまで印刷できます)。

- 幅 : 148 ~ 297 mm (5.8 ~ 11.7 インチ)
- 長さ : 182 ~ 431.8 mm (7.2 ~ 17.0 インチ)

- 1 印刷するファイルを開きます。

- 2 [ファイル]メニューから [印刷] を選択します。

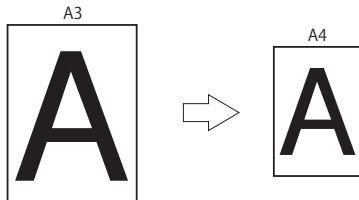
- 3 [詳細設定] (または [プロパティ]) をクリックします。

- 4 [基本設定] タブの [両面印刷] から [長辺とじ] または [短辺とじ] を選択します。

- 5 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

ページを拡大 / 縮小する

印刷データを変更せずに、別の用紙サイズに印刷できます。



! 注

- アプリケーションによっては、この機能が使用できないことがあります。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定] (または [プロパティ]) をクリックします。
- 4 [基本設定] タブを選択します。
- 5 [用紙サイズ] の [用紙サイズを変換する] にチェックをつけます。
- 6 変換後の用紙サイズが選択可能になるので選択します。
- 7 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

部単位で印刷する

複数ページの原稿を部単位で印刷できます。

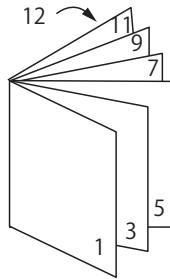
! 注

- アプリケーションによっては、この機能が使用できないことがあります。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定] (または [プロパティ]) をクリックします。
- 4 [詳細設定] タブをクリックします。
- 5 [部数] から印刷部数を選択し、[部単位で印刷] にチェックをつけます。
- 6 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

小冊子用にページを並べ替えて印刷する（製本印刷）

最終的な印刷出力が小冊子になるように、複数ページの原稿をページ順に並べ替えて印刷できます。



！注

- アプリケーションによっては、この機能が使用できないことがあります。
- この機能では、ウォーターマークは正しく印刷されないことがあります。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定]（または [プロパティ]）をクリックします。
- 4 [基本設定] タブの [レイアウトタイプ] から [製本印刷] を選択します。
- 5 [レイアウトオプション] をクリックし、必要に応じて製本印刷のオプションを設定します。
 - [折丁]：製本するページ単位を指定します。
 - [右開き]：小冊子が右開きになるよう印刷します。
- 6 [OK] をクリックします。
- 7 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

メモ

- A4 サイズの用紙を使用して A5 サイズの小冊子を作るときは、[設定] タブの [サイズ] から [A4] を選択します。
- この機能を使用できないときは、[スタート] > [デバイスとプリンター] を選択し、お使いのプリンターアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ] > [詳細設定] タブ > [プリントプロセッサ] > [MLLAPP3] > [OK] を選択します。

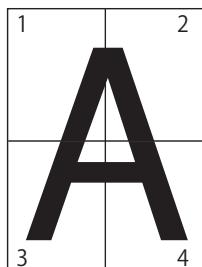
表紙のみ別のトレイから印刷する

1 ページ目を給紙するトレイと、残りのページを給紙するトレイを分けることができます。この機能は、表紙と本文に別の種類の用紙を使用したいときに便利です。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定]（または [プロパティ]）をクリックします。
- 4 [基本設定] タブの [給紙オプション] をクリックします。
- 5 [1 ページ目の給紙方法を指定する] にチェックをつけます。
- 6 [給紙方法] から用紙トレイを選択し、[OK] をクリックします。
必要に応じて [用紙種類] から用紙種類を選択します。
- 7 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

ポスター印刷をする

1枚の原稿をいくつかのパートに分割して、複数の用紙に印刷できます。各パートは拡大されて各用紙に印刷され、最後に各用紙を組み合わせると1枚のポスターを作ることができます。



! 注

- IPP ネットワークを使用しているときは使用できません。

△メモ

- A4 の用紙を2枚使用して A3 サイズのポスターを作るときは、用紙サイズに [A4] を選択し、[拡大] で [2枚] を選択します。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定] (または [プロパティ]) をクリックします。
- 4 [基本設定] タブの [レイアウトタイプ] から [ポスター印刷] を選択します。
- 5 [レイアウトオプション] をクリックします。
- 6 必要に応じて [拡大]、[トンボ]、[オーバーラップ] の値を設定し、[OK] を押します。
- 7 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

△メモ

- この機能を使用できないときは、[スタート] > [デバイスとプリンター] を選択し、お使いのプリンターアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ] > [詳細設定] タブ > [プリント プロセッサ] > [MLLAPP3] > [OK] を選択します。

印刷品位（解像度）を変更する

必要に応じて印刷品位を変更できます。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定] (または [プロパティ]) をクリックします。
- 4 [詳細設定] タブを選択します。
- 5 [印刷品位] で印刷品位を選択します。
- 6 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

カラーデータをモノクロで印刷する

カラーデータをモノクロ（階調のある白黒）で印刷できます。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル]メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定]（または [プロパティ]）をクリックします。
- 4 [基本設定]タブの [モノクロ] を選択します。
- 5 [OK] をクリックします。

※メモ

- シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y) のトナーカートリッジが寿命になっても、印刷するときにプリンタードライバーで [モノクロ] を指定することで、モノクロのみで印刷することもできます。

細線や小さな文字を補正する

プリンタードライバーの [極細線を補正する] をオンにした場合は、細線や小さな文字がかすれるのを防ぐことができます。

アプリケーションによっては、バーコードなどの間隔が狭くなることがあります。その場合は、この機能をオフにしてください。

※メモ

- この機能は、工場出荷時の設定でオンになっています。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル]メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定]（または [プロパティ]）をクリックします。
- 4 [詳細設定]タブを選択します。
- 5 [その他特殊設定] をクリックします。
- 6 [極細線を補正する] の設定値を [オフ] に変更し、[OK] をクリックします。
- 7 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

トレイを自動的に選択する

プリンタードライバーで指定した用紙サイズと一致する用紙がセットされているトレイを自動的に選択することができます。

まず、操作パネルでマルチパーパストレイが自動トレイ選択の対象となるように設定します。その後、プリンタードライバーでトレイの自動選択を設定します。

! 注

- 必ず、操作パネルで、トレイ 1、トレイ 2/3/4（オプション）、マルチパーパストレイの用紙サイズを設定してください。使用できる用紙サイズは、各トレイで異なります。詳しくは「ハードウェアガイド」を参照してください。

メモ

- 工場出荷時の設定では、[トレイの使い方] は [使用しない] になっています。この場合、マルチパーパストレイは自動トレイ選択の対象にはなりません。
- プリンターが節電モードになっている場合は、<節電> ボタンを押し、節電モードから復帰してください。

- 操作パネルの <Fn> キーを押します。
- 数値の入力画面になるので、[9]、[5]、<設定> ボタンを押します。
- スクロールボタン▼を押して [用紙違いのとき] を選択し、<設定> ボタンを押します。
- <オンライン> ボタンを押して、メニュー モードを終了します。
- プリンタードライバーで用紙トレイを指定し、印刷します。

プリンタードライバーで設定する

- 印刷するファイルを開きます。
- [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- [詳細設定]（または [プロパティ]）をクリックします。
- [基本設定] タブの [給紙方法] から [自動選択] を選択します。
- 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

トレイを自動的に切り替える

用紙トレイを自動的に切り替えることができます。

印刷中に用紙切れになると、同じ用紙サイズがセットされているほかのトレイから給紙し、印刷を継続します。

この機能は、同じサイズの用紙に大量に印刷する場合に便利です。

まず、操作パネルでマルチパーパストレイが自動トレイ切り替えの対象となるように設定します。その後、プリンタードライバーでトレイの自動切り替えを設定します。

! 注

- 必ず、操作パネルで、自動トレイ切り替えに使用する各トレイの用紙設定（用紙サイズ、用紙種類、用紙厚）を同じにしてください。使用できる用紙サイズは、各トレイで異なります。詳しくは「ハードウェアガイド」を参照してください。

メモ

- 工場出荷時の設定では、[トレイの使い方] は [使用しない] になっています。この場合、マルチパーパストレイは自動トレイ切り替えの対象にはなりません。
- プリンターが節電モードになっている場合は、<節電> ボタンを押し、節電モードから復帰してください。

- <Fn> キーを押します。
- 数値の入力画面になるので、[9]、[5]、<設定> ボタンを押します。
- スクロールボタン▼を押して [用紙違いのとき] を選択し、<設定> ボタンを押します。
- <オンライン> ボタンを押して、メニュー モードを終了します。
- プリンタードライバーで自動トレイ切り替えの設定を行います。

プリンタードライバーで設定する

- 印刷するファイルを開きます。
- [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- [詳細設定]（または [プロパティ]）をクリックします。
- [基本設定] タブの [給紙オプション] をクリックします。
- [トレイ切り替え] の [自動] にチェックをつけ、[OK] をクリックします。
- 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

トナーを節約する

トナーを節約して印刷できます。

この機能は、ページの印刷濃度を下げることで、トナーの消費量を節約します。

トナーの節約量を3段階で設定することができます。

- [プリンターセットアップ]：プリンタの設定に従います。
- [オフ]：トナーを節約せず通常の濃度で印刷されます。
- [セーブ量 少ない]：やや薄い濃度で印刷されます。
- [セーブ量 やや多い]：薄い濃度で印刷されます。
- [セーブ量 多い]：かなり薄い濃度で印刷されます。

メモ

- この機能を使用して印刷する画像の濃度は、印刷する原稿によって異なります。
- トナーセーブ量は、少ないでは15%、やや多いでは35%、多いでは50%のトナーセーブを行います。
- 100%の黒について印刷濃度を下げたくない場合は、[100%の黒はトナーセーブしない] チェックボックスをチェックします。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル]メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定]（または [プロパティ]）をクリックします。
- 4 [基本設定]タブの [トナーセーブ] から適当な値を選択します。
- 5 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

ウォーターマークを印刷する

印刷するファイルの本文とは別に、文字を重ねて印刷できます。

注

- 小冊子の印刷では、ウォーターマークは適切に印刷されません。
- 1 印刷するファイルを開きます。
 - 2 [ファイル]メニューから [印刷] を選択します。
 - 3 [詳細設定]（または [プロパティ]）をクリックします。
 - 4 [その他設定]タブを選択します。
 - 5 [ウォーターマーク]をクリックします。
 - 6 [新規]をクリックします。
 - 7 文字列、サイズ、回転角度、囲み枠、印刷位置を指定し、[OK]をクリックします。
 - 8 [OK]をクリックします。
 - 9 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

プリンタードライバーの設定を保存する

プリンタードライバーの設定を保存できます。

■ 設定を保存する

1 [印刷設定] ダイアログを表示します。

■ Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1. [スタート] をクリックし、[Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
2. プリンターアイコンを右クリックし、[印刷設定] を選択します。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の田を右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
2. プリンターアイコンを右クリックし、[印刷設定] を選択します。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の [すべてのアプリ] を選択します。
2. [Windows システムツール] の [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
3. プリンターアイコンを右クリックし、[印刷設定] を選択します。

■ Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

1. [スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。
2. プリンターアイコンを右クリックし、[印刷設定] を選択します。

■ Windows Server 2008 (R2 以外) の場合

1. [スタート] をクリックし、[コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [プリンタ] を選択します。
2. プリンターアイコンを選択します。
3. [ファイル] メニューから [印刷設定] を選択します。

2 保存したい印刷設定を行います。

3 [基本設定] タブで [ドライバ設定] の [設定の登録] をクリックします。

4 保存する設定の名前を指定し、[OK] をクリックします。

[用紙の情報を保存する] にチェックをつけると、[設定] タブの用紙の設定も保存されます。

5 [OK] をクリックして [印刷設定] ダイアログを閉じます。

メモ

- 最大 14 個まで保存できます。

■ 保存した設定を使用する

1 印刷するファイルを開きます。

2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

3 [詳細設定] (または [プロパティ]) をクリックします。

4 [基本設定] タブの [ドライバ設定] から使用する設定を選択します。

5 印刷します。

プリンタードライバーの初期設定を変更する

頻繁に使用する印刷設定をプリンタードライバーの初期設定として使用できます。

1 [印刷設定] ダイアログを表示します。

■ Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1. [スタート] をクリックし、[Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
2. プリンターアイコンを右クリックし、[印刷設定] を選択します。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の□を右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
2. プリンターアイコンを右クリックし、[印刷設定] を選択します。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の [すべてのアプリ] を選択します。
2. [Windows システムツール] の [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
3. プリンターアイコンを右クリックし、[印刷設定] を選択します。

■ Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

1. [スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。
2. プリンターアイコンを右クリックし、[印刷設定] を選択します。

■ Windows Server 2008 (R2 以外) の場合

1. [スタート] をクリックし、[コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [プリンタ] を選択します。
2. プリンターアイコンを選択します。
3. [ファイル] メニューから [印刷設定] を選択します。

- 2 プリンタードライバーの初期設定として使用する印刷設定を行います。

- 3 [OK] をクリックします。

プリンターのフォントを使用する

コンピューターの TrueType フォントの代わりに、プリンターにあらかじめインストールされているプリンターフォントを使用して印刷できます。

! 注

- プリンターのフォントは、画面に表示される TrueType フォントのデザインを正確に再現するものではありません。
- アプリケーションによっては、この機能が使用できないことがあります。

1 印刷するファイルを開きます。

2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

3 [詳細設定] (または [プロパティ]) をクリックします。

4 [その他設定] タブを選択します。

5 [フォント] をクリックします。

6 [プリンタフォントで置き換える] にチェックをつけます。

7 [フォント置き換えテーブル] で、TrueType フォントの代わりに使用するプリンターのフォントを指定します。

8 [OK] をクリックします。

9 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

コンピューターのフォントを使用する

コンピューターのTrueTypeフォントを使用して、画面表示と同じ文字で印刷できます。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル]メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定]（または [プロパティ]）をクリックします。
- 4 [その他設定] タブを選択します。
- 5 [フォント] をクリックします。
- 6 [プリンタフォントで置き換える] のチェックを外し、下記いずれかを選択し、[OK] をクリックします。
 - [アウトラインフォントとしてダウンロード]
プリンターでフォントイメージを作成します。
 - [ビットマップフォントとしてダウンロード]
プリンタードライバーでフォントイメージを作成します。
- 7 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

印刷モードを変更する

モノクロページの印刷モードを調整できます。



- [管理者用メニュー]に入るには、管理者パスワードが必要です。工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

- 1 操作パネルの <設定> ボタンを押します。
- 2 スクロールボタン▼を押して [管理者用メニュー]を選択し、<設定> ボタンを押します。
- 3 テンキーから管理者パスワードを入力します。
- 4 <設定> ボタンを押します。
- 5 スクロールボタン▼を押して [印刷設定] を選択し、<設定> ボタンを押します。
- 6 スクロールボタン▼を押して [モノクロ印刷モード]を選択し、<設定> ボタンを押します。
- 7 印刷速度を選択し、<設定> ボタンを押します。
 - [自動] :
1ページ目がモノクロページの場合は、ブラックのイメージドラム（ドラムカートリッジ）のみを使って印刷します。カラーページが現れた場合は、4色のイメージドラム（ドラムカートリッジ）を使って印刷し、以降モノクロページが現れてもそのまま印刷します。
 - [印刷速度優先] :
常に4色のイメージドラム（ドラムカートリッジ）を使って印刷します。
 - [ID 寿命優先] :
モノクロページの場合は、ブラックのイメージドラム（ドラムカートリッジ）のみを使い印刷し、カラーページの場合は、4色のイメージドラム（ドラムカートリッジ）を使い印刷します。
- 8 <オンライン> ボタンを押して、メニュー画面を終了します。



- ID はイメージドラム（ドラムカートリッジ）を表します。

ファイルに出力する

印刷データを用紙に印刷せずに、ファイルに出力できます。

! 注

- コンピューターに管理者としてログインする必要があります。

1 [プロパティ] ダイアログを表示します。

■ Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1. [スタート] をクリックし、[Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
2. プリンターアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選択します。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の田を右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
2. プリンターアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選択します。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の [すべてのアプリ] を選択します。
2. [Windows システムツール] の [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
3. プリンターアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選択します。

■ Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

1. [スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。
2. プリンターアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選択します。

■ Windows Server 2008 (R2 以外) の場合

1. [スタート] をクリックし、[コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [プリンタ] を選択します。
2. プリンターアイコンを選択します。
3. [ファイル] メニューから [プロパティ] を選択します。

2 [ポート] タブを選択します。

3 ポートの一覧から [FILE:] を選択し、[OK] をクリックします。

4 印刷をします。

5 ファイルの名前を入力し、[OK] をクリックします。

2. カラーを調整する

この章では、さまざまなカラー調整方法について説明します。



- この章では、Windows のメモ帳を例に説明します。お使いのアプリケーションやプリンタードライバーのバージョンによって、記載と異なることがあります。

■ 操作パネルでカラーを調整する

この節では、操作パネルを使って本体のカラーを調整する方法について説明します。

色ずれ補正を手動で行う

トップカバーを開閉したときや電源コードを抜き差ししたときに自動的に色ずれ補正調整を行います。

印刷のカラー品質が気になる場合は、手動で色ずれ補正を調整することもできます。



- プリンターが節電モードになっている場合は、<節電>ボタンを押し、節電モードから復帰してください。
- 「印刷できます」が表示されていることを確認して、表示されていない場合は<オンライン>ボタンを押します。

1 <Fn>キーを押します。

2 数値の入力画面になるので、[3]、[0]、[1]、<設定>ボタンを押します。

3 [実行]が選択されていることを確認し、<設定>ボタンを押します。



- 色ずれ補正中は、操作パネルの表示部の2行目（「印刷できます」の下）に「カラー調整中です」と表示します。

濃度補正を手動で行う

プリンターはトナーカートリッジやイメージドラム（ドラムカートリッジ）、ベルトユニットを交換したとき、また連続して500ページ印刷するごとに、自動的に濃度を調整します。

印刷濃度が気になる場合は、手動で濃度を調整することもできます。



- プリンターが節電モードになっている場合は、<節電>ボタンを押し、節電モードから復帰してください。
- 「印刷できます」が表示されていることを確認して、表示されていない場合は<オンライン>ボタンを押します。

1 <Fn>キーを押します。

2 数値の入力画面になるので、[3]、[0]、[0]、<設定>ボタンを押します。

3 [実行]が選択されていることを確認し、<設定>ボタンを押します。



- 濃度補正中は、操作パネルの表示部の2行目（「印刷できます」の下）に「濃度調整中です」と表示します。

カラーバランス（濃度）を調整する

カラーごとに濃度を調整できます。各色について、淡い、中間、濃い濃度を選択できます。

色見本を印刷する

！注

- プリンターが節電モードになっている場合は、<節電>ボタンを押し、節電モードから復帰してください。
- 「印刷できます」が表示されていることを確認して、表示されていない場合は<オンライン>ボタンを押します。

- 1 <Fn>キーを押します。
- 2 数値の入力画面になるので、[3]、[0]、[2]、<設定>ボタンを押します。
- 3 [実行]が選択されているので、<設定>ボタンを押します。
色見本が印刷されます。

メモ

- カラー調整パターンでは、44個の四角形が印刷されます。淡い、中間、濃いカラーの現在の設定は、破線で示されます。調整する色を確認できます。

カラーを調整する

- 1 <設定>ボタンを押します。
- 2 スクロールボタン▼を押して【プリンタ調整】を選択し、<設定>ボタンを押します。
- 3 スクロールボタン▼を押して【シアン調整】、【マゼンタ調整】、【イエロー調整】、または【ブラック調整】を選択し、<設定>ボタンを押します。
- 4 スクロールボタン▼を押して【Highlight】、【Mid-Tone】、または【Dark】を選択し、<設定>ボタンを押します。
- 5 スクロールボタン▲または▼を押して値(-3～+3)を選択し、<設定>ボタンを押します。
- 6 <オンライン>ボタンを押して、メニュー modeを終了します。

■ コンピューターでカラーを調整する

この節では、印刷するときのカラー調整方法について説明します。希望どおりの色で印刷するために、プリンタードライバーを使ってカラーを調整できます。

カラーマッチングは、原稿のカラーを管理・調整して、入力装置と出力装置の間で一貫性を維持することです。

プリンターでは、[カラー調整] のカラーマッチング機能を利用できます。

カラー モード（推奨）

一般的な文書に対して推奨されるカラーマッチングを行います。通常はこの設定でご使用ください。



- この機能は RGB カラーデータにのみ対応しています。

- 1** 印刷するファイルを開きます。
- 2** [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3** [詳細設定]（または [プロパティ]）をクリックします。
- 4** [基本設定] タブの [カラー・モノクロオプション] をクリックし、[推奨] を選択して、[OK] をクリックします。

カラー モード（カラー調整）

カラー調整ではビジネス文書に適したカラーマッチングを簡単に設定することができます。



- この機能は RGB カラーデータにのみ対応しています。

- 1** 印刷するファイルを開きます。
- 2** [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3** [詳細設定]（または [プロパティ]）をクリックします。
- 4** [基本設定] タブの [カラー・モノクロオプション] をクリックし、[カラー調整] を選択して、[OK] をクリックします。

カラーモード（カラーマッチングオフ）

プリンタードライバーまたはプリンターでのカラー調整を行わず、指定された色のまま印刷を行います。

アプリケーションでカラーマッチングを行った場合などに選択します。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定]（または [プロパティ]）をクリックします。
- 4 [基本設定] タブの [カラー・モノクロオプション] をクリックし、[カラーマッチングオフ] を選択して、[OK] をクリックします。

黒の仕上がりを変更する

カラーで印刷するときの黒の部分の仕上がりを変えることができます。黒の部分の仕上がり設定は、プリンタードライバーで [カラー調整] を選択した場合に使用できます。

黒の仕上がりには CMYK トナーで生成した黒と、黒(K) トナーのみで生成した黒の 2 種類があります。

CMYK トナーで生成した場合、シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y)、ブラック (K) のトナーが混合されます。写真の印刷に適しています。こげ茶色に見えることがあります。

黒(K) トナーのみで生成した場合、ブラック (K) トナーのみで黒を印刷します。黒い文字や図形の印刷に適しています。

[カラー調整] 機能を使用する場合は自動も選択できます。自動の場合、適切な方式が自動的に選択されて原稿が印刷されます。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定]（または [プロパティ]）をクリックします。
- 4 [基本設定] タブの [カラー・モノクロオプション] をクリックし、[カラー調整] を選択します。
- 5 [黒の生成] から黒の生成方式を選択します。
- 6 [OK] をクリックして、詳細ウィンドウを閉じます。
- 7 [OK] をクリックします。

文字と背景の間の白すじを目立たなくする（ブラックオーバープリントをする）

ご使用の条件により黒い文字とカラーの背景の境界に白いすじなどの隙間ができた場合は、重ね合わせて印刷し、すじを目立たなくします。

！注

- この機能は、アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- この機能は、背景カラーの上に文字だけを印刷する場合に使用できます。
- トナー層が厚い場合は、トナーが確実に定着しない場合があります。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定]（または [プロパティ]）をクリックします。
- 4 [詳細設定] タブの [その他特殊設定] を選択します。
- 5 [黒い文字は背景の上に重ね合わせて印刷する] の設定を [オン] に変更します。

■ カラー調整ユーティリティでカラー調整する

この節では、カラー調整ユーティリティについて説明します。カラー調整ユーティリティを使用して、Microsoft Excel などで選択したパレットの色を指定できます。

! 注

- プリンタードライバーごとに設定を行ってください。
- カラー調整ユーティリティを使ってカラーマッチングを行う場合は、管理者としてログインしている必要があります。

インストールする

1 「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」をコンピューターに挿入します。

[FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ] ダイアログが自動的に表示されます。

※メモ

- [FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ] ダイアログが自動的に表示されない場合は、エクスプローラーなどを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある [XLSTART.EXE] をダブルクリックしてください。[FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ] ダイアログが表示されます。
- 自動再生時や [XLSTART.EXE] をダブルクリックしたときに、[自動再生] ダイアログが表示されます。実行されるプログラムが [XLSTART.EXE] であることを確認し、[Xstart.exe の実行] をクリックしてください。

2 メニューから [カラー調整ユーティリティ] をクリックします。



! 注

- [ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示されたら、[はい] をクリックします。
- [使用許諾契約] が表示されたら、内容をよくお読みください。[はい] (または [使用許諾契約の全条項に同意します]) をクリックすると、[インストール先の選択] ダイアログが表示されます。

3 画面の指示に従って、セットアップを行います。

4 画面の右上にある [閉じる] ボタンをクリックし、画面を閉じます。

以上で、カラー調整ユーティリティのインストールは完了です。

パレットカラーを変更する



1 [カラー調整ユーティリティ] を起動します。

■ Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1. [スタート] をクリックし、[FUJITSU] > [カラー調整ユーティリティ] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. スタート画面左下の [] をクリックします。
2. [FUJITSU] の [カラー調整ユーティリティ] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の [すべてのアプリ] を選択します。
2. [FUJITSU] の [カラー調整ユーティリティ] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。

■ Windows 7/Windows Server 2008 の場合

1. [スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] > [FUJITSU] > [カラー調整ユーティリティ] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。

2 [パレットカラーを調整します。] を選択し、[次へ] をクリックします。

3 調整したいプリンターを選択し、[次へ] をクリックします。

4 設定の名前を選択し、[サンプル印刷] をクリックします。
色見本が印刷されます。

5 [次へ] をクリックします。

6 [テスト印刷] をクリックします。
調整対象色サンプルが印刷されます。

- 7 画面のカラーパレットと、印刷された調整対象色サンプルの色を比較してください。
×印がついている色は調整できません。
- 8 調整したい色をクリックします。
- 9 ドロップダウンリストで、X と Y の調整可能な範囲を確認します。
調整可能な値は色によって異なります。
- 10 印刷された色見本を確認し、調整可能な範囲内で最も適切な色を選択して、X と Y の値を確認します。
- 11 手順 10 で確認した値を選択して、[OK] をクリックします。
- 12 [テスト印刷] をクリックし、調整後の色が希望する色に近いかどうかを確認して、[次へ] をクリックします。
さらに色を変更したり、ほかの色を変更する場合は、手順 8～11 を繰り返してください。
- 13 設定名を入力し、[保存] をクリックします。
ダイアログが表示されます。
- 14 [OK] をクリックします。
- 15 [完了] をクリックします。

ガンマ値や色相を変更する

ガンマ値の調整でトーンを、色相の調整で出力カラーを調整できます。

- 1 [カラー調整ユーティリティ] を起動します。
 - Windows Server 2016/Windows 10 の場合
 1. [スタート] をクリックし、[FUJITSU] > [カラー調整ユーティリティ] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。
 - Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合
 1. スタート画面左下の①をクリックします。
 2. [FUJITSU] の [カラー調整ユーティリティ] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。
 - Windows Server 2012 (R2 以外) の場合
 1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の [すべてのアプリ] を選択します。
 2. [FUJITSU] の [カラー調整ユーティリティ] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。
 - Windows 7/Windows Server 2008 の場合
 1. [スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] > [FUJITSU] > [カラー調整ユーティリティ] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。
- 2 [ガンマ・色相を補正します。] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 3 調整したいプリンターを選択し、[次へ] をクリックします。
- 4 基準となるモードを選択し、[次へ] をクリックします。
- 5 必要に応じて、スライドバーを調整して設定を行います。
[インクの原色を使用する] にチェックをつけた場合は、各色の 100 パーセントが印刷に使用され、色相のスライドバーは固定されます。
- 6 [テスト印刷] をクリックします。
- 7 印刷結果を確認します。
希望する結果が得られない場合は、手順 5 と 6 を繰り返します。
- 8 [次へ] をクリックします。
- 9 名前を入力し、[保存] をクリックします。
ダイアログが表示されます。
- 10 [OK] をクリックします。
- 11 [完了] をクリックします。

調整後のカラー設定で印刷する

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定]（または [プロパティ]）をクリックします。
- 4 [基本設定] タブの [カラー・モノクロオプション] をクリックし、[カラー調整] を選択します。
- 5 [ユーザー設定] をチェックし、カラー調整ユーティリティで作成した設定を選択して、[OK] をクリックします。

カラー調整の設定を保存する

調整したカラー設定をファイルに保存できます。



- この機能を使用するには、管理者の権限が必要です。

- 1 [カラー調整ユーティリティ] を起動します。
 - Windows Server 2016/Windows 10 の場合
 1. [スタート] をクリックし、[FUJITSU] > [カラー調整ユーティリティ] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。
 - Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合
 1. スタート画面左下の①をクリックします。
 2. [FUJITSU] の [カラー調整ユーティリティ] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。
 - Windows Server 2012 (R2 以外) の場合
 1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の [すべてのアプリ] を選択します。
 2. [FUJITSU] の [カラー調整ユーティリティ] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。
 - Windows 7/Windows Server 2008 の場合
 1. [スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] > [FUJITSU] > [カラー調整ユーティリティ] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。
- 2 [設定をインポート・エクスポート・削除します。] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 3 調整したいプリンターを選択し、[次へ] をクリックします。
- 4 [エクスポート] をクリックします。
- 5 エクスポートするファイルを選択し、[エクスポート] をクリックします。
- 6 ファイル名と保存先のフォルダーを指定し、[保存] をクリックします。
- 7 [OK] をクリックします。
- 8 [完了] をクリックします。

カラー調整の設定をインポートする

カラー調整の設定は、ファイルからインポートすることができます。

1 [カラー調整ユーティリティ] を起動します。

■ Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1. [スタート] をクリックし、[FUJITSU] > [カラー調整ユーティリティ] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. スタート画面左下の①をクリックします。
2. [FUJITSU] の [カラー調整ユーティリティ] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の【すべてのアプリ】を選択します。
2. [FUJITSU] の [カラー調整ユーティリティ] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。

■ Windows 7/Windows Server 2008 の場合

1. [スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] > [FUJITSU] > [カラー調整ユーティリティ] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。

2 [設定をインポート・エクスポート・削除します。] を選択し、[次へ] をクリックします。

3 調整したいプリンターを選択し、[次へ] をクリックします。

4 [インポート] をクリックします。

5 ファイルを選択し、[開く] をクリックします。

6 インポートしたい設定を選択し、[インポート] をクリックします。

7 設定が正しくインポートされていることを確認し、[完了] をクリックします。

カラー調整設定の削除

不要な設定ファイルは削除できます。

1 [カラー調整ユーティリティ] を起動します。

■ Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1. [スタート] をクリックし、[FUJITSU] > [カラー調整ユーティリティ] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. スタート画面左下の①をクリックします。
2. [FUJITSU] の [カラー調整ユーティリティ] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の【すべてのアプリ】を選択します。
2. [FUJITSU] の [カラー調整ユーティリティ] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。

■ Windows 7/Windows Server 2008 の場合

1. [スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] > [FUJITSU] > [カラー調整ユーティリティ] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。

2 [設定をインポート・エクスポート・削除します。] を選択し、[次へ] をクリックします。

3 設定を削除したいプリンターを選択し、[次へ] をクリックします。

4 削除するファイルを選択し、[削除] をクリックします。

ダイアログが表示されます。

5 確認画面で [はい] をクリックします。

6 設定が正しく削除されていることを確認し、[完了] をクリックします。

アンインストールする



● 管理者の権限が必要です。

1 [コントロールパネル] を起動します。

■ Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1. [スタート] をクリックし、[Windows システムツール] > [コントロールパネル] を選択します。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の田を右クリックし、[コントロールパネル] を選択します。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の [すべてのアプリ] を選択します。
2. [Windows システムツール] の [コントロールパネル] を選択します。

■ Windows 7/Windows Server 2008 の場合

1. [スタート] をクリックし、[コントロールパネル] を選択します。

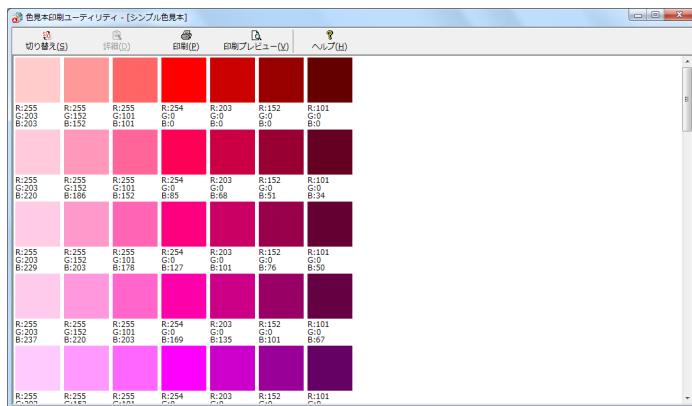
2 [プログラムのアンインストール] をクリックします。

3 [FUJITSU カラー調整ユーティリティ] を選択し、[アンインストール] をクリックします。

4 画面の指示に従って、アンインストールを完了します。

■ 色見本印刷ユーティリティでカラーを指定する

この節では、色見本印刷ユーティリティについて説明します。色見本印刷ユーティリティを使用して、プリンターが内蔵するRGB色見本を印刷できます。RGB色見本でRGB値を確認し、必要に応じてその色を印刷できます。



メモ

- 色見本印刷ユーティリティはプリンタードライバーと一緒にインストールされます。

インストールする

1 「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」をコンピューターに挿入します。

[FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ] ダイアログが自動的に表示されます。

3 画面の指示に従って、セットアップを行います。

4 画面の右上にある [閉じる] ボタンをクリックし、画面を閉じます。

以上で、色見本印刷ユーティリティのインストールは完了です。

メモ

- [FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ] ダイアログが自動的に表示されない場合は、エクスプローラーなどを使用してCD-ROMを開き、一番上の階層にある [XLSTART.EXE] をダブルクリックしてください。[FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ] ダイアログが表示されます。
- 自動再生時や [XLSTART.EXE] をダブルクリックしたときに、[自動再生] ダイアログが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、[Xstart.exe の実行] をクリックしてください。

2 メニューから [色見本印刷ユーティリティ] をクリックします。



! 注

- [ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示されたら、[はい] をクリックします。
- [使用許諾契約] が表示されたら、内容をよくお読みください。[はい] (または [使用許諾契約の全条項に同意します]) をクリックすると、[インストール先の選択] ダイアログが表示されます。

色見本を印刷する

- 1** [色見本印刷ユーティリティ] を起動します。
 - Windows Server 2016/Windows 10 の場合
 1. [スタート] をクリックし、[FUJITSU] > [色見本印刷ユーティリティ] > [色見本印刷ユーティリティ] を選択します。
 - Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合
 1. スタート画面左下の をクリックします。
 2. [FUJITSU] の [色見本印刷ユーティリティ] > [色見本印刷ユーティリティ] を選択します。
 - Windows Server 2012 (R2 以外) の場合
 1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の [すべてのアプリ] を選択します。
 2. [FUJITSU] の [色見本印刷ユーティリティ] > [色見本印刷ユーティリティ] を選択します。
 - Windows 7/Windows Server 2008 の場合
 1. [スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] > [FUJITSU] > [色見本印刷ユーティリティ] > [色見本印刷ユーティリティ] を選択します。
- 2** [印刷] をクリックします。
- 3** [プリンター名] から調整したいプリンターを選択します。
- 4** [OK] をクリックします。
色見本が印刷されます。
- 5** 色見本から印刷したい色を確認し、RGB 値をメモしておいてください。

色見本をカスタマイズする

「色見本を印刷する」の手順 5 で、印刷したい色がない場合は、以下の手順で色をカスタマイズします。

- 1** [切り替え] をクリックします。
- 2** [詳細] をクリックします。
- 3** 希望の色が表示されるまで、3 つのスライドバーを調整します。
- 4** [閉じる] をクリックします。
- 5** [印刷] をクリックします。
- 6** [プリンター名] からプリンターを選択します。
- 7** [OK] をクリックします。

- 8** 色が希望どおり調整されているか確認してください。

メモ

- 結果が希望どおりにならない場合は、手順 1 ~ 8 を繰り返します。

希望する色でファイルを印刷する

- 1** 印刷するファイルを開きます。
- 2** 文字または図形を選択して、アプリケーションで RGB 値を調整します。
- 3** ファイルを印刷します。

メモ

- アプリケーションで色を指定する方法については、アプリケーションのマニュアルをお読みください。
- 色見本と希望のファイルを印刷する場合は、同じプリンタードライバーの設定値を使用してください。

アンインストールする

注

- 管理者の権限が必要です。

- 1** [コントロールパネル] を起動します。
 - Windows Server 2016/Windows 10 の場合
 1. [スタート] をクリックし、[Windows システムツール] > [コントロールパネル] を選択します。
 - Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合
 1. 画面左下隅の を右クリックし、[コントロールパネル] を選択します。
 - Windows Server 2012 (R2 以外) の場合
 1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の [すべてのアプリ] を選択します。
 2. [Windows システムツール] の [コントロールパネル] を選択します。
 - Windows 7/Windows Server 2008 の場合
 1. [スタート] をクリックし、[コントロールパネル] を選択します。
- 2** [プログラムのアンインストール] をクリックします。
- 3** [FUJITSU 色見本印刷ユーティリティ] を選択し、[アンインストール] をクリックします。
- 4** 画面の指示に従って、アンインストールを完了します。

3. プリンター本体の設定を変更する

この章では、操作パネルの <設定> ボタンから機器設定を行う方法について説明します。

■ 現在の設定を確認する

この節では、プリンター情報印刷を行うための基本的な操作手順について説明します。プリンター情報印刷を行って、プリンターの現在の設定を確認することができます。

プリンター情報を印刷する

プリンターの設定内容や印刷集計結果を印刷し、確認することができます。

■ 参照

- 印刷できるプリンタ情報と【プリンタ情報印刷】メニューについては、「[\[プリンタ情報印刷\]](#) (P.40)」を参照してください。

■ 注

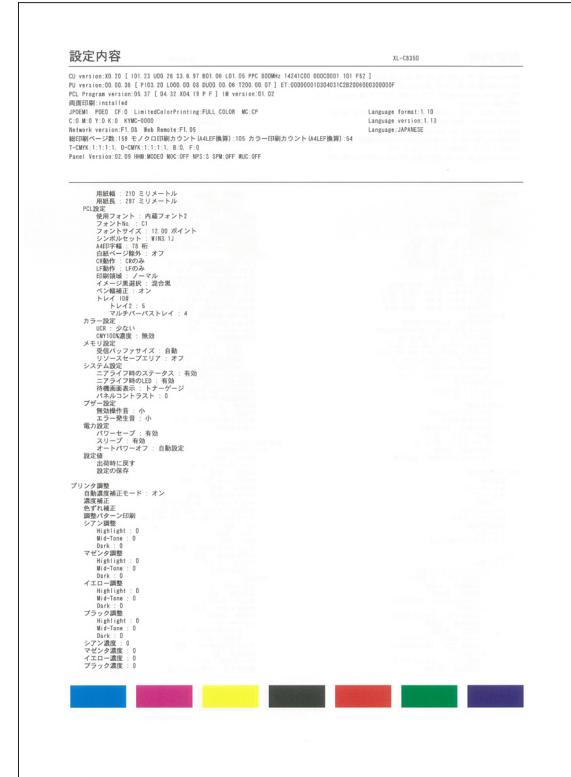
- プリンターが節電モードになっている場合は、<節電>ボタンを押し、節電モードから復帰してください。

1 <Fn> キーを押します。

2 数値の入力画面になるので、[1]、[0]、[0]、<設定>ボタンを押します。

3 [実行] が選択されていることを確認し、<設定>ボタンを押します。

4 印刷実行が表示されるので、<設定>ボタンを押します。



■ 機器設定を変更する

この節では、機器設定を変更するための基本的な操作手順を説明します。

 参照

- 機器設定メニューの項目一覧については、「各設定メニューの項目一覧」(P.39) を参照してください。

管理者用メニュー

[管理者用メニュー] メニューに入るには、管理者パスワードが必要です。

 メモ

- 工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

1 <設定>ボタンを押します。

2 スクロールボタン▼を押して [管理者用メニュー]を選択し、<設定>ボタンを押します。

3 テンキーから管理者パスワードを入力します。

4 <設定>ボタンを押します。

5 スクロールボタン▼を押して設定を変更したいメニューを選択し、<設定>ボタンを押します。

6 選択した項目の設定値を変更し、<設定>ボタンを押します。

7 <オンライン>ボタンを押して、メニュー モードを終了します。

その他設定のメニュー

1 <設定>ボタンを押します。

2 スクロールボタン▼を押して設定を変更したいメニューを選択し、<設定>ボタンを押します。

3 選択した項目の設定値を変更し、<設定>ボタンを押します。

4 <オンライン>ボタンを押して、メニュー モードを終了します。

Boot Menu

プリンターのシステム設定を変更することができます。

プリンターのシステム管理者の方のみ使用してください。

[Boot Menu] モードに入るには、パスワードが必要です。

 メモ

- 工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

1 <設定>ボタンを押しながら、電源スイッチを入れます。

2 <設定>ボタンを押します。

3 テンキーから管理者パスワードを入力します。

4 <設定>ボタンを押します。

5 スクロールボタンを押して設定を変更したいメニューを選択し、<設定>ボタンを押します。

6 選択した項目の設定値を変更し、<設定>ボタンを押します。

7 <オンライン>ボタンを押して、メニュー モードを終了します。

各設定メニューの項目一覧

！お願い

- 本プリンターでは、網掛け部は未サポートです。設定しないでください。
- 未サポートの設定を変更した場合、印刷動作の保証範囲外となるため、初期設定値に戻してください。

項目	説明
プリンタ情報	プリンタ情報（印刷枚数、消耗品残量、ネットワーク、システム情報）を示すメニュー
プリンタ情報印刷	プリンタの各種情報を印刷するメニュー
メニュー	プリンタの各種設定メニュー
管理者用メニュー	ネットワーク設定など、プリンタの管理者が変更するメニュー
プリンタ調整	プリンタの色と濃度を調整するメニュー
Boot Menu	プリンタの詳細なシステム設定を変更するメニュー 英語でのみ表示します。

プリンタ情報

項目	説明
印刷枚数	トレイ 1 トレイ 1 の総印刷枚数を表示します。 トレイ 1 から給紙した用紙枚数です。
	トレイ 2 (トレイ 2 実装時のみ) トレイ 2 の総印刷枚数を表示します。 トレイ 2 から給紙した用紙枚数です。
	トレイ 3 (トレイ 3 実装時のみ) トレイ 3 の総印刷枚数を表示します。 トレイ 3 から給紙した用紙枚数です。
	トレイ 4 (トレイ 4 実装時のみ) トレイ 4 の総印刷枚数を表示します。 トレイ 4 から給紙した用紙枚数です。
	マルチパーパストレイ マルチパーパストレイの総印刷枚数を表示します。 マルチパーパストレイから給紙した用紙枚数です。
消耗品 残量	シアンドラム シアンのイメージドラム（ドラムカートリッジ）の残寿命を % 表示します。
	マゼンタドラム マゼンタのイメージドラム（ドラムカートリッジ）の残寿命を % 表示します。
	イエロードラム イエローのイメージドラム（ドラムカートリッジ）の残寿命を % 表示します。
	ブラックドラム ブラックのイメージドラム（ドラムカートリッジ）の残寿命を % 表示します。
	ベルト ベルトユニットの残寿命を % 表示します。
	定着器 定着器ユニットの残寿命を % 表示します。
	シアントナー (n.nK)* 各色のトナーの残量を % 表示します。 *: 取り付けているトナーカートリッジの種類によって変わります。 (2.5K) : スタータートナーカートリッジ、またはトナーカートリッジ ブラック (小) (10.0K) : トナーカートリッジ (大) (2.2K) : トナーカートリッジ シアン / マゼンタ / イエロー (小)
	マゼンタトナー (n.nK)* イエロートナー (n.nK)* ブラックトナー (n.nK)*
ネットワーク	プリンタ名 プリンタ名を表示します。
	ショートプリンタ名 ショートプリンタ名を表示します。
	IPv4 アドレス IP アドレスを表示します。
	サブネットマスク サブネットマスクを表示します。
	ゲートウェイアドレス ゲートウェイアドレスを表示します。
	MAC アドレス MAC アドレスを表示します。
	Network FW バージョン ネットワーク F/W のバージョンを表示します。
	Web Remote バージョン WebPage (Internet Service) のバージョンを表示します。
	IPv6 アドレス (ローカル) IPv6 アドレス (ローカル) を表示します。
	IPv6 アドレス (グローバル) IPv6 アドレス (グローバル) を表示します。

項目		説明
システム情報	プリンタシリアル番号	プリンターのシリアルナンバーを示します。
	プリンタ管理番号	プリンターの管理番号を示します。
	CU バージョン	CU(Control Unit) フームウェアの版数を示します。
	PU バージョン	PU(Print Unit) フームウェアの版数を示します。
	メモリ容量	装置に搭載されているすべての RAM のサイズを合計した値を示します。
	フラッシュメモリ情報	装置に搭載されているすべてのフラッシュメモリーのサイズを合計した値を示します。

3

プリンタ情報印刷

3. プリンタ一本体の設定を変更する

項目		説明
プリンタ情報 印刷	設定内容	プリンターの設定内容を印刷します。
	ネットワーク	ネットワーク情報を印刷します。
	デモページ	デモンストレーション用のページを印刷します。
	ファイルリスト	ファイルリストを印刷します。
	PCL フォントリスト	PCL エミュレーションのフォントリストを印刷します。
	印刷集計結果	印刷集計結果を印刷します。
	エラーログ	エラーログを印刷します。
	カラープロファイルリスト	カラープロファイルリストを印刷します。

メニュー

「●」は工場出荷時の設定値です。

項目		設定値	説明
トレイ構成	マルチパーカス トレイ設定	用紙サイズ ● A3 A4[SEF] A4[LEF] A5[SEF] A5[LEF] A6 B4 B5[SEF] B5[LEF] B6 リーガル 14 リーガル 13.5 リーガル 13 タブロイド レター [SEF] レター [LEF] エグゼクティブ 16K(184x260mm) [SEF] 16K(195x270mm) [SEF]	マルチパーカストレイの用紙サイズを設定します。

項目		設定値	説明
トレイ構成	マルチパーカストレイ設定	用紙サイズ ● 16K(197x273mm) [SEF] 16K(184x260mm) [LEF] 16K(195x270mm) [LEF] 16K(197x273mm) [LEF] 8K(260x368mm) 8K(270x390mm) 8K(273x394mm) ステートメント カスタム Com-10 Envelope DL Envelope C5 C4 はがき 往復はがき 封筒 長形 3 号 封筒 長形 4 号 封筒 長形 40 号 封筒 洋形 0 号 封筒 洋形 4 号 封筒 角形 2 号 封筒 角形 3 号 インデックスカード	マルチパーカストレイの用紙サイズを設定します。
	用紙幅	● 64 ミリメートル (2.5 インチ) ~ 210 ミリメートル (8.3 インチ) ~ 216 ミリメートル (8.5 インチ) ~ 297 ミリメートル (11.7 インチ)	マルチパーカストレイのカスタム用紙の用紙幅を設定します。
	用紙長	● 90 ミリメートル (3.5 インチ) ~ 279 ミリメートル (11.0 インチ) ~ 297 ミリメートル (11.7 インチ) ~ 1321 ミリメートル (52.0 インチ)	マルチパーカストレイのカスタム用紙の用紙長さを設定します。

項目		設定値	説明
トレイ構成 マルチパーカストレイ設定	用紙種類	● 普通紙 レターヘッド 特殊用紙 2 ラベル紙 ボンド紙 再生紙 厚紙 粗い紙 特殊用紙	マルチパーカストレイの用紙種類を設定します。
		● 用紙厚 普通紙 やや厚い紙 厚い紙 より厚い紙 ごく厚い紙 1 ごく厚い紙 2 ごく厚い紙 3	マルチパーカストレイの用紙厚を設定します。
		● トレイの使い方 用紙違いの時 使用しない	マルチパーカストレイの使い方を設定します。
	トレイ 1 設定	● 用紙サイズ カセットサイズ カスタム	トレイ 1 の用紙サイズを設定します。
		● 用紙幅 105 ミリメートル (4.1 インチ) ～ 210 ミリメートル (8.3 インチ) ～ 216 ミリメートル (8.5 インチ) ～ 297 ミリメートル (11.7 インチ)	トレイ 1 のカスタム用紙の用紙幅を設定します。
		● 用紙長 148 ミリメートル (5.8 インチ) ～ 279 ミリメートル (11.0 インチ) ～ 297 ミリメートル (11.7 インチ) ～ 431 ミリメートル (17.0 インチ)	トレイ 1 のカスタム用紙の用紙長さを設定します。
	用紙種類	● 普通紙 レターヘッド ボンド紙 再生紙 厚紙 粗い紙 特殊用紙 1	トレイ 1 の用紙種類を設定します。

項目		設定値	説明
トレイ構成	トレイ 1 設定	用紙厚	<ul style="list-style-type: none"> ● 普通紙 やや厚い紙 厚い紙 より厚い紙 ごく厚い紙 1 ごく厚い紙 2
		リーガル用紙	<ul style="list-style-type: none"> ● リーガル 14 リーガル 13.5 リーガル 13
		その他 定型	<ul style="list-style-type: none"> 16K(184x260mm) [SEF] 16K(195x270mm) [SEF] 16K(197x273mm) [SEF] 16K(184x260mm) [LEF] 16K(195x270mm) [LEF] 16K(197x273mm) [LEF] 8K(260x368mm) 8K(270x390mm) 8K(273x394mm)
	トレイ 2 設定 * *: オプションのトレイ装着時に表示されます	用紙サイズ	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットサイズ カスタム
		用紙幅	<ul style="list-style-type: none"> ● 148 ミリメートル (5.8 インチ) ~ 210 ミリメートル (8.3 インチ) ~ 216 ミリメートル (8.5 インチ) ~ 297 ミリメートル (11.7 インチ)
		用紙長	<ul style="list-style-type: none"> ● 182 ミリメートル (7.2 インチ) ~ 279 ミリメートル (11.0 インチ) ~ 297 ミリメートル (11.7 インチ) ~ 431 ミリメートル (17.0 インチ)

項目		設定値	説明
トレイ構成 *: オプションのトレイ装着時に表示されます	用紙種類	● 普通紙 レターヘッド ボンド紙 再生紙 厚紙 粗い紙 特殊用紙 1	トレイ 2 の用紙種類を設定します。
		● 用紙厚 普通紙 やや厚い紙 厚い紙 より厚い紙 ごく厚い紙 1	トレイ 2 の用紙厚を設定します。
		● リーガル用紙 リーガル 14 リーガル 13.5 リーガル 13	トレイ 2 のリーガル用紙サイズを指定します。
	その他 定型	16K(184x260mm) [SEF] 16K(195x270mm) [SEF] 16K(197x273mm) [SEF] 16K(184x260mm) [LEF] 16K(195x270mm) [LEF] 16K(197x273mm) [LEF] 8K(260x368mm) 8K(270x390mm) 8K(273x394mm)	トレイ 2 のその他定型用紙サイズを指定します。
		● 用紙サイズ カセットサイズ カスタム	トレイ 3 の用紙を設定します。
	トレイ 3 設定 *: オプションのトレイ装着時に表示されます	● 用紙幅 148 ミリメートル (5.8 インチ) ~ 210 ミリメートル (8.3 インチ) ~ 216 ミリメートル (8.5 インチ) ~ 297 ミリメートル (11.7 インチ)	トレイ 3 のカスタム用紙の用紙幅を設定します。

項目	設定値	説明
トレイ構成 *: オプションのトレイ装着時に表示されます	用紙長 ● 182 ミリメートル (7.2 インチ) ～ 279 ミリメートル (11.0 インチ) ～ 297 ミリメートル (11.7 インチ) ～ 431 ミリメートル (17.0 インチ)	トレイ 3 のカスタム用紙の用紙長さを設定します。
用紙種類	● 普通紙 レターヘッド ボンド紙 再生紙 厚紙 粗い紙 特殊用紙 1	トレイ 3 の用紙種類を設定します。
用紙厚	● 普通紙 やや厚い紙 厚い紙 より厚い紙 ごく厚い紙 1	トレイ 3 の用紙厚を設定します。
リーガル用紙	● リーガル 14 リーガル 13.5 リーガル 13	トレイ 3 のリーガル用紙サイズを指定します。
その他 定型	16K(184x260mm) [SEF] 16K(195x270mm) [SEF] 16K(197x273mm) [SEF] 16K(184x260mm) [LEF] 16K(195x270mm) [LEF] 16K(197x273mm) [LEF] 8K(260x368mm) 8K(270x390mm) 8K(273x394mm)	トレイ 3 のその他定型用紙サイズを指定します。
トレイ 4 設定 * *: オプションのトレイ装着時に表示されます	用紙サイズ ● カセットサイズ カスタム	トレイ 4 の用紙を設定します。

項目		設定値	説明
トレイ構成	トレイ 4 設定 * *: オプションのトレイ装着時に表示されます	用紙幅 ● 148 ミリメートル (5.8 インチ) ～ 210 ミリメートル (8.3 インチ) ～ 216 ミリメートル (8.5 インチ) ～ 297 ミリメートル (11.7 インチ)	トレイ 4 のカスタム用紙の用紙幅を設定します。
	用紙長	182 ミリメートル (7.2 インチ) ～ 279 ミリメートル (11.0 インチ) ～ ● 297 ミリメートル (11.7 インチ) ～ 431 ミリメートル (17.0 インチ)	トレイ 4 のカスタム用紙の用紙長さを設定します。
	用紙種類	● 普通紙 レターヘッド ボンド紙 再生紙 厚紙 粗い紙 特殊用紙 1	トレイ 4 の用紙種類を設定します。
	用紙厚	● 普通紙 やや厚い紙 厚い紙 より厚い紙 ごく厚い紙 1	トレイ 4 の用紙厚を設定します。
	リーガル用紙	● リーガル 14 リーガル 13.5 リーガル 13	トレイ 4 のリーガル用紙サイズを指定します。

項目		設定値	説明
トレイ構成	トレイ 4 設定 * *: オプションのトレイ装着時に表示されます	その他 定型 16K(184x260mm) [SEF] 16K(195x270mm) [SEF] 16K(197x273mm) [SEF] 16K(184x260mm) [LEF] 16K(195x270mm) [LEF] 16K(197x273mm) [LEF] 8K(260x368mm) 8K(270x390mm) 8K(273x394mm)	トレイ 4 のその他定型用紙サイズを指定します。
	給紙トレイ	● トレイ 1 トレイ 2 トレイ 3 トレイ 4 マルチパーパストレイ	給紙トレイを指定します。
	自動トレイ切替	● オン オフ	自動トレイ切り替え機能を設定します。
	トレイ選択順序	● 下方向 上方向 給紙トレイ	自動トレイ選択 / 自動トレイ切り換え時の、選択順序を指定します。
	表示単位	● インチ ミリメートル	カスタム用紙サイズの単位を指定します。
	両面最終ページ	● 白紙スキップ 常時印刷	白紙スキップの場合、奇数ページのデータを両面印刷した場合、最終ページを片面印刷します。常時印刷の場合、両面印刷を指定し印刷するときは常に両面印刷します。アプリケーションによっては動作しない場合があります。
システム設定	パワーセーブ移行時間	● 1分 2分 3分 4分 5分 10分 15分 30分 60分 120分	省電力モードに移行するまでの時間を設定します。

項目	設定値	説明
システム設定 スリープ移行時間	1分 2分 3分 4分 5分 10分 ● 15分 30分 60分 120分	省電力モードからスリープモードに移行するまでの時間を設定します。
オートパワーオフ移行時間	1時間 2時間 3時間 ● 4時間 8時間 12時間 18時間 24時間	待機状態になった時点から電源オフモードに移行するまでの時間を設定します。
アラーム解除	● オンライン ジョブ	復旧可能なエラー表示を消去するタイミングを設定します。
エラー自動解除	● オン オフ	メモリオーバーフロー、トレイリクエスト発生時、自動的にプリンターを復旧させるか否かを設定します。
マニュアルタイムアウト	● オフ 30秒 60秒	手差し印刷時の用紙供給を待つ時間を設定します。
タイムアウト印刷	オフ 5秒 10秒 20秒 30秒 ● 40秒 50秒 60秒 90秒 120秒 150秒 180秒 210秒 240秒 270秒 300秒	データを受信しなくなつてから強制印刷を行うまでの時間を設定します。
トナーロー時の印刷	● 繙続 中止	「トナーの交換時期が近づいています」と表示した時のプリンタ動作を設定します。
ジャムリカバー	● オン オフ	紙づまりが発生した時、つまつたページを再度印刷するかを設定します。
エラーレポート	● オン オフ	内部エラー発生時にエラーレポートを印刷するか設定します。

項目		設定値	説明
システム設定	印刷位置補正	X 補正	● 0.00 ミリメートル +0.25 ミリメートル ～ +2.00 ミリメートル -2.00 ミリメートル ～ -0.25 ミリメートル
		Y 補正	● 0.00 ミリメートル +0.25 ミリメートル ～ +2.00 ミリメートル -2.00 ミリメートル ～ -0.25 ミリメートル
		両面印刷 X 補正	● 0.00 ミリメートル +0.25 ミリメートル ～ +2.00 ミリメートル -2.00 ミリメートル ～ -0.25 ミリメートル
		両面印刷 Y 補正	● 0.00 ミリメートル +0.25 ミリメートル ～ +2.00 ミリメートル -2.00 ミリメートル ～ -0.25 ミリメートル
普通紙ブラック設定		● 0 +1 +2 -2 -1	普通紙 / ブラック印刷結果にカスレ、チリなどが顕著に発生する場合の微調整に使用します。高密度印刷部で散ったような印刷あるいは雪がふったような印刷が発生した場合は設定値を小さくします。印刷がかずれるような場合には設定値を大きくします。
普通紙カラー設定		● 0 +1 +2 -2 -1	普通紙 / カラー印刷結果にカスレ、チリなどが顕著に発生する場合の微調整に使用します。高密度印刷部で散ったような印刷あるいは雪がふったような印刷が発生した場合は値を小さくします。印刷がかずれるような場合には値を大きくします。
特殊用紙2 ブラック設定		● 0 +1 +2 -2 -1	特殊用紙2 / ブラック印刷結果にカスレ、チリなどが顕著に発生する場合の微調整に使用します。高密度印刷部で散ったような印刷あるいは雪がふったような印刷が発生した場合は設定値を大きくします。印刷がかずれるような場合には設定値を小さくします。
特殊用紙2 カラー設定		● 0 +1 +2 -2 -1	特殊用紙2 / カラー印刷結果にカスレ、チリなどが顕著に発生する場合の微調整に使用します。高密度印刷部で散ったような印刷あるいは雪がふったような印刷が発生した場合は設定値を大きくします。印刷がかずれるような場合には設定値を小さくします。

項目	設定値	説明
システム設定 SMR 設定	● 0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	温湿度環境および印刷濃度 / 印刷頻度の差による印字のばらつきを補正します。画質にむらがある場合に値を変更します。
BG 設定	● 0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	温湿度環境および印刷濃度 / 印刷頻度の差による印字のばらつきを補正します。下地が濃い場合に値を変更します。
ドラムクリーニング	● オン オフ	横白筋を軽減するため印刷前にドラム空まわしを行うかどうかを設定します。 ID 寿命が空まわし分短くなるため注意が必要。
ヘキサダンプ	実行	受信したデータを 16 進数のダンプ形式で印刷出力します。 通常モードに戻すには、電源を OFF/ON します。

管理者用メニュー

【管理者用メニュー】に入るには、管理者パスワードが必要です。詳しくは「管理者用メニュー」(P.38) を参照してください。

「●」は工場出荷時の設定値です。

項目	設定値	説明
管理者用 メニュー ネットワーク 設定	● 有効 無効	TCP/IP プロトコルの有効 / 無効を設定します。
	● IP v4 IP v4+v6 IP v6	IP のバージョンを設定します。
	有効 無効	NetBEUI プロトコルの有効 / 無効を設定します。
	有効 無効	NetBIOS over TCP プロトコルの有効 / 無効を設定します。
	有効 無効	NetWare プロトコルの有効 / 無効を設定します。
	自動 802.2 802.3 Ethernet II SNAP	フレームタイプを設定します。
	● 自動 手動	IP アドレスの設定方法を設定します。
	● XXX.XXX.XXX.XXX	IP アドレスを設定します。
	● XXX.XXX.XXX.XXX	サブネットマスクを設定します。

項目		設定値	説明
管理者用メニュー	ネットワーク設定	ゲートウェイアドレス	● xxx.xxx.xxx.xxx ゲートウェイ（デフォルトルータ）アドレスを設定します。
		Web	● 有効 無効 Web の有効 / 無効を設定します。
		IPSec	● 有効 無効 IPSec が有効に設定されている場合のみ表示し、Disable への変更のみ可能とします。
		SNMP	● 有効 無効 SNMP の有効 / 無効を設定します。
		ネットワークの規模	● 普通 小規模 普通の時は、スパンニングツリー機能を持つハブに接続した場合でも効率良く動作します。但し、コンピュータが 2、3 台の小さな LAN に接続すると、プリンターの起動時間が長くなります。
		ハブとの接続	● 自動 100Base-TX Full 100Base-TX Half 10Base-T Full 10Base-T Half ハブとの接続方法を設定します。
		TCP 応答	● タイプ 1 タイプ 2 TCP 応答のタイプを設定します。
		工場出荷時設定	● 実行 ネットワークメニューの初期化を行うかを指定します。
印刷設定	コピー枚数		● 1 ～ 999 コピー枚数を設定します。
	両面印刷		● オン オフ 両面印刷を指定します。
	綴じ方		● 長辺綴じ 短辺綴じ 両面印刷の綴じ方を指定します。
	用紙チェック		● 有効 無効 印刷データの用紙サイズとトレイの用紙サイズの不整合をチェックするか否かを設定します。
	解像度		● 600dpi 600x1200dpi 600dpi multi-level 解像度を設定します。
	トナーセーブ	トナーセーブ量	● オフ 少ない やや多い 多い トナーセーブ量を設定します。オフではトナーセーブは無効、少ないでは 15%、やや多いでは 35%、多いでは 50% のトナーセーブを行います。
		対象色	● 全て 100% 黒を除く トナーセーブを 100% 黒に反映させるかどうかを指定します。
	モノクロ印刷モード		● 自動 印刷速度優先 ID 寿命優先 モノクロページの印刷モードを設定します。
	印刷方向		● 縦 横 印刷方向を設定します。

項目		設定値	説明
管理者用 メニュー	印刷設定	1 ページ行数	<p>● 5 行 ～ 60 行 ～ 64 行 ～ 128 行</p>
		編集サイズ	<p>● カセットサイズ A3 A4 SEF A4 LEF A5 SEF A5 LEF A6 B4 B5 SEF B5 LEF B6 リーガル 14 リーガル 13.5 リーガル 13 タブロイド レター 縦送り レター 横送り エグゼクティブ 16K(184x260mm) 16K(195x270mm) 16K(197x273mm) 16K(184mm) 横送り 16K(195mm) 横送り 16K(197mm) 横送り 8K(260x368mm) 8K(270x390mm) 8K(273x394mm) ステートメント カスタム Com-10 Envelope DL Envelope C5 C4 はがき 往復はがき 封筒 長形 3 号 封筒 長形 4 号 封筒 長形 40 号 封筒 洋形 0 号</p>

項目		設定値	説明
管理者用メニュー	印刷設定	編集サイズ	封筒 洋形4号 封筒 角形2号 封筒 角形3号 インデックスカード
		用紙幅	● 64ミリメートル (2.5インチ) ～ 210ミリメートル (8.3インチ) ～ 216ミリメートル (8.5インチ) ～ 297ミリメートル (11.7インチ)
		用紙長	● 90ミリメートル (3.5インチ) ～ 279ミリメートル (11.0インチ) ～ 297ミリメートル (11.7インチ) ～ 1320.8ミリメートル (52.0インチ)
PCL 設定	使用フォント	内蔵フォント 内蔵フォント2 ダウンロードフォント	PCL デフォルトフォントのロケーションを指定します。
	フォントNo.	I0 C1 S1	PCL フォント番号を設定します。
	フォントピッチ	0.44CPI ～ 10.00CPI ～ 99.99CPI	PCL デフォルトフォントの幅を指定します。
	フォントサイズ	4.00 ポイント ～ 12.00 ポイント ～ 999.75 ポイント	PCL デフォルトフォントの高さであり、値は小数点以下2桁 (0.25 POINT 単位) で表示されます。

項目		設定値	説明
管理者用メニュー	PCL 設定	シンボルセット PC-8 PC-8 Dan/Nor PC-8 Grk PC-8 TK PC-775 PC-850 PC-851 Grk PC-852 PC-855 PC-857 TK PC-858 PC-862 Heb PC-864 L/A PC-866 PC-866 Ukr PC-869 PC-1004 Pi Font Plska Mazvia PS Math PS Text Roman-8 Roman-9 Roman Ext Serbo Croat1 Serbo Croat2 Spanish Ukrainian VN Int'l VN Math VN US Win 3.0 Win 3.1 Arb Win 3.1 L/G Win 3.1 Blt Win 3.1 Cyr Win 3.1 Grk Win 3.1 Heb Win 3.1 L1 Win 3.1 L2 Win 3.1 L5 Wingdings Dingbats MS Symbol OCR-A OCR-B OCRB Subset2	PCL のシンボルセットを設定します。

項目		設定値	説明
管理者用メニュー	PCL 設定	シンボルセット	HP ZIP USPSFIM USPSSTP USPSZIP Arabic-8 Bulgarian CWI Hung DeskTop German Greek-437 Greek-437 Cy Greek-737 Greek-8 Greek-928 Hebrew NC Hebrew OC Hebrew-7 Hebrew-8 IBM-437 IBM-850 IBM-860 IBM-863 IBM-865 ISO Dutch ISO L1 ISO L2 ISO L4 ISO L5 ISO L6 ISO L9 ISO Swedish1 ISO Swedish2 ISO Swedish3 ISO-2 IRV ISO-4 UK ISO-6 ASC ISO-10 S/F ISO-11 Swe ISO-14 JASC ISO-15 Ita ISO-16 Por ISO-17 Spa ISO-21 Ger ISO-25 Fre ISO-57 Chi ISO-60 Nor ISO-61 Nor ISO-69 Fre

項目		設定値	説明	
管理者用 メニュー	PCL 設定	シンボルセット	ISO-84 Por ISO-85 Spa ISO-Cyr ISO-Grk ISO-Hebrew Kamenicky Legal Math-8 MC Text MS Publish PC Ext D/N PC Ext US PC Set1 PC Set2 D/N PC Set2 US WIN3.1J	
	A4 印字幅	78 枠 80 枠	PCL で A4 用紙の自動改行する桁数設定します。但し、10CPI の文字で、自動復帰改行モード OFF の場合の数値です。	
	白紙ページ除外	オン オフ	PCL で FF コマンド (OCH) を受信時に、印刷するデータがないページ（白紙）を排出するか否かの設定をします。	
	CR 動作	CR のみ CR+LF	PCL で CR コード受信時の動作を設定します。	
	LF 動作	LF のみ LF+CR	PCL で LF コード受信時の動作を設定します。	
	印刷領域	ノーマル 1/5 インチ 1/6 インチ	用紙の印刷不可能領域を設定します。	
	イメージ黒選択	単色黒 混合黒	PCL: イメージデータの黒 (100%) に対して、Composite Black (cmyk 混色) を使用するか Pure Black (Kのみ) を使用するかを設定します。	
	ペン幅補正	オン オフ	PCL での最小線幅が指定された時に 1dot で線を書くと切れて見える場合があります。細い線を見るように補正します。	
	トレイ ID#	トレイ 2	1 ～ 5 ～ 59	PCL5 エミュレーションでの給紙先指定コマンド (ESC&#H) において、トレイ 2 指定の # を設定します。 本メニューは、トレイ 2 実装時のみ表示されます。
		トレイ 3	1 ～ 20 ～ 59	PCL5 エミュレーションでの給紙先指定コマンド (ESC&#H) において、トレイ 3 指定の # を設定します。 本メニューは、トレイ 3 実装時のみ表示されます。

項目				設定値	説明
管理者用メニュー	PCL 設定	トレイ ID#	トレイ 4	1 ～ 21 ～ 59	PCL5 エミュレーションでの給紙先指定コマンド (ESC&I#H) において、トレイ 4 指定の # を設定します。 本メニューは、トレイ 4 実装時のみ表示されます。
			マルチパーパストレイ	1 ～ 4 ～ 59	PCL5 エミュレーションでの給紙先指定コマンド (ESC&I#H) において、マルチパーパストレイ指定の # を設定します。
カラー設定	UCR		● 少ない 普通 多い	トナー層厚の制限値を選択します。濃い印刷で用紙のカールなどが発生する場合は、「普通」や「多い」を選択するとカール量が軽減されることがあります。	
	CMY100% 濃度		● 有効 無効	CMY100% 階調値に対する 100% 出力を有効とするか否かを選択します。	
メモリ設定	受信バッファーサイズ		● 自動 0.5 MB 1 MB 2 MB 4 MB 8 MB 16 MB 32 MB	受信バッファーサイズを設定します。	
	リソースセーブエリア		自動 オフ 0.5 MB 1 MB 2 MB 4 MB 8 MB 16 MB 32 MB	リソースセーブエリアサイズを設定します。	
フラッシュメモリ設定	初期化		実行	レジデント FLASH を初期化します。	
システム設定	ニアライフ時のステータス		● 有効 無効	イメージドラム（ドラムカートリッジ）、定着器ユニット、ベルトユニットについて、寿命が近づいた時にメッセージを液晶パネルに表示するかの設定を行います。	
	ニアライフ時の LED		● 有効 無効	トナーカートリッジ、イメージドラム（ドラムカートリッジ）、定着器ユニット、ベルトユニットについて、寿命が近づいた時に点検ランプを点灯するかの設定を行います。	
	待機画面表示		● トナーゲージ 用紙サイズ	待機画面に表示する情報を選択します。	
	パネルコントラスト		● -10 ～ 0 ～ +10	操作パネルの液晶パネルの LCD のコントラスト値を調整します。	

項目		設定値	説明
管理者用メニュー	ブザー設定	無効操作音	● オフ 小 大
		エラー発生音	● オフ 小 大
電力設定	パワーセーブ	● 有効 無効	省電力モードの有効 / 無効を設定します。
	スリープ	● 有効 無効	スリープモードの有効 / 無効を設定します。
	オートパワーオフ	● 有効 自動設定 無効	オートパワーオフの振る舞いを設定します。
パスワード変更	新しいパスワード	(なし)	"Admin Setup" メニューおよび "Boot Menu" に入るための新しいパスワードを設定します。
	パスワードの再入力	(なし)	"New Password" で設定した、"Admin Setup" メニューおよび "Boot Menu" に入るための新しいパスワードをユーザに確認入力させます。 入力範囲は 6 行～ 12 行の数字または英字文字。
設定値	出荷時に戻す	実行	CU の EEPROM をリセットします。ユーザメニュー設定を工場出荷時状態に戻します。
	設定の保存	実行	現在のメニュー設定を保存します。
	設定の呼び出し	実行	保存しているメニュー設定に変更します。

プリンタ調整

「●」は工場出荷時の設定値です。

項目		設定値	説明
プリンタ調整	自動濃度補正モード	● オン オフ	濃度補正と階調補正を自動で行うかを選択します。 オンの場合：エンジンが規定する所定の条件で自動的に濃度補正を実行し、階調補正に反映します。 オフの場合：自動的に濃度補正を行いません。 濃度補正を行いたいときは、【濃度補正】メニューを選択し、実行します。
	濃度補正	実行	実行を選択すると、濃度補正を行います。 プリンターが処理を行っていないときに実行してください。
	色ずれ補正	実行	このメニューを選択すると、プリンターは自動色ずれ補正動作を実行します。 プリンターが処理を行っていないときに実行してください。
	調整パターン印刷	実行	カラー調整のためのパターンを印刷します。
	シアン調整	● 0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアン階調特性のハイライト部（薄い領域）を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。

項目		設定値		説明
プリンタ調整	シアン調整	Mid-Tone	● 0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアン階調特性の中間部を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
		Dark	● 0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアン階調特性のダーク部（濃い領域）を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	マゼンタ調整	Highlight	● 0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタ階調特性のハイライト部（薄い領域）を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
		Mid-Tone	● 0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタ階調特性の中間部を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	イエロー調整	Dark	● 0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタ階調特性のダーク部（濃い領域）を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
		Highlight	● 0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエロー階調特性のハイライト部（薄い領域）を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。

項目		設定値		説明
プリンタ調整	イエロー調整	Mid-Tone	● 0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエロー階調特性の中間部を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
		Dark	● 0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエロー階調特性のダーク部（濃い領域）を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	ブラック調整	Highlight	● 0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラック階調特性のハイライト部（薄い領域）を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
		Mid-Tone	● 0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラック階調特性の中間部を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	シアン濃度	Dark	● 0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラック階調特性のダーク部（濃い領域）を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
			● 0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの濃度を調整します。

項目	設定値	説明
プリンタ調整	マゼンタ濃度 ● 0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの濃度を調整します。
	イエロー濃度 ● 0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの濃度を調整します。
	ブラック濃度 ● 0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラックの濃度を調整します。

Boot Menu

[Boot Menu] モードに入るには、<設定>ボタンを押しながら電源スイッチを入れます。詳しくは「[\[Boot Menu\] \(P.38\)](#)」を参照してください。

「●」は工場出荷時の設定値です。

項目	設定値	説明
Boot Menu	USB Setup	USB ● Enable Disable
		Speed ● 480Mbps 12Mbps
		Soft Reset ● Enable ● Disable
		Offline Receive ● Enable ● Disable
		Serial Number ● Enable Disable
Storage Setup	Enable Initialization ● No Yes	BlockDevice (FLASH) の初期化を伴う設定変更をさせないようにします。
Process Setup	Custom Process ● Full Color Monochrome Custom Color	本プリンターでは未サポート機能です。設定を変更しないでください。
Language Setup	Language Initialize Execute	FLASH に搭載されているメッセージファイルを初期化します。

項目		設定値	説明
Boot Menu	System Setup	High Humid Mode	<p>● Mode0 Mode1 Mode2 Mode3 Mode4 Off</p> <p>◆ Mode0 (工場出荷時設定)について： <使用効果> 用紙カールを低減します。</p> <p><使用上の注意> 用紙厚設定が [普通紙] 設定で印刷を行った際、擦るとトナーがはがれたり、光沢にムラが出る場合があります。</p> <p>◆ Mode1/2について： <使用効果> [Mode0] の設定で印刷を行った際、擦るとトナーがはがれたり、光沢にムラが出る場合で、用紙カールを低減したいときに使用します。 [Mode1] で用紙カールの低減効果が得られない場合は [Mode2] を試してください。 【効果：Mode1 < Mode2】</p> <p><使用上の注意> ウォームアップ時間が長くなり、印刷速度が遅くなります。 ([Mode1] より [Mode2] の方がウォームアップ時間が長くなります)</p> <p>◆ Mode3/4について： <使用効果> 用紙厚の薄い用紙で両面印刷を行った際、イメージドラム（ドラムカートリッジ）部で紙づまりが発生する場合、紙づまりの発生を抑止することができます。 【効果：Mode3 < Mode4】</p> <p><使用上の注意> ウォームアップ時間が長くなり、印刷速度が若干遅くなります。 [Mode3/4] は用紙厚設定が [普通紙] 設定のときのみ効果があります。 [Mode3] をお試しいただき、効果が得られなければ、[Mode4] を試してください。</p>

項目		設定値	説明
Boot Menu	System Setup	Moisture Control	<p>● Mode1 Mode2 Off</p> <p><使用効果> 用紙先端が濡れることを抑えることができます。 [Mode1] で効果が得られない場合は [Mode2] を試してください。 【効果 : Mode1 < Mode2】</p> <p><使用上の注意> ウォームアップ時間が [Off] 時より長くなり、印刷速度が遅くなります。 ※注 1</p>
		Narrow Paper Speed	<p>● Normal Slow ExNormal</p> <p>幅の狭い用紙を使用するときの印刷速度を設定します。 [Normal] : 用紙厚の設定が、[より厚い紙] 以上で幅 150mm 以下の用紙を印刷するとき、印刷速度が遅くなります。 [Slow] : 用紙厚の設定によらず、幅 216mm 以下の用紙を印刷するとき、印刷速度が遅くなります。 [ExNormal] : 用紙厚の設定が、[より厚い紙] 以上で幅 150mm 以下の用紙を印刷するとき、印刷速度が遅くなります。また、用紙厚の設定によらず、それまで印刷していた用紙よりも 10mm 以上幅の広い用紙へ切り替えて印刷するとき、定着温度をしばらく調整してから印刷します。</p>
		Slow Print Mode	<p>● On Off</p> <p>低速印刷モードを設定します。</p>
		Warmup Control	<p>● On Off</p> <p><使用効果> 電源投入後のイニシャル動作や印刷開始時のウォームアップ動作の際、異常音が発生する場合に試してください。</p> <p><使用上の注意> ウォームアップ時間が [Off] 時より若干長くなります。</p>
		Menu Lockout	<p>● On Off</p> <p>メニューロックアウト機能のオン / オフを設定します。</p>

※注 1 : Moisture Control の Mode1 は、パワーセーブ移行設定を延ばすか、Off することにより印刷開始までの時間を短くすることができます。ただし、Power On 時や、パワーセーブに移行した後の印刷開始時には、Mode2 と同様、ウォームアップ時間が長くなります。

4. ユーティリティーソフトウェアを使う

この章では、プリンターを使用するときに役立つソフトウェア機能を説明します。

■ 各ユーティリティーの概要

この節では、プリンターで使用できるユーティリティーについて説明します。ユーティリティーの使用方法については、各セクションを参照してください。

項目	機能対象	説明	システム要件	参照先
カラー調整ユーティリティ	プリント	カラーマッチングを調整します。パレットカラーの出力色を調整できます。また、色相を調整して、出力色の全体的な色合いを変更することもできます。	Windows Server 2016/ Windows 10/Windows 8.1/ Windows Server 2012/ Windows 7/ Windows Server 2008	30 ページ
色見本印刷ユーティリティ	プリント	色見本を印刷します。このユーティリティーでは、印刷する色を確認できます。このユーティリティーは、プリンタードライバーをインストールすると自動的にインストールされます。		35 ページ
FUJITSU LPR ユーティリティ	プリント	ネットワーク接続での印刷、印刷の管理、プリンターの状態の確認ができます。また、プリンターのIPアドレスが変更になった場合、自動で再設定することができます。		67 ページ
Network Extension	本体管理	プリンタードライバーからプリンターの設定を確認したり、オプションを設定することができます。このユーティリティーは、ネットワーク接続でプリンタードライバーをインストールすると、自動的にインストールされます。		71 ページ

■ ユーティリティー

この節では、使用できる Web ページやユーティリティーを説明します。

Web ページ (FUJITSU Printer Internet Service)

Web ページを使用するには、次の条件を満たしている必要があります。

- TCP/IP が有効になっていること。
- Microsoft Internet Explorer 6.0 以降がインストールされていること。

メモ

- Web ページのセキュリティー設定を中レベルに設定するか、Cookie を有効にしてください。
- 管理者としてログインするには、ユーザー名と管理者パスワードが必要です。ユーザー名は「xladmin」で、工場出荷時のパスワードは「FujitsuPrinter」です。

Web ページから、次の操作を実行できます。

- プリンターの状態を表示する。
- トレイ、ネットワーク、機能の初期設定、プリンターの設定をする。
- ジョブの一覧を表示する。
- 頻繁に使用する Web ページにリンクする。

メモ

- Web ページでプリンターの設定変更を行うには、装置の管理者としてログインする必要があります。

参照

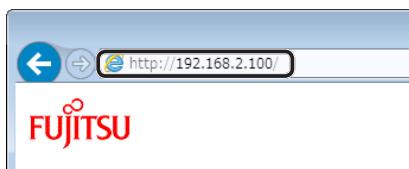
- ネットワークの設定方法については、「[Web ページ \(FUJITSU Printer Internet Service\) からネットワーク設定を変更する](#)」(P.90) を参照してください。

プリンターの Web ページにアクセスする

- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 アドレスバーに、「http:// (プリンターの IP アドレス)」を入力し、<Enter> ボタンを押します。

参照

- プリンターの IP アドレスについては、「[ハードウェアガイド](#)」を参照してください。



管理者としてログインする

注

- 管理者の権限が必要です。

- 1 トップページの [管理者のログイン] をクリックします。



- 2 [ユーザー名] に「xladmin」を、[パスワード] に「FujitsuPrinter」を入力し、[OK] をクリックします。

- 3 [スキップ] をクリックします。

この画面で設定を変更したときは、[OK] をクリックします。



管理者用の設定メニューが表示されます。

管理者パスワードを変更する

Web ページから、管理者パスワードを変更できます。Web ページで指定する管理者パスワードは、操作パネルからプリンターにログインするときのものとは異なります。

メモ

- パスワードは半角英数字 15 文字以内まで入力できます。
- パスワードは大文字 / 小文字が区別されます。
- Web ページの工場出荷時の管理者パスワードは「FujitsuPrinter」です。
- ユーザー名は「xadmin」から変更できません。

- 1 Web ブラウザーを起動し、プリンターの IP アドレスを入力します。
- 2 [管理者設定] を選択します。
- 3 [ネットワーク設定] > [セキュリティ] > [ネットワークパスワード変更] を選択します。
- 4 [新しいネットワークパスワード] に、新しいパスワードを入力します。
- 5 [新しいネットワークパスワードの再入力] に、パスワードを再度入力します。
入力したパスワードは表示されません。パスワードを書き留めて、安全な場所で管理してください。
- 6 [送信] をクリックします。
新しい設定は、ネットワーク機能が再起動してから有効になります。

メモ

- プリンターを再起動する必要はありません。次回、管理者としてログインするときは、新しいパスワードを使用します。

プリンターの状態を確認する

Web ページから、プリンターの状態を確認できます。

- 1 Web ブラウザーを起動し、プリンターの IP アドレスを入力します。
プリンターの状態が表示されます。

メモ

- 管理者としてログインしているときは、[ステータスウィンドウ] をクリックすると、プリンターの状態を簡易的に表示できます。

プリンターの設定を変更する

Web ページから、プリンターの設定を変更できます。

- 1 Web ブラウザーを起動し、管理者としてログインします。
- 2 設定を変更し、[送信] をクリックします。

日付を自動的に取得する

! お願い

- 本プリンターでは、SNTP は未サポートです。設定しないでください。

日付情報をインターネットタイムサーバーから自動的に取得して、プリンターに反映できます。

- 1 Web ブラウザーを起動し、管理者としてログインします。
- 2 [管理者設定] を選択します。
- 3 [ネットワーク設定] > [SNTP] を選択します。
- 4 タイムゾーンを指定します。
- 5 [SNTP] に [有効] を選択します。
- 6 [SNTP サーバ (プライマリ)] に SNTP サーバを入力します。
- 7 必要に応じて、[SNTP サーバ (セカンダリ)] に別の SNTP サーバを入力します。
- 8 [送信] をクリックします。

新しい設定は、ネットワーク機能が再起動してから有効になります。

FUJITSU LPR ユーティリティ

FUJITSU LPR ユーティリティを使って、ネットワーク経由の印刷、印刷の管理、プリンターの状態の確認ができます。

インストールする

メモ

- 「ハードウェアガイド」 – 「ネットワーク接続」 – 「プリンタードライバーのインストール」の手順7で、[印刷方法]として[Fujitsu LPR ユーティリティ]を選択してプリンタードライバーをインストールした場合、FUJITSU LPR ユーティリティはインストールされています。次の手順でインストールする必要はありません。

1 「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」をコンピューターに挿入します。

[FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ] ダイアログが自動的に表示されます。

メモ

- [FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ] ダイアログが自動的に表示されない場合は、エクスプローラーなどを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある [XLSTART.EXE] をダブルクリックしてください。[FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ] ダイアログが表示されます。
- 自動再生時や [XLSTART.EXE] をダブルクリックしたときに、[自動再生] ダイアログが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、[Xstart.exe の実行] をクリックしてください。

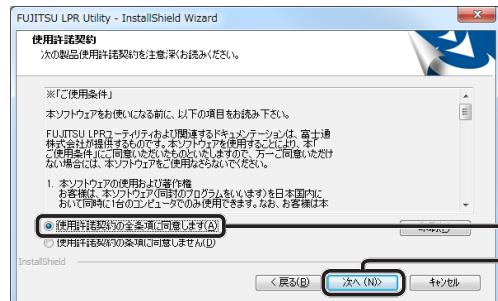
2 メニューから [FUJITSU LPR ユーティリティ] をクリックします。



3 [次へ] をクリックします。



4 (1) [使用許諾契約の全条項に同意します] を選択し、(2) [次へ] をクリックします。



5 インストール先とスプール先のフォルダーを確認し、[次へ] をクリックします。



6 (1) スタートアップに登録するかどうか、タスクトレイで実行するかどうかを選択し、(2) [次へ] をクリックします。

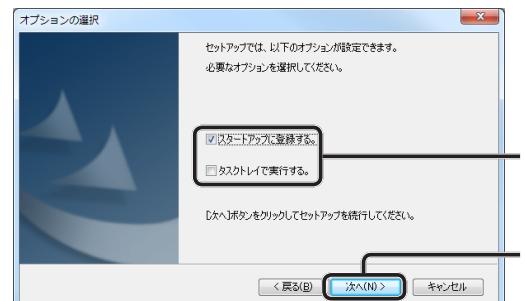
■スタートアップに登録する

チェックをつけると、コンピューターの起動時に、FUJITSU LPR ユーティリティの [メインウィンドウ] が表示されます。

■タスクトレイで実行する

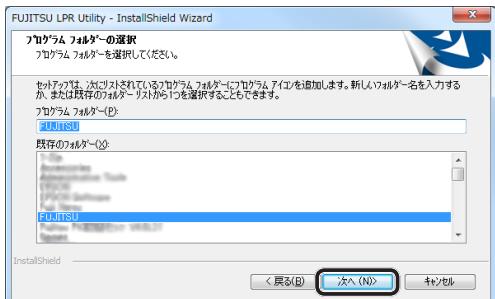
チェックをつけると、タスクトレイ（通知領域）に FUJITSU LPR ユーティリティのアイコンを登録します。

アイコンをクリックすると、[メインウィンドウ] が表示されます。



- [スタートアップに登録する] [タスクトレイで実行する] のチェックを外しても、印刷を開始すると、自動的に FUJITSU LPR ユーティリティが起動します。

- 7 [プログラムフォルダーの選択] ダイアログでプログラムフォルダーを確認し、[次へ] をクリックします。



- 8 引き続き [プリンタの追加] を行う場合は [InstallShield Wizard の完了] ダイアログで (1) [はい、FUJITSU LPR ユーティリティを起動します] にチェックをつけ、(2) [完了] をクリックします。



FUJITSU LPR ユーティリティが起動します。

以上で、FUJITSU LPR ユーティリティのインストールは完了です。

FUJITSU LPR ユーティリティを使用するには、TCP/IP が有効になっている必要があります。

○注

- 共有プリンターでは FUJITSU LPR ユーティリティを使用できません。Standard TCP/IP ポートをお使いください。

起動する

■ Windows Server 2016/Windows 10 の場合

- 1 [スタート] をクリックし、[FUJITSU] > [FUJITSU LPR ユーティリティ] > [FUJITSU LPR ユーティリティ] を選択します。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

- 1 スタート画面左下の○をクリックします。
2 [FUJITSU] の [FUJITSU LPR ユーティリティ] > [FUJITSU LPR ユーティリティ] を選択します。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

- 1 スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の [すべてのアプリ] を選択します。
2 [FUJITSU] の [FUJITSU LPR ユーティリティ] > [FUJITSU LPR ユーティリティ] を選択します。

■ Windows 7/Windows Server 2008 の場合

- 1 [スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] > [FUJITSU] > [FUJITSU LPR ユーティリティ] > [FUJITSU LPR ユーティリティ] を選択します。

プリンターを追加する

FUJITSU LPR ユーティリティにプリンターを追加します。

○注

- 管理者の権限が必要です。
- プリンターを追加できない場合、一度 FUJITSU LPR ユーティリティを終了し、[スタート] メニュー（アプリ画面）にある [FUJITSU] > [FUJITSU LPR ユーティリティ] > [FUJITSU LPR ユーティリティ] を右クリックし、[管理者として実行] を選択して起動してください。

○メモ

- すでに FUJITSU LPR ユーティリティに登録されているプリンターは設定できません。ポートを変更したい場合は、[リモートプリント] から [プリンタの再設定] を選択します。

1 FUJITSU LPR ユーティリティを起動します。

2 [リモートプリント] メニューから [プリンタの追加] を選択します。

3 [プリンタ名] を選択し、IP アドレスを入力します。

ネットワークプリンターと、LPR ポートに接続されているプリンターは、表示されません。

4 ネットワークプリンターを選択するときは、[検索] を選択します。

5 [OK] をクリックします。

ファイルをダウンロードする

FUJITSU LPR ユーティリティに追加したプリンターに、ファイルをダウンロードします。

1 FUJITSU LPR ユーティリティを起動します。

- 2 ダウンロード先のプリンターを選択します。
- 3 [リモートプリント] メニューから [ダウンロード] を選択します。
- 4 ファイルを選択し、[開く] をクリックします。

プリンターの状態を表示する

- 1 FUJITSU LPR ユーティリティを起動します。
- 2 プリンターを選択します。
- 3 [リモートプリント] メニューから [プリンタのステータス] を選択します。

ジョブを確認 / 削除 / 転送する

印刷ジョブの確認と削除ができます。また、ビジー、オフライン、用紙切れなどが原因で、印刷できないときは、別の FUJITSU 製のプリンターに印刷ジョブを転送することもできます。

！注

- 印刷ジョブの転送は、お使いのプリンターと同じ機種のプリンターにだけ可能です。
 - ジョブを転送する前に、プリンターを追加する必要があります。
- 1 FUJITSU LPR ユーティリティを起動します。
 - 2 [リモートプリント] メニューから [ジョブの表示] を選択します。
 - 3 ジョブを削除したいときは、ジョブを選択し、[ジョブ] メニューから [削除] を選択します。
 - 4 ジョブを転送したいときは、ジョブを選択し、[ジョブ] メニューから [転送] を選択して転送先プリンターを選択します。

ジョブを自動的に転送する

ビジー、オフライン、用紙切れなどが原因で、印刷できないときは、別のプリンターに印刷ジョブを自動的に転送するように設定できます。

！注

- 印刷ジョブの転送は、お使いのプリンターと同じ機種名のプリンターにだけ可能です。
 - ジョブを転送する前に、プリンターを追加する必要があります。
 - 管理者の権限が必要です。
- 1 FUJITSU LPR ユーティリティを起動します。
 - 2 設定したいプリンターを選択します。
 - 3 [リモートプリント] メニューから [プリンタの再設定] を選択します。

- 4 [詳細設定] をクリックします。
- 5 [ジョブの自動転送を行う] にチェックをつけます。
- 6 エラーが発生したときだけ、ジョブを転送するには、[エラー時のみ転送する] にチェックをつけます。
- 7 [追加] をクリックします。
- 8 転送先プリンターの IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。
- 9 [OK] をクリックします。

複数台のプリンターで印刷する

1 回の指示で、複数台のプリンターから印刷ができます。

！注

- 1 つの印刷コマンドを複数台のリモートプリンターに送信して、同時に印刷を実行する機能です。
- 管理者の権限が必要です。

- 1 FUJITSU LPR ユーティリティを起動します。
- 2 設定したいプリンターを選択します。
- 3 [リモートプリント] メニューから [プリンタの再設定] を選択します。
- 4 [詳細設定] をクリックします。
- 5 [他のプリンタにも同時に印刷する] にチェックをつけます。
- 6 [設定] をクリックします。
- 7 [追加] をクリックします。
- 8 同時に印刷するプリンターの IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。
- 9 [OK] をクリックします。

Web ページ (FUJITSU Printer Internet Service) を開く

FUJITSU LPR ユーティリティから、プリンターの Web ページを開くことができます。

- 1 FUJITSU LPR ユーティリティを起動します。
- 2 プリンターを選択します。

3 [リモートプリント] メニューから [Web 設定] を選択します。

※メモ

- Web のポート番号を変更したときは Web ページが開きません。次の手順を実行して、FUJITSU LPR ユーティリティのポート番号を再設定します。

a プリンターを選択します。

b [リモートプリント] メニューから [プリンタの再設定] を選択します。

c [詳細設定] をクリックします。

d [ポート番号] に、ポート番号を入力します。

e [OK] をクリックします。

プリンターにコメントを追加する

FUJITSU LPR ユーティリティに追加したプリンターを識別するためのコメントを追加できます。

1 FUJITSU LPR ユーティリティを起動します。

2 プリンターを選択します。

3 [リモートプリント] メニューから [プリンタの再設定] を選択します。

4 コメントを入力し、[OK] をクリックします。

5 [オプション] メニューから [コメント欄を表示] を選択します。

4

4. ユーティリティーソフトウェアを削除

IP アドレスを自動的に設定する

プリンターの IP アドレスが変更されても、元のプリンターとの接続を維持するように設定できます。

※メモ

- DHCP によって IP アドレスを動的に割り当てているときや、ネットワーク管理者がプリンターの IP アドレスを手動で変更するときは、IP アドレスが変更される可能性があります。

! 注

- 管理者の権限が必要です。

1 FUJITSU LPR ユーティリティを起動します。

2 [オプション] メニューから [設定] を選択します。

3 [自動的に IP アドレスを再設定する] にチェックをつけ、[OK] をクリックします。

アンインストールする

! 注

- 管理者の権限が必要です。

1 FUJITSU LPR ユーティリティを閉じていることを確認します。

2 次の操作を行います。

■ Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1. [スタート] をクリックし、[FUJITSU] > [FUJITSU LPR ユーティリティ] > [FUJITSU LPR ユーティリティの削除] を選択します。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. スタート画面左下の (C) をクリックします。

2. [FUJITSU] の [FUJITSU LPR ユーティリティ] > [FUJITSU LPR ユーティリティの削除] を選択します。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の [すべてのアプリ] を選択します。

2. [FUJITSU] の [FUJITSU LPR ユーティリティ] > [FUJITSU LPR ユーティリティの削除] を選択します。

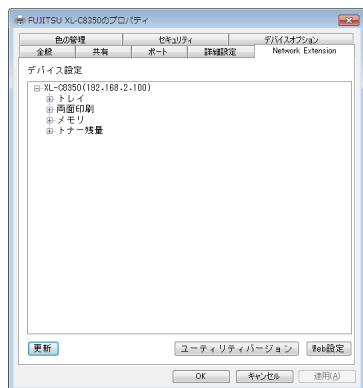
■ Windows 7/Windows Server 2008 の場合

1. [スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] > [FUJITSU] > [FUJITSU LPR ユーティリティ] > [FUJITSU LPR ユーティリティの削除] を選択します。

3 確認画面で [はい] をクリックします。

Network Extension

Network Extension では、プリンターの設定の確認と、オプション構成の設定ができます。



インストールする

メモ

- 「ハードウェアガイド」 – 「ネットワーク接続」 – 「プリンタードライバーのインストール」の手順でプリンタードライバーをインストールした場合、Network Extension はインストールされています。次の手順でインストールする必要はありません。

- 「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」をコンピューターに挿入します。
[FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ] ダイアログが自動的に表示されます。

メモ

- [FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ] ダイアログが自動的に表示されない場合は、エクスプローラーなどを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある [XLSTART.EXE] をダブルクリックしてください。[FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ] ダイアログが表示されます。
- 自動再生時や [XLSTART.EXE] をダブルクリックしたときに、[自動再生] ダイアログが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、[Xstart.exe の実行] をクリックしてください。

- メニューから [Network Extension] をクリックします。



以降は、画面の指示に従ってインストールしてください。

- [インストール完了] ダイアログで [完了] をクリックします。

以上で、Network Extension のインストールは完了です。

Network Extension を使用するには、TCP/IP が有効になっている必要があります。

注

- 管理者の権限が必要です。

メモ

- Network Extension は、TCP/IP ネットワークでプリンタードライバーをインストールすると、自動的にインストールされます。
- Network Extension は、プリンタードライバーと連携して動作します。Network Extension だけをインストールしないでください。
- Network Extension は、プリンタードライバーが FUJITSU LPR ポートまたは標準 TCP/IP ポートに接続されているときにだけ機能します。

起動する

Network Extension を使用するには、プリンターのプロパティ画面を起動します。

■ Windows Server 2016/Windows 10 の場合

- [スタート] をクリックし、[Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
- プリンターアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選択します。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

- 画面左下隅の□を右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
- プリンターアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選択します。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

- スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の [すべてのアプリ] を選択します。
- [Windows システムツール] の [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
- プリンターアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選択します。

■ Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

- 1 [スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。
- 2 プリンターアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選択します。

■ Windows Server 2008 (R2 以外) の場合

- 1 [スタート] をクリックし、[コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [プリンタ] を選択します。
- 2 プリンターアイコンを選択します。
- 3 [ファイル] メニューから [プロパティ] を選択します。

プリンターの設定を確認する

プリンターの設定を確認できます。

※メモ

- サポートされていない環境で Network Extension を使用すると、[オプション] タブが表示されないことがあります。

- 1 プリンターのプロパティ画面を起動します。
- 2 [Network Extension] タブを選択します。
- 3 [更新] をクリックします。
- 4 [OK] をクリックします。

※参考

- [Web 設定] をクリックすると、Web ページ (FUJITSU Printer Internet Service) が自動的に起動します。その Web ページの画面で、プリンターの設定を変更できます。詳しくは、「[Web ページ \(FUJITSU Printer Internet Service\)](#)」(P.65) を参照してください。

オプションの自動設定をする

接続しているプリンターのオプション構成を取得し、プリンタードライバーの自動設定を行うことができます。

※メモ

- サポートされていない環境で、Network Extension を使用しているときは設定できません。

- 1 プリンターのプロパティ画面を起動します。
- 2 [デバイスオプション] タブを選択します。
- 3 [プリンターの情報を取得する] をクリックします。
- 4 [OK] をクリックします。

アンインストールする

- 1 [コントロールパネル] を起動します。

■ Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1. [スタート] をクリックし、[Windows システムツール] > [コントロールパネル] を選択します。
- Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合
1. 画面左下隅の□を右クリックし、[コントロールパネル] を選択します。
- Windows Server 2012 (R2 以外) の場合
1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の [すべてのアプリ] を選択します。
 2. [Windows システムツール] の [コントロールパネル] を選択します。

■ Windows 7/Windows Server 2008 の場合

1. [スタート] をクリックし、[コントロールパネル] を選択します。
- 2 [プログラムのアンインストール] をクリックします。
- 3 [FUJITSU Network Extension] を選択し、[アンインストール] をクリックします。
- 4 画面の指示に従って、アンインストールを完了します。

5. ネットワークに関する設定

この章では、プリンターのネットワーク設定について説明します。

■ ネットワーク設定項目

! お願い

- 本プリンターでは、網掛け部は未サポートです。設定しないでください。

この節では、ネットワーク機能で設定できる項目について説明します。

操作パネルの <設定> ボタンを押し、[プリント情報印刷] > [ネットワーク] > [印刷実行] を選択すると、設定リストを印刷して現在のネットワーク設定値を確認できます。

■ 参照

- ネットワーク設定リストを印刷する方法については、「[プリンター情報を印刷する](#)」(P.37) を参照してください。

ネットワーク設定は、プリンターの Web ページ(FUJITSU Printer Internet Service)から変更できます。メニューについては、以下の表を参照してください。

■ TCP/IP

「●」は工場出荷時の設定値です。

項目	設定値		機能説明
Web ブラウザ			
-	●	ENABLE DISABLE	TCP/IP プロトコルの使用／非使用を設定します。
IP アドレス設定	●	AUTO (自動) MANUAL (手動)	DHCP サーバーへ IP アドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
IP アドレス	●	192.168.100.100	IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	●	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。
ゲートウェイアドレス	●	0.0.0.0	ゲートウェイ (デフォルトルータ) アドレスを設定します。0.0.0.0 はルータなしを意味します。
DNS サーバーアドレス (プライマリ)	●	0.0.0.0	プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。SMTP(E-Mail) プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」を IP アドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
DNS サーバーアドレス (セカンダリ)	●	0.0.0.0	セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。SMTP(E-Mail) プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」を IP アドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
ダイナミック DNS		ENABLE (有効) DISABLE (無効)	IP アドレスなどが、変更されたときに、それらの情報を DNS サーバーに登録し直すか、しないかを設定します。
ドメイン名	●	なし	プリンターが属するドメイン名を設定します。
WINS サーバー (プライマリ)		0.0.0.0	Windows 環境で、ネームサーバー (コンピュータ名から IP アドレスに変換するためのサーバー) を使用している場合に、ネームサーバーの IP アドレスまたはネームサーバー名を設定します。
WINS サーバー (セカンダリ)		0.0.0.0	Windows 環境で、ネームサーバー (コンピュータ名から IP アドレスに変換するためのサーバー) を使用している場合に、ネームサーバーの IP アドレスまたはネームサーバー名を設定します。
スコープ ID		なし	WINS の Scope ID を設定します。1 ~ 223 文字の英数字です。
Windows		ENABLE (有効) DISABLE (無効)	Windows の自動検出機能の使用 / 非使用を設定します。
Macintosh		ENABLE (有効) DISABLE (無効)	Macintosh の自動検出機能の使用 / 非使用を設定します。

項目	設定値	機能説明
Web ブラウザ		
プリンタ名	● 「製品名」+「-」+「MAC アドレス下 6 術」	自動検出機能で、プリンタ名をコンピュータにどのように表示させるかを設定します。
IPv6	● ENABLE (有効) ● DISABLE (無効) (TELNET では 「IPv4 Only」 「IPv4+v6」 「IPv6 Only」となります)	IPv6 の機能の使用 / 非使用を設定します。
WSD Print	● ENABLE (有効) DISABLE (無効)	WSD Print の使用 / 非使用を設定します。
LLTD	● ENABLE (有効) DISABLE (無効)	LLTD の使用 / 非使用を設定します。

■ SNMP

「●」は工場出荷時の設定値です。

項目	設定値	機能説明
Web ブラウザ		
管理者の連絡先	● なし	システム管理者の連絡先を入力します。半角で 255 文字以内です。
プリンタ名	● 「製品名」+「-」+「MAC アドレス下 6 術」	プリンターの名前を入力します。半角で 31 文字以内です。
設置場所	● なし	プリンターの設置場所を入力します。 半角で 255 文字以内です。
プリンタ 管理番号	● なし	お客様がプリンターを管理するための数値を入力することができます。 半角で 32 文字以内です。
使用する SNMP 設定	SNMPv1 SNMPv3 SNMPv3+SNMPv1	使用する SNMP バージョンを設定します。
ユーザ名	root	SNMPv3 におけるユーザ名を設定します。1 ~ 32 文字の英数字です。
認証設定パスフレーズ	なし	SNMPv3 パケット認証に使用する認証キーを生成するためのパスワードを設定します。8 ~ 32 文字の英数字です。
-	なし	SNMPv3 パケット認証に使用される認証キーを HEX コードで設定します。選択されたアルゴリズムによって入力文字数が変動します。 MD5 : 16 オクテット (HEX コード 32 文字) SHA : 20 オクテット (HEX コード 40 文字)
認証設定アルゴリズム	MD5 SHA	SNMPv3 パケット認証で使用するアルゴリズムを設定します。
暗号化設定パスフレーズ	なし	SNMPv3 パケット暗号化に使用するプライバシーキーを生成するためのパスワードを設定します。 英数字 8 ~ 32 文字です。
-	なし	SNMPv3 パケット暗号化に使用されるパスワードを HEX コードで設定します。 DES : 16 オクテット (HEX コード 32 文字)
暗号化設定アルゴリズム	DES	SNMPv3 パケット暗号化で使用するアルゴリズムを設定します。 設定値は “DES” 固定です。
SNMP Read コミュニティの設定	● public	SNMPv1 で使用する、Read Community を設定します。15 文字以内の英数字です。
SNMP Write コミュニティの設定	● public	SNMPv1 で使用する、Write Community を設定します。15 文字以内の英数字です。

■ NetWare

「●」は工場出荷時の設定値です。

項目	設定値	機能説明
Web ブラウザ		
NetWare	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	NetWare の使用 / 非使用を設定します。
通信プロトコル	IPX TCP/IP	NetWare を動作させるプロトコルを IPX か TCP/IP に設定します。
フレームタイプ	AUTO (自動) ETHER- II (ETHERNET- II) 802.2 (IEEE802.2) 803.3 (IEEE802.3) SNAP (SNAP)	NetWare 上でプリンターが接続するフレームタイプを設定します。 この値は通常変更する必要はありません。
プリンタ名	「製品名」+「-」+「イーサネットアドレス英数字下 6 衍」+「-」+「PR」	リモートプリンターを動作させるときの設定項目でプリンタ名を設定します。ファイルサーバーの設定内容と合わせる必要があります。
印刷モード	RPRINTER (リモートプリンタ) PSERVER (プリントサーバ)	動作モードをプリントサーバーモードかリモートプリンターモードにするか設定します。
-	NDS NDS+BIN RPINTER	NetWare の優先動作モードを設定します。

■ プリントサーバー

「●」は工場出荷時の設定値です。

項目	設定値	機能説明
Web ブラウザ		
ツリー	なし	NDS のツリー名を設定します。プリントサーバーを登録したファイルサーバーが属するツリー名を指定してください。31 文字以内の英数字です。
コンテキスト	なし	NDS のコンテキスト名を設定します。プリントサーバーの属するコンテキスト名を指定してください。77 文字以内の英数字です。
プリントサーバ名	「製品名」+「-」+「イーサネットアドレス英数字下 6 衍」+「-」+「PR」	プリントサーバー名を設定します。ファイルサーバーに設定したプリントサーバー名と同じに設定してください。31 文字以内の英数字です。
ファイルサーバのログインパスワード	なし	ファイルサーバーにログインするためのパスワードを設定します。31 文字以内の英数字です。ファイルサーバーにプリンター用のパスワードを設定した場合にはこの項目が必要です。
ジョブポーリング間隔	2 秒 4 秒 255 秒	キューにジョブを見つけに行く時間間隔を設定します。 短くするとすぐに印刷が開始されますがネットワーク回線が混みます。
バインダリモード	チェックあり チェックなし	バインダリモードの使用 / 非使用を設定します。NetWare のバージョンが、6.0/5.0/4.1 のバインダリネットワーク、または 3.12 へ接続するときには「ENABLE」、6.0/5.0/4.1 の NDS で使用するときには「DISABLE」を設定します。
ファイルサーバ名	なし	ファイルサーバーの名前を設定します。最大 8 台のファイルサーバーを指定できます。47 文字以内の英数字です。

■ リモートサーバー

「●」は工場出荷時の設定値です。

項目	設定値	機能説明
Web ブラウザ		
プリントサーバ名	なし	接続するプリントサーバー名を設定します。最大 8 台のプリントサーバーを指定できます。47 文字以内の英数字です。
ジョブタイムアウト	4 秒 10 秒 255 秒	最後の印刷ジョブパケットを受け取ってからポートを解放するまでの時間を設定します。通常は初期設定使用します。この値が小さすぎると印刷が崩れやすくなり、大きすぎると他のプロトコルから印刷がなかなか始まらなくなります。

■ NBT/NetBEUI

「●」は工場出荷時の設定値です。

項目	設定値	機能説明
Web ブラウザ		
NetBEUI	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	NetBEUI の使用 / 非使用を設定します。
NetBIOS over TCP	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	NetBIOSSoverTCP の使用 / 非使用を設定します。
ショートプリンタ名	「製品名」+「イーサネットアドレス英数字下 6 衔」	コンピュータ名を設定します。この名前で NetBIOSSoverTCP / NetBEUI 上で識別されます。Windows であればネットワークコンピュータの中の PrintServer グループに表示されます。15 文字以内の英数字です。
ワークグループ名	PrintServer	ワークグループ名を設定できます。この名称で Windows のネットワークコンピュータ中に表示されます。15 文字以内の英数字です。
コメント	EthernetBoard FastEther9300e	コメントを設定します。Windows のネットワークコンピュータで表示形式を詳細に設定したときにこのコメントが表示されます。48 文字以内の英数字です。
マスターブラウザ	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	マスター ブラウザ機能の使用 / 非使用を設定します。

■ Printer Trap

「●」は工場出荷時の設定値です。

項目	設定値	機能説明
Web ブラウザ		
プリンタ Trap コミュニティ名設定	● public	プリンタ Trap のコミュニティ名を設定します。31 文字以内の英数字です。
Trap 送信許可 #1-5	● ENABLE ● DISABLE	TCP #1-5 でプリンタ Trap を使用するかどうか設定します。
プリンタ再起動 #1-5	● ENABLE ● DISABLE	プリンタが再起動したときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
不正 Trap 受信 #1-5	● ENABLE ● DISABLE	「プリンタ Trap コミュニティ名設定」で指定した以外のコミュニティ名でプリンタにアクセスしたときに Trap を使用するかどうか設定します。
オンライン #1-5	● ENABLE ● DISABLE	プリンタが ON-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
オフライン #1-5	● ENABLE ● DISABLE	プリンタが OFF-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。

項目	設定値		機能説明
Web ブラウザ			
用紙なし #1-5	<input checked="" type="radio"/> ENABLE <input type="radio"/> DISABLE		プリンターが用紙切れ状態になったときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
用紙ジャム #1-5	<input checked="" type="radio"/> ENABLE <input type="radio"/> DISABLE		プリンターに用紙がつまつたときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
カバーオープン #1-5	<input checked="" type="radio"/> ENABLE <input type="radio"/> DISABLE		プリンターのカバーが開かれたときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
プリンタエラー #1-5	<input checked="" type="radio"/> ENABLE <input type="radio"/> DISABLE		プリンターにエラーが発生したときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
アドレス #1-5	<input checked="" type="radio"/> 0.0.0.0		TCP/IP の場合の Trap 送信先アドレスを設定します。設定値は 10 進数「***.***.***.***」形式で入力します。IP アドレスが 0.0.0.0 の場合は、Trap を送信しません。アドレスは 5ヶ所まで指定できます。
IPX Trap 送信許可	<input type="radio"/> ENABLE <input checked="" type="radio"/> DISABLE		IPX でプリンター Trap を使用するかどうか設定します。
IPX オンライン	<input type="radio"/> ENABLE <input checked="" type="radio"/> DISABLE		プリンターが ON-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
IPX オフライン	<input type="radio"/> ENABLE <input checked="" type="radio"/> DISABLE		プリンターが OFF-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
IPX 用紙なし	<input type="radio"/> ENABLE <input checked="" type="radio"/> DISABLE		プリンターが用紙切れ状態になったときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
IPX 用紙ジャム	<input type="radio"/> ENABLE <input checked="" type="radio"/> DISABLE		プリンターに用紙がつまつたときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
IPX カバーオープン	<input type="radio"/> ENABLE <input checked="" type="radio"/> DISABLE		プリンターのカバーが開かれたときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
IPX プリンタエラー	<input type="radio"/> ENABLE <input checked="" type="radio"/> DISABLE		プリンターにエラーが発生したときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
IPX	00000000: 000000000000		IPX の場合の Trap 送信先アドレスを設定します。 設定値は、ネットワークアドレス（8桁）+ ノードアドレス（12桁）で入力します。 「00000000:000000000000」の場合はトラップを発行しません。 アドレスは 1ヶ所のみ指定できます。

■ Email 受信

「●」は工場出荷時の設定値です。

項目	設定値		機能説明
Web ブラウザ			
SMTP 送信	<input checked="" type="radio"/> ENABLE (有効) <input type="radio"/> DISABLE (無効)		SMTP (Email) 送信プロトコルを使用するかどうか設定します。
SMTP サーバ名	<input checked="" type="radio"/> なし		SMTP サーバー名を設定します。ドメイン名または IP アドレスを指定してください。ドメイン名を指定する場合は、DNS(Pri)(sec) の設定が必要です。
SMTP ポート番号	<input checked="" type="radio"/> 25		SMTP のポート番号を設定します。通常は初期設定でご使用ください。
プリンタ Email アドレス	<input checked="" type="radio"/> なし		プリンターの E メールアドレスを設定します。
返信先 Email アドレス	<input checked="" type="radio"/> なし		返信用のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを指定してください。

項目	設定値		機能説明
Web ブラウザ			
Email アドレス 1-5	● なし	送信先のアドレスを設定します。アドレスは 5ヶ所まで指定できます。	
障害通知方法	● EVENT (障害発生時の通知) PERIOD (定期的な通知)	障害を通知する方法を設定します。	
メール通知間隔	1 ～ ● 24	通知間隔を設定します。定期的な通知を選択した場合のみ有効です。	
消耗品警告	● DISABLE (無効) ● Immediate (即時) ～ 48H 45M ENABLE (有効)	プリンターの消耗品（トナーカートリッジ、イメージドラム（ドラムカートリッジ）など）に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。	
消耗品警告	● ENABLE (有効) DISABLE (無効)	プリンターの消耗品（トナーカートリッジ、イメージドラム（ドラムカートリッジ）など）に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。	
消耗品エラー	● DISABLE (無効) ● Immediate (即時) ～ 48H 45M ENABLE (有効)	プリンターの消耗品（トナーカートリッジ、イメージドラム（ドラムカートリッジ）など）に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。	
消耗品エラー	● ENABLE (有効) DISABLE (無効)	プリンターの消耗品（トナーカートリッジ、イメージドラム（ドラムカートリッジ）など）に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。	
メンテナンスユニット警告	● DISABLE (無効) ● Immediate (即時) ～ ● 2H 0M ～ 48H 45M ENABLE (有効)	メンテナンスユニット（定着器ユニット、ベルトユニットなど）に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。	
メンテナンスユニット警告	● ENABLE (有効) DISABLE (無効)	メンテナンスユニット（定着器ユニット、ベルトユニットなど）に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。	
メンテナンスユニット エラー	● DISABLE (無効) ● Immediate (即時) ～ 48H 45M ENABLE (有効)	メンテナンスユニット（定着器ユニット、ベルトユニットなど）に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。	
メンテナンスユニット エラー	● ENABLE (有効) DISABLE (無効)	メンテナンスユニット（定着器ユニット、ベルトユニットなど）に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。	

項目	設定値	機能説明
Web ブラウザ		
用紙の補充警告	● DISABLE (無効) Immediate (即時) ～ ● OH 15M ～ 48H 45M ENABLE (有効)	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
用紙の補充警告	● ENABLE (有効) DISABLE (無効)	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
用紙の補充エラー	● DISABLE (無効) Immediate (即時) ～ 48H 45M ENABLE (有効)	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
用紙の補充エラー	● ENABLE (有効) DISABLE (無効)	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
印刷中の用紙警告	● DISABLE (無効) Immediate (即時) ～ 48H 45M ENABLE (有効)	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
印刷中の用紙警告	● ENABLE (有効) ● DISABLE (無効)	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
印刷中の用紙エラー	● DISABLE (無効) Immediate (即時) ～ ● 2H 0M ～ 48H 45M ENABLE (有効)	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
印刷中の用紙エラー	● ENABLE (有効) DISABLE (無効)	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
ストレージデバイス	● DISABLE (無効) Immediate (即時) ～ 48H 45M ENABLE (有効)	ストレージデバイスに関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
ストレージデバイス	● ENABLE (有効) DISABLE (無効)	ストレージデバイスに関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
印刷の結果警告	● DISABLE (無効) Immediate (即時) ～ 48H 45M ENABLE (有効)	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
印刷の結果警告	● ENABLE (有効) DISABLE (無効)	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

項目	設定値	機能説明
Web ブラウザ		
印刷中の用紙エラー	● DISABLE (無効) Immediate (即時) ～ ● 2H 0M ～ 48H 45M ENABLE (有効)	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
印刷中の用紙エラー	● ENABLE (有効) DISABLE (無効)	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
インターフェースの異常警告	● DISABLE (無効) Immediate (即時) ～ 48H 45M ENABLE (有効)	インターフェース（ネットワークなど）に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
インターフェースの異常警告	● ENABLE (有効) ● DISABLE (無効)	インターフェース（ネットワークなど）に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
インターフェースの異常エラー	● DISABLE (無効) Immediate (即時) ～ ● 2H 0M ～ 48H 45M ENABLE (有効)	インターフェース（ネットワークなど）に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
インターフェースの異常エラー	● ENABLE (有効) DISABLE (無効)	インターフェース（ネットワークなど）に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
セキュリティ	DISABLE (無効) Immediate (即時) ～ 2H 0M ～ 48H 45M ENABLE (有効)	セキュリティー機能の中で発生した警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
セキュリティ	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	セキュリティー機能の中で発生した警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
その他	● DISABLE (無効) Immediate (即時) ～ ● 2H 0M ～ 48H 45M ENABLE (有効)	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
その他	● ENABLE (有効) DISABLE (無効)	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
付加情報設定プリンタモデル	● ENABLE (有効) DISABLE (無効)	送信メールに記載するプリンター情報に、プリンターモデル名を含めるかどうかを設定します。

項目	設定値		機能説明
Web ブラウザ			
付加情報設定ネットワークインターフェース	● ENABLE (有効) ● DISABLE (無効)	送信メールに記載するプリンター情報に、ネットワークインターフェース名を含めるかどうかを設定します。	
付加情報設定プリンタシリアル番号	● ENABLE (有効) ● DISABLE (無効)	送信メールに記載するプリンター情報に、プリンターのシリアルナンバーを含めるかどうかを設定します。	
付加情報設定プリンタ管理番号	● ENABLE (有効) ● DISABLE (無効)	送信メールに記載するプリンター情報に、プリンターの管理番号を含めるかどうかを設定します。	
付加情報設定プリンタ名	● ENABLE (有効) ● DISABLE (無効)	送信メールに記載するプリンター情報に、SystemName を含めるかどうかを設定します。	
付加情報設定設置場所	● ENABLE (有効) ● DISABLE (無効)	送信メールに記載するプリンター情報に、SystemLocation を含めるかどうかを設定します。	
付加情報設定 IP アドレス	● ENABLE (有効) ● DISABLE (無効)	送信メールに記載するプリンター情報に、IP アドレスを含めるかどうかを設定します。	
付加情報設定 MAC アドレス	● ENABLE (有効) ● DISABLE (無効)	送信メールに記載するプリンター情報に、MAC アドレスを含めるかどうかを設定します。	
付加情報設定ショートプリンタ名	● ENABLE (有効) ● DISABLE (無効)	送信メールに記載するプリンター情報に、プリンターのショートプリンタ名を含めるかどうかを設定します。	
付加情報設定プリンタ URL	● ENABLE (有効) ● DISABLE (無効)	送信メールに記載するプリンター情報に、プリンターの URL を含めるかどうかを設定します。	
コメント	● なし	送信メールの文末に付加するコメントを設定します。4 行設定できます。1 行は 63 文字まで入力でき、それを超える場合は自動的に改行します。	
SMTP 認証設定	● ENABLE (有効) ● DISABLE (無効)	SMTP 認証をするかどうかを設定します。	
ユーザ ID	● なし	SMTP 認証のユーザ ID を設定します。	
パスワード	● なし	SMTP 認証のパスワードを設定します。	

■ Maintenance

「●」は工場出荷時の設定値です。

項目	設定値		機能説明
Web ブラウザ			
ネットワークの規模の設定	● NORMAL (普通) ● SMALL (小規模)	Normal (普通) : 通常この設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つハブに接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピューターが 2、3 台の小さな LAN に接続するとプリンターが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 SMALL (小規模) : コンピューターが 2、3 台の小さな LAN から大型の LAN まで対応しますが、スパニングツリー機能を持つハブに接続した場合に効率よく動作できない場合があります。	
HEX ダンプ	● NO ● YES	このモードに設定すると、受信した印刷データをすべて 16 進数で表示します。プリンターを再起動すると本モードを抜けます。	
HUB との接続の設定	● AUTO ● NEGOTIATION ● 100BASE-TX FULL ● 100BASE-TX HALF ● 10BASE-T FULL ● 10BASE-T HALF	ハブとの通信速度と通信方法を設定することができます。通常は、AUTO NEGOTIATION を設定します。	

項目	設定値		機能説明
Web ブラウザ			
TCP 応答	<input checked="" type="radio"/> タイプ 1 <input type="radio"/> タイプ 2		TCP 応答のタイプを設定します。 タイプ 1 の場合は、パケットごとに応答します。 タイプ 2 の場合は、複数のパケットにまとめて応答します。 ハブの設定により、印刷に時間がかかるようになった場合、タイプ 2 を選択すると改善する可能性があります。 通常はタイプ 1 で問題ありません。

■ Security

「●」は工場出荷時の設定値です。

項目	設定値		機能説明
Web ブラウザ			
Web (ポート番号 : 80)	<input checked="" type="radio"/> ENABLE (有効) <input type="radio"/> DISABLE (無効)		プリンターに対して WEB ブラウザでのアクセスの使用 / 非使用を設定します。
Web	<input checked="" type="radio"/> 1 ~ <input checked="" type="radio"/> 80 ~ 65535		プリンターの Web ページにアクセスするためのポート番号を設定します。
IPP (ポート番号 : 631)	<input checked="" type="radio"/> ENABLE (有効) <input type="radio"/> DISABLE (無効)		IPP プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
SNMP	<input checked="" type="radio"/> ENABLE (有効) <input type="radio"/> DISABLE (無効)		プリンターに対して SNMP でのアクセスの使用 / 非使用を設定します。 通常は ENABLE (使用する) でお使いください。
-	<input checked="" type="radio"/> ENABLE (有効) <input type="radio"/> DISABLE (無効)		SMTP 送信の使用 / 非使用を設定します。
SMTP	<input checked="" type="radio"/> 1 ~ <input checked="" type="radio"/> 25 ~ 65535		SMTP プロトコルのポート番号を設定します。
SNTP	<input checked="" type="radio"/> ENABLE (有効) <input type="radio"/> DISABLE (無効)		SNTP プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
Local Ports	<input checked="" type="radio"/> ENABLE (有効) <input type="radio"/> DISABLE (無効)		独自プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
-	<input checked="" type="radio"/> ENABLE (有効) <input type="radio"/> DISABLE (無効)		TCP/IP プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
NetBEUI	<input checked="" type="radio"/> ENABLE (有効) <input type="radio"/> DISABLE (無効)		NetBEUI プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
NetBIOS over TCP	<input checked="" type="radio"/> ENABLE (有効) <input type="radio"/> DISABLE (無効)		NetBIOS over TCP プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
NetWare	<input checked="" type="radio"/> ENABLE (有効) <input type="radio"/> DISABLE (無効)		NetWare プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
ネットワークパスワード 設定	<input checked="" type="radio"/> FujitsuPrinter		Web ページ (FUJITSU Printer Internet Service) の管理者パスワードを変更します。 15 文字以内の半角英数字です。 大文字、小文字は区別されます。忘れてしまうと設定を変更できなくなります。

■ IP Filtering

「●」は工場出荷時の設定値です。

項目 Web ブラウザ	設定値	機能説明
IP フィルタリング	● ENABLE (有効) DISABLE (無効)	IP アドレスごとのアクセスを制限する機能の使用 / 非使用を設定します。ただし、この機能は IP アドレスについて充分な知識を必要とします。通常は必ず DISABLE (使用しない) になるように設定しておいてください。 ENABLE (使用する) に設定し、以下の設定をしないと TCP/IP によるアクセスが一切できなくなってしまいます。
開始アドレス #1-10	● 0.0.0.0	プリンターへアクセスを許可する IP アドレスを指定します。 単一の IP アドレスを指定することもできますが、範囲で指定することもできます。アドレスの範囲（「開始アドレス」と「終了アドレス」）を設定してください。0.0.0.0 を入力すると無効になります。
終了アドレス #1-10	● 0.0.0.0	
印刷 #1-10	● ENABLE DISABLE	IP Address Range #1-10 で設定した IP アドレスからの印刷を許可します。
設定 #1-10	● ENABLE DISABLE	IP Address Range #1-10 で設定した IP アドレスからの設定変更を許可します。
設定される管理者の IP アドレス	● 0.0.0.0	管理者の IP アドレスを指定します。 このアドレスだけは、必ずプリンターにアクセスできます。 ただし、管理者がプロキシ経由でプリンターにアクセスするように設定している場合には、プロキシのアドレスが設定されてしまいます。プロキシのアドレスが設定されるとプロキシ経由でアクセスする人はすべて許可となります。 管理者はプリンターに対してプロキシを経由しないでアクセスすることが理想です。

■ MAC Address Filtering

「●」は工場出荷時の設定値です。

項目 Web ブラウザ	設定値	機能説明
MAC アドレスフィルタリング	● ENABLE (有効) DISABLE (無効)	MAC アドレスごとのアクセスを制御する機能の使用 / 非使用を設定します。ただし、この機能は MAC アドレスについて充分な知識を必要とします。通常は必ず DISABLE (使用しない) になるように設定しておいてください。ENABLE (使用する) に設定し、以下の設定をしないとネットワークによるアクセスが一切できなくなってしまいます。
MAC アドレスからの通信	● ACCEPT (許可) DENY (拒否)	MAC Address Access #1-50 で設定した MAC アドレスからのアクセスを許可するか拒否するかを設定します。
フィルタする MAC アドレス #1-50	● 00:00:00: 00:00:00	プリンターへアクセスを許可（拒否）する MAC アドレスを指定します。00:00:00:00:00:00 を入力すると無効になります。
設定される管理者の MAC アドレス	● 00:00:00: 00:00:00	管理者の MAC アドレスを指定します。 このアドレスだけは、必ずプリンターにアクセスできます。ただし、管理者がプロキシ経由でプリンターにアクセスするように設定している場合には、プロキシのアドレスが設定されてしまいます。プロキシのアドレスが設定されているとプロキシ経由でアクセスする人はすべて許可となります。 管理者はプリンターに対してプロキシを経由しないでアクセスすることが理想です。

■ SSL/TLS

「●」は工場出荷時の設定値です。

項目	設定値	機能説明
Web ブラウザ		
SSL/TLS	<input checked="" type="radio"/> ON (オン) <input type="radio"/> OFF (オフ)	SSL/TLS の使用 / 非使用を設定します。
暗号化強度	<input checked="" type="radio"/> Weak (弱) <input type="radio"/> Standard (標準) <input type="radio"/> Strong (強)	暗号化の強度を設定します。
使用する証明書の作成	<input checked="" type="radio"/> 自身で署名した証明書 を使用する (自己署名証明書) 認証局が発行した証明 書を使用する (認証局証明書)	自己署名証明書を作成します。また、認証局へ送付する CSR の作成と認証局が発行する証明書のインストールをします。
Common Name	<input checked="" type="radio"/> (プリンタ自身の IP ア ドレス)	自己署名証明書作成時には装置の IP アドレス (固定) となります。
Organization	<input checked="" type="radio"/> なし	組織名：所属する組織の正式名称を指定します。入力可能文字数は 64 文字。
Organization Unit	<input checked="" type="radio"/> なし	組織単位：属する部門や課、その他組織内のサブグループを指定します。入力可能文字数は 64 文字。
Locality	<input checked="" type="radio"/> なし	都市名：組織がある都市名や地名を指定します。入力可能文字数は 128 文字。
State/Province	<input checked="" type="radio"/> なし	州 / 県：組織がある州や県を指定します。入力可能文字数は 128 文字。
Country/Region	<input checked="" type="radio"/> なし	国コード：2 文字の ISO 国 / 地域コードを入力します。(JP (日本)、US (アメリカ合衆国) 等) 入力可能文字数は 2 文字
鍵タイプ	<input checked="" type="radio"/> RSA	暗号通信に使用する鍵の方式を設定します。
鍵サイズ	<input checked="" type="radio"/> 2048 bit <input type="radio"/> 1024 bit <input type="radio"/> 512 bit	暗号通信に使用する鍵のサイズを設定します。

■ SNTP

「●」は工場出荷時の設定値です。

項目	設定値	機能説明
Web ブラウザ		
SNTP	<input checked="" type="radio"/> ENABLE (有効) <input type="radio"/> DISABLE (無効)	SNTP プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
NTP サーバ (プライマリ)	<input checked="" type="radio"/> なし	時間取得をする NTP サーバー(プライマリ)の IP アドレスを設定します。
NTP サーバ (セカンダリ)	<input checked="" type="radio"/> なし	時間取得をする NTP サーバー(セカンダリ)の IP アドレスを設定します。
調整間隔	<input checked="" type="radio"/> 1 hour (時間) 12 hours (時間) 24 hours (時間)	NTP サーバー (プライマリ) または、NTP サーバー (セカンダリ) に時間取得に行くインターバルを設定します。
タイムゾーン	<input checked="" type="radio"/> 00:00	GMT との時間差を設定します。
夏時間	<input checked="" type="radio"/> ON (オン) <input type="radio"/> OFF (オフ)	サマータイムの設定をします。

■ Job List

「●」は工場出荷時の設定値です。

項目	設定値	機能説明
Web ブラウザ		
ジョブキュー表示項目 設定	<ul style="list-style-type: none"> ● ドキュメント名 ● ジョブ状態 ● ジョブ種類 ● コンピュータ名 ● ユーザ名 印刷済み面数 送信時間 送信ポート 	現在プリンターの印刷待ちになっているジョブ（印刷データ）の一覧に表示する項目を選択します。 選択しない場合には、初期値の項目で一覧が表示されます。

■ IEEE802.1X

「●」は工場出荷時の設定値です。

項目	設定値	機能説明
Web ブラウザ		
IEEE802.1X	<ul style="list-style-type: none"> ● ENABLE（有効） ● DISABLE（無効） 	IEEE802.1X 機能の使用 / 非使用を設定します。
EAP タイプ	<ul style="list-style-type: none"> ● EAP-TLS ● PEAP 	EAP 方式を選択します。
EAP ユーザ	なし	EAP で使用するユーザ名を指定します。EAP-TLS/PEAP 選択時に有効です。64 文字以内の英数字です。
EAP パスワード	なし	EAP User に対応したパスワードを指定します。PEAP 選択時のみ有効です。64 文字以内の英数字です。
SSL/TLS の証明書を EAP 認証に使用する	<ul style="list-style-type: none"> ● ENABLE（有効） ● DISABLE（無効） 	SSL/TLS 用の証明書を IEEE802.1X 認証に使用するかどうかを選択します。SSL/TLS 用証明書がインストールされていない場合は "ENABLE（有効）" は選択できません。EAP-TLS 選択時のみ有効です。
サーバを認証する	<ul style="list-style-type: none"> ● ENABLE（有効） ● DISABLE（無効） 	RADIUS サーバーから送られてきた証明書を、CA 証明書を使って認証するか否かを選択します。
-	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 ● ~ ● 3 ● ~ ● 9 	IEEE802.1X 認証動作のリトライ回数を設定します。1 – 9 回までの範囲で設定できます。通常は変更せずに使いください。
-	<ul style="list-style-type: none"> ● 10 ● ~ ● 60 	IEEE802.1X 認証中にサーバレスポンスを待つためのタイムアウト値を設定します。10 – 60 秒の範囲で設定できます。通常は変更せずに使いください。

■ IPSec

「●」は工場出荷時の設定値です。

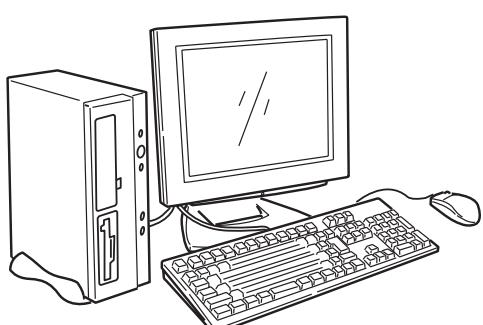
項目	設定値	機能説明
Web ブラウザ		
IPSec	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	IPSec の使用 / 非使用を設定します。
IP アドレス 1 ~ 50	0.0.0.0	IPSec で通信を許可するホストを設定します。 * IPv4 アドレスは、"." で区切られた半角の数字を使用してください。 * IPv6 グローバルアドレスは、 ":" で区切られた半角の英数字を使用してください。 * IPv6 リンクローカルアドレスはサポートしていません。
IKE 暗号化アルゴリズム	3DES-CBC DES-CBC	IKE の暗号化方式を設定します。
IKE ハッシュアルゴリズム	SHA-1 MD5	IKE のハッシュ方式を設定します。
Diffie-Hellman グループ	Group1 Group2	Phase1 Proposal で使用される Diffie-Hellman グループを設定します。
ライフタイム	600 86400 28800	ISAKMP SA のライフタイムを設定します。 通常は初期設定でご使用ください。
事前共有キー	なし	事前共有キーを設定します。
Key PFS	KEYPFS NOPFS	Key PFS (Perfect Forward Secrecy) の使用 / 非使用を設定します。
Key PFS 有効時の Diffie-Hellman グループ	Group2 Group1 None	Key PFS を使用する場合に、使用される Diffie-Hellman グループを設定します。
ESP	有効 無効	ESP (Encapsulating Security Payload) の使用 / 非使用を設定します。
ESP 暗号化アルゴリズム	3DES-CBC DES-CBC	ESP で使用する暗号化アルゴリズムを設定します。
ESP 認証アルゴリズム	SHA-1 MD5 OFF	ESP で使用する認証アルゴリズムを設定します。
AH	有効 無効	AH (Authentication Header) の使用 / 非使用を設定します。
AH 認証アルゴリズム	SHA-1 MD5	AH で使用する認証アルゴリズムを設定します。
ライフタイム	600 3600 86400	IPSec SA のライフタイムを設定します。 通常は初期設定でご使用ください。

■ IP アドレスの設定

■ IP アドレスとは…

TCP/IP プロトコルを使用してネットワーク接続する場合、コンピューターとプリンターに IP アドレスを設定する必要があります。IP アドレスはネットワーク上に接続されたコンピューターやプリンターの住所のようなものです。正しく設定しないと必要な情報を届ける住所がわからず、通信ができなくなります。

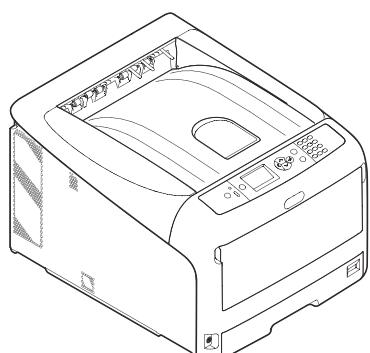
(例)



コンピューター

IP アドレス	:192. 168. 0.	3
	↓	↓
	ネットワークアドレス	ホスト ID

サブネットマスク :255. 255. 255. 0
ゲートウェイ :192. 168. 0. 1



プリンター

IP アドレス	:192. 168. 0.	2
	↓	↓
	ネットワークアドレス	ホスト ID

サブネットマスク :255. 255. 255. 0
ゲートウェイ :192. 168. 0. 1

IP アドレスはどんな値でも使えるわけではなく、決まりがあります。3 桁の数字が 4 つに区切られた形で設定します。

例でいうと「192.168.0」までをネットワークアドレスといい、残りの「3」や「2」をホスト ID といいます。標準的なネットワークの場合、コンピューターとプリンターのネットワークアドレスが同じでないと通信できません。ホスト ID は、どの機器とも重複しないような値で、1 ~ 254 の間で設定します。

また、IP アドレス以外に、サブネットマスク、ゲートウェイの設定も必要です。基本的にサブネットマスクは「255.255.255.0」を設定します。ゲートウェイは、接続しているルーターの IP アドレスを指定します。通常、サブネットマスクとゲートウェイはコンピューターとプリンターで同じ値に設定します。

■コンピューターのIPアドレス

お手元のコンピューターに設定されている IP アドレスを確認しましょう。

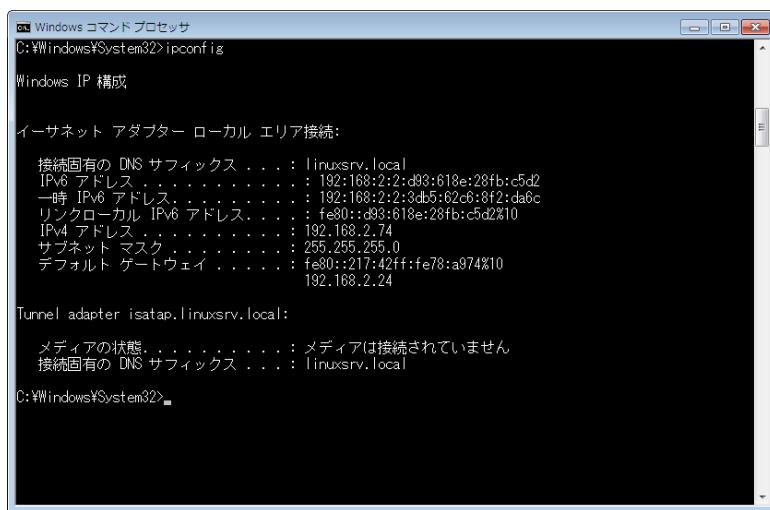
コンピューターの IP アドレスは、接続しているネットワーク環境によって異なります。

インターネットをご利用の場合、接続しているプロバイダやルーターメーカーから指定された値に設定されています。何の値が設定されているかや DHCP などのサーバーがあるかどうかは、プロバイダやルーターメーカーに確認してください。社内などでネットワーク管理者がいる場合は、管理者に確認してください。

多くの場合、コンピューターは初期設定で「IP アドレスを自動取得する」設定になっています。一般的家庭用ルーター（ADSL ルーターや ISDN ルーター）には DHCP サーバーが標準で搭載されている場合が多く、お手元のコンピューターに何も設定しなくても、ルーターに接続し、コンピューターの電源を入れただけで、サーバーより自動的に IP アドレスを取得します。

お手元のコンピューターの取得している IP アドレスがわからない場合は、下記手順で確認してください。手順はシステム環境のバージョンにより異なりますので、詳細は各システム環境のマニュアルをご覧ください。

- 1 Windows を起動します。
 - 2 コマンドプロンプト (MS-DOS プロンプト) を選択します。
[スタート] > [すべてのプログラム] > [アクセサリ] > [コマンドプロンプト] を選択します (Windows 7 の場合)。
 - 3 キーボードから [ipconfig] と入力し、[Enter] キーを押します。



プリンターの IP アドレスを確認する

現在、プリンターにどんな IP アドレスが設定されているか確認しましょう。

プリンターに設定されている IP アドレスは、ネットワークの設定情報 (Network Information) に表示されています。ネットワークの設定情報 (Network Information) を印刷し、IP アドレスを確認してください。

プリンターの IP アドレスを設定する

ネットワークの環境に応じて、プリンターに IP アドレスを設定しましょう。

(1) 初期設定のまま使用する

- ネットワーク上に DHCP サーバなどがある場合

プリンターは初期設定で「IP ADDRESS SET」が「AUTO」に設定されています。

ネットワーク上に DHCP サーバなどがある場合は、ネットワークに接続し、プリンターの電源を入れただけで、サーバーより自動的に IP アドレスを取得します。

現在のコンピューターとプリンターの設定が下記のようになっていれば、そのままお使いになれます。プリンターの IP アドレスを設定したり変更をする必要はありません。

- IP アドレスのネットワークアドレスが、コンピューターとプリンターで同じ値になっていること。
- IP アドレスのホスト ID が、コンピューターとプリンターで違う値になっていること。
- サブネットマスクとゲートウェイが、コンピューターとプリンターで同じ値になっていること。

- ネットワーク上に DHCP サーバなどがない、接続しているコンピューターがすべて Windows の場合

プリンターは初期設定で「IP ADDRESS SET」が「AUTO」に設定されています。

「Auto」に設定されている場合、「サーバーを使用しないアドレス解決」機能を使うことができます。そのため、ネットワーク上に DHCP サーバなどがなくても、Windows と通信して自動的に IP アドレスを設定します。

現在のコンピューターとプリンターの設定が下記のようになっていれば、そのままお使いになれます。プリンターの IP アドレスを設定したり変更をする必要はありません。

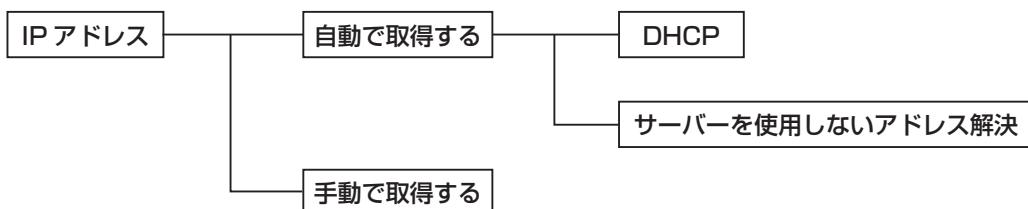
- IP アドレスのネットワークアドレスが、コンピューターとプリンターで同じ値になっていること。
- IP アドレスのホスト ID が、コンピューターとプリンターで違う値になっていること。
- サブネットマスクとゲートウェイが、コンピューターとプリンターで同じ値になっていること。

(2) IP アドレスを手動で設定する

- ネットワーク上に DHCP サーバなどがない、接続しているコンピューターのシステム環境が異なっている、または社内ネットワーク管理者により決められた IP アドレスを指定されたなど、(1) に当てはまらない場合プリンターに決められた IP アドレスを手動で設定してください。IP アドレスは、プリンターの操作パネルなどで設定できます。

IP アドレス設定のしくみ（参考）

IP アドレスを設定する機能は次のような構成になっています。



■ Web ページ (FUJITSU Printer Internet Service) からネットワーク設定を変更する

この節では、プリンターの Web ページからネットワーク設定を変更する方法について説明します。

プリンターの Web ページにアクセスするには、ご使用のコンピューターが次の条件を満たしている必要があります。

- TCP/IP が有効になっている。
- Microsoft Internet Explorer 6.0 以降がインストールされている。

メモ

- Web ブラウザーのセキュリティ設定が中レベルに設定されていることを確認してください。
- 管理者としてログインするには、ユーザー名と管理者パスワードが必要です。ユーザー名は「xladmin」で、工場出荷時のパスワードは「FujitsuPrinter」です。

備考

- 次の設定のいくつかは、ほかのユーティリティーでも実行できます。詳しくは、「ネットワーク設定項目」(P.73) を参照してください。

5

5. ネットワークに関する設定

消耗品寿命やエラーをメールでエラー通知する (E メールアラート)

エラーが発生したときにエラー通知メールを送信するようにプリンターを設定できます。通知のタイミングを次のように設定できます。

- 定期的
- エラー発生時のみ

プリンターの設定をする

Web ページを使用して、E メールアラートの設定を行うことができます。

メモ

- [SMTP サーバー] でドメイン名を指定する場合は、[TCP/IP] 設定において DNS サーバーを設定してください。
- プリンターがメールを送信できるように、メールサーバーを設定する必要があります。メールサーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- Internet Explorer 7 をお使いの場合は、テストメールを送信する前に下記の設定を行ってください。ブラウザーの [ツール] > [インターネットオプション] を選択し、[セキュリティ] タブで [レベルのカスタマイズ] をクリックします。[スクript 化されたウィンドウを使って情報の入力を求めるごとに Web サイトに許可する] で [有効にする] を選択してください。

- 1 プリンターの Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。
- 2 [管理者設定] を選択します。
- 3 [ネットワーク設定] > [Email] > [送信設定]
- 4 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。
- 5 [SMTP プロトコルのさらに詳細な設定を行うことができます。] を選択します。
- 6 必要に応じて、[セキュリティ設定]、[付加情報設定]、および [その他] を設定できます。

7 [送信] をクリックします。

ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。

定期的な通知

- 1 プリンターの Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。
- 2 [管理者設定] を選択します。
- 3 [ネットワーク設定] > [Email] > [アラート設定] を選択します。
- 4 通知を受信する E メールアドレスを入力します。
- 5 指定したアドレスの [設定] をクリックします。通知条件を別のアドレスに適用したい場合は、[コピー] をクリックします。
- 6 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。
- 7 [OK] をクリックします。
- 8 [現在の設定一覧参照] をクリックして現在の設定を確認し [X] をクリックしてウィンドウを閉じます。
メインウィンドウで、最大 2 つのアドレスの現在の設定を確認することもできます。確認したいアドレスをリストボックスから選択します。
- 9 [送信] をクリックします。ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。

メモ

- 通知対象のエラーが発生しなかった場合、通知メールは送信されません。

障害発生時の通知

1 「定期的な通知」の手順 1 ~ 6 を実行します。

通知を必要とするエラーや警告にチェックをつけると、エラーの発生と通知の送信の時間差を指定するウィンドウが表示されます。

2 エラー通知送信の時間を指定し、[OK] をクリックします。

長い時間を指定すると、エラーが発生し続けているもののみ通知されます。

3 [OK] をクリックします。

4 [現在の設定一覧参照] をクリックして現在の設定を確認し [X] をクリックしてウィンドウを閉じます。

メインウィンドウで、最大 2 つのアドレスの現在の設定を確認することもできます。確認したいアドレスをリストボックスから選択します。

5 [送信] をクリックします。

ネットワークカードが再起動して、新しい設定を有効になります。

IP アドレスを使用してアクセスを制御する (IP フィルタリング)

IP アドレスを使用して、プリンターへのアクセスを制御することができます。指定された IP アドレスからの設定または印刷を許可するかどうかを設定できます。工場出荷時の設定では、IP フィルタリングは無効になっています。

! 注

- 必ず正しい IP アドレスを指定してください。誤った IP アドレスを指定すると、IP プロトコルを使ってプリンターにアクセスできなくなります。
- IP フィルタリングを有効にすると、この設定で指定されていないホストへのアクセスは拒否されます。

△メモ

- IP フィルタリングには、IPv4 のみ使用できます。

1 プリンターの Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。

2 [管理者設定] を選択します。

3 [ネットワーク設定] > [セキュリティ] > [IP フィルタリング] を選択します。

4 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。

! 注

- [登録する管理者の IP アドレス] に何も登録されていない場合、指定されている IP アドレス範囲によってはプリンターにアクセスできなくなることがあります。
- プロキシサーバーを使用している場合は、[あなたのホストの IP アドレス] と使用中のホストの IP アドレスが一致しないことがあります。

5 [送信] をクリックします。

ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。

5

5. ネットワークに関する設定

MAC アドレスを使用してアクセスを制御する (MAC アドレスフィルタリング)

MAC アドレスを使用して、プリンターへのアクセスを制限することができます。指定された MAC アドレスからのアクセスを許可したり、拒否したりすることができます。

! 注

- 必ず正しい MAC アドレスを指定してください。誤った MAC アドレスを指定すると、ネットワークからプリンターにアクセスできなくなります。

△メモ

- 各アドレスに対して個別に、許可または拒否を指定することはできません。

- 1 プリンターの Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。
- 2 [管理者設定] を選択します。
- 3 [ネットワーク設定] > [セキュリティ] > [MAC アドレスフィルタリング] を選択します。
- 4 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。

! 注

- [登録する管理者の MAC アドレス] に何も登録されていない場合、指定されている MAC アドレスによってはプリンターにアクセスできなくなることがあります。
- プロキシサーバーを使用している場合は、[あなたのホストの MAC アドレス] と使用中のホストの MAC アドレスが一致しないことがあります。

- 5 [送信] をクリックします。

ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。

SSL/TLS で通信を暗号化する

コンピューターとプリンターとの間の通信を暗号化することができます。以下の場合に、通信が SSL/TLS で暗号化されます。

- プリンターの設定を Web ページから変更
- IPP 印刷

証明書を作成する

Web ページで証明書を作成することができます。以下の 2 つの証明書を使用できます。

- 自己署名証明書
- 認証局発行証明書

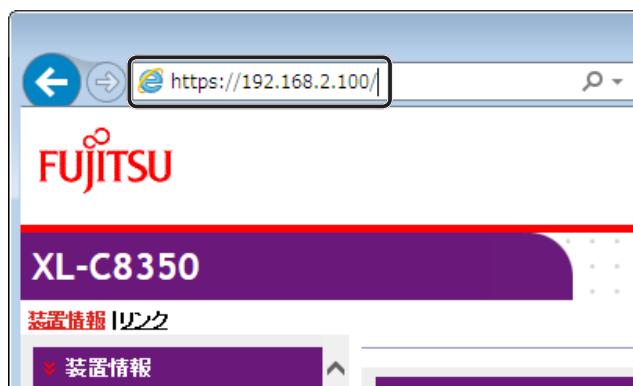
! 注

- 証明書の作成後にプリンターの IP アドレスを変更すると、証明書は無効になります。証明書の作成後にプリンターの IP アドレスを変更しないでください。

- 1 プリンターの Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。
- 2 [管理者設定] を選択します。
- 3 [ネットワーク設定] > [セキュリティ] > [暗号化 (SSL/TLS)] を選択します。
- 4 [SSL/TLS] を [有効] にします。
- 5 [CommonName]、[Organization] などの項目を入力します。
- 6 [送信] をクリックします。
入力内容が表示されます。
- 7 入力内容を確認し、[OK] をクリックします。
自己署名証明書の場合は、証明書の作成は終了です。画面の指示に従って Web ページを閉じます。
認証局により発行される証明書を取得する場合は、手順 8 に進みます。
- 8 画面の指示に従って、CSR を認証局に送信します。
- 9 画面の指示に従って、認証局からの証明書をインストールします。
発行された証明書の「---- BEGIN CERTIFICATE ----」から「---- END CERTIFICATE ----」までをテキストボックスへ貼り付けます。
- 10 [送信] をクリックします。
以上で認証局証明書の作成は終了です。

Web ページを開く

- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 アドレスバーに「https:// プリンターの IP アドレス」を入力し、<Enter> ボタンを押します。



IPP 印刷

IPP 印刷により、印刷ジョブのデータをインターネット経由でプリンターに送信することができます。

! 注

- 他のコンピューターからの印刷の影響で、IPP 印刷が一定時間待たされた場合に、Windows OS 側で IPP 通信を強制的に打ち切ってしまうため、途中までしか印刷されない現象が発生する場合があります。そういう場合は IPP 以外の印刷方法で印刷してください。

IPP 印刷を有効にする

IPP 印刷は、工場出荷時の設定では無効になっています。IPP 印刷を実行する場合は、先に IPP を有効にしてください。

- 1 プリンターの Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。
- 2 [管理者設定] を選択します。
- 3 [ネットワーク設定] > [IPP] を選択します。
- 4 [有効] を選択します。
- 5 [送信] をクリックします。

プリンターを IPP プリンターとしてセットアップする

プリンターを IPP プリンターとしてコンピューターに追加します。

! 注

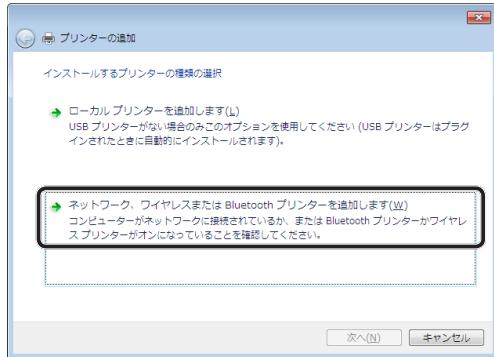
- Windows Server 2008 R2 では、プリンターの追加ウィザードから [ネットワークプリンタを追加します] で共有プリンターの URL を指定して印刷を行う IPP 印刷を使用することはできません。

- 1 プリンターの電源を入れます。
- 2 管理者としてログインします。
- 3 次の手順で [プリンターの追加] ダイアログを表示します。
 - Windows Server 2016/Windows 10 の場合
 1. [スタート] をクリックし、[Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
 2. [プリンターの追加] を選択します。
 - Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合
 1. 画面左下隅の□を右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
 2. [プリンターの追加] を選択します。

5

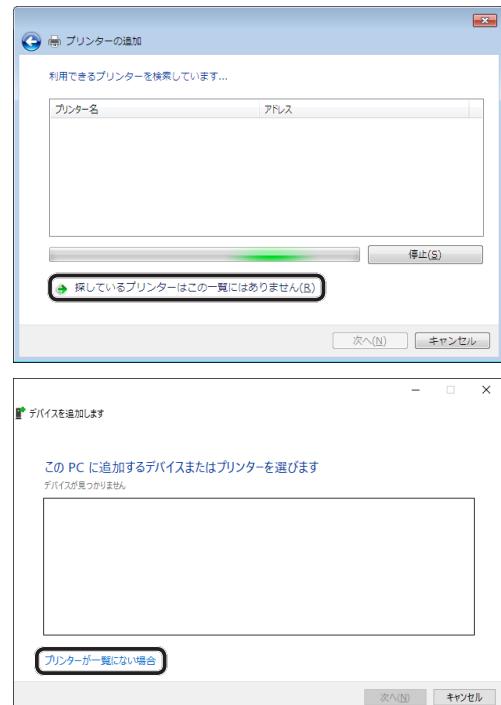
5. ネットワークに関する設定

- 4 Windows 7/Windows Server 2008 の場合は次の画面が表示されるので、[ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します] をクリックします。**



- Windows Server 2012 (R2 以外) の場合
 1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の [すべてのアプリ] を選択します。
 2. [Windows システムツール] の [コントロールパネル] > [デバイスとプリンター] を選択します。
 3. [プリンターの追加] を選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合
 1. [スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。
 2. [プリンターの追加] を選択します。
- Windows Server 2008 (R2 以外) の場合
 1. [スタート] をクリックし、[コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [プリンタ] を選択します。
 2. [プリンタのインストール] を選択します。

- 5 [探しているプリンターはこの一覧にはありません] または [プリンターが一覧にない場合] をクリックします。**



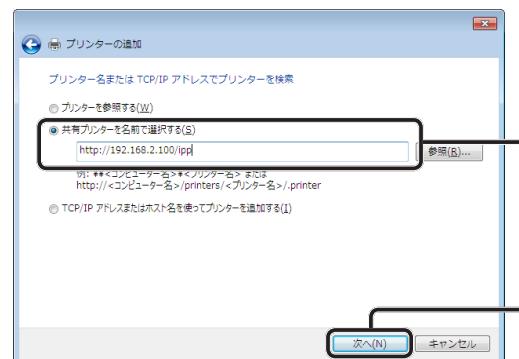
- 6 (1) [共有プリンターを名前で選択する] を選択して [URL] に次のように URL を入力して、(2) [次へ] をクリックします。**

■ IPv4 の場合

http:// [プリンターの IP アドレス] /ipp
(例 : http://192.168.100.100/ipp)

■ IPv6 の場合

http:// [[プリンターの IP アドレス]] /ipp
(例 : http://[fe80::0280:87ff:fe9b:49d9]/ipp)



メモ

- プリンターに DNS 設定がされていれば、IP アドレスの代わりにホスト名を入力することもできます。

7 [ディスク使用] をクリックします。

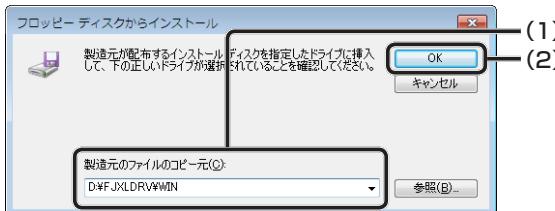


8 「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」をコンピューターに挿入します。

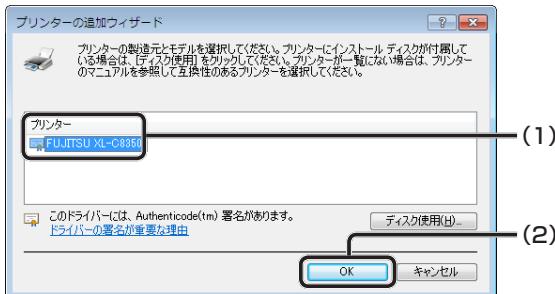
[FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ] ダイアログが自動的に表示されます。

9 メニューから [終了] をクリックします。

10 (1) [製造元のファイルのコピー元] に、プリンタードライバーが格納されている [D: ¥FJXLDRV ¥WIN] (CD-ROM ドライブが D: の場合) を入力し、(2) [OK] をクリックします。

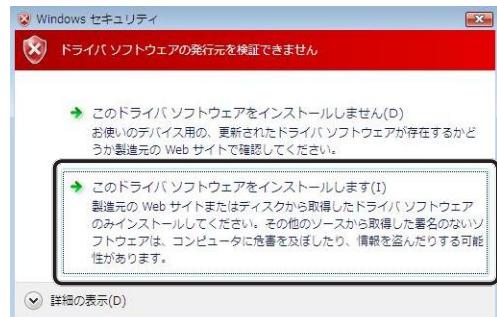


11 (1) プリンターを選択し、(2) [OK] をクリックします。

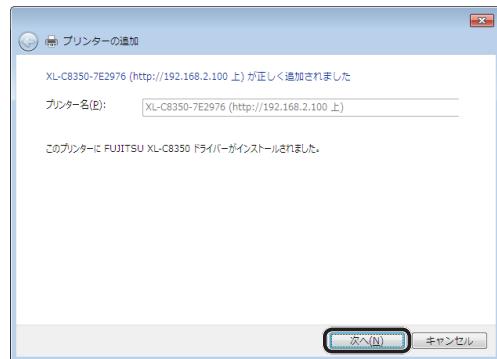


[ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示されたら、[はい] をクリックします。

12 次のような画面が表示された場合は、[このドライバーソフトウェアをインストールします] をクリックします。



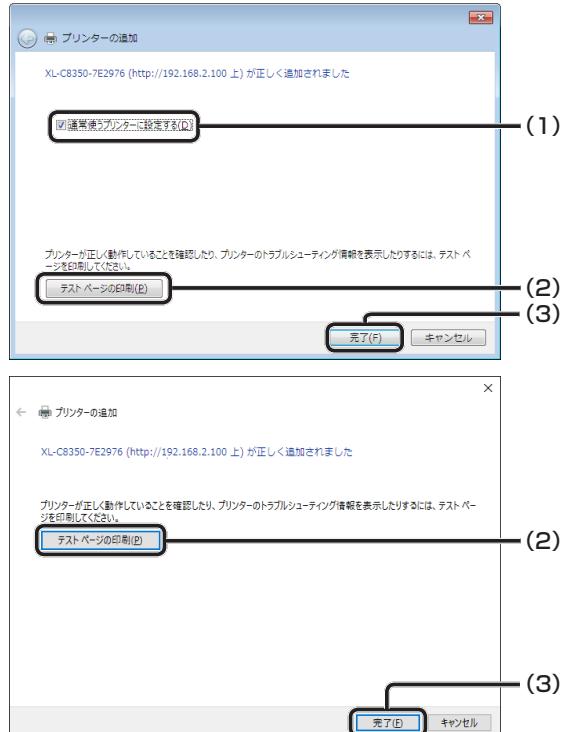
13 [次へ] をクリックします。



- 14** (1) 通常使うプリンターに設定する場合は【通常使うプリンターに設定する】にチェックをつけ、(2) テストページを印刷する場合は【テストページの印刷】をクリックし、(3) 【完了】をクリックします。

メモ

- OSにより、通常使うプリンターに設定するためのチェックボックスがない場合があります。



以上で設定は完了です。

IPv4 アドレス環境の場合は、「Network Extension」をインストールします。インストール方法については、「Network Extension」 - 「[\[インストールする\]](#) (P.71)」を参照してください。

メモ

- IPP 印刷を行うユーザーを制限することができます。設定方法については、「[IPP 印刷を行うユーザーを制限する](#) (P.96)」を参照してください。

IPP 印刷を実行する

メモ

- 次の手順では、メモ帳を例にしています。お使いのアプリケーションによって、記載と異なることがあります。

- 1 印刷したいファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 作成された IPP プリンターを [プリンターの選択] から選択し、[印刷] をクリックします。

IPP 印刷を行うユーザーを制限する

「FUJITSU Printer Internet Service」の管理者モードを利用して、あらかじめプリンターにユーザー名とパスワードを登録しておくことで、IPP 印刷を行うユーザーを制限することができます。

■ プリンターの設定 (管理者のみ)

プリンターに、IPP 印刷を許可するユーザーのユーザー名とパスワードを登録します。登録には、「FUJITSU Printer Internet Service」を利用します。

- 1 プリンターの Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。
- 2 [管理者設定] を選択します。
- 3 [ネットワーク設定] > [IPP 設定] を選択します。
- 4 [認証] の [Basic] を選択します。
- 5 [ユーザー名] と [パスワード] を入力します。
- 6 [送信] をクリックします。

■ コンピューターの設定

- 1 印刷を行うプリンターを選択します。
 - Windows Server 2016/Windows 10 の場合
 1. [スタート] をクリックし、[Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
 2. IPP 印刷を行うプリンターを選択します。
 - Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合
 1. 画面左下隅の田を右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
 2. IPP 印刷を行うプリンターを選択します。
 - Windows Server 2012 (R2 以外) の場合
 1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の [すべてのアプリ] を選択します。
 2. [Windows システムツール] の [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
 3. IPP 印刷を行うプリンターを選択します。
 - Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合
 1. [スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。
 2. IPP 印刷を行うプリンターを選択します。
 - Windows Server 2008 (R2 以外) の場合
 1. [スタート] をクリックし、[コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [プリンタ] を選択します。
 2. IPP 印刷を行うプリンターを選択します。

2 [プロパティ] ダイアログを表示します。

■ Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

- 1 使用するプリンターアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選択します。

■ Windows Server 2008 (R2 以外) の場合

- 1 使用するプリンターアイコンを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] を選択します。

3 [ポート] タブをクリックして、[印刷するポート] (<http://xxx.xxx.xxx.xxx./ipp>) を選択し、[ポートの構成] をクリックします。

4 (1) [指定されたユーザー アカウントを使う] を選択して、[ユーザー名] と [パスワード] を入力し、(2) [OK] をクリックします。

「プリンターの設定（管理者のみ）」の手順 5 (96 ページ) に登録してある [ユーザー名] と [パスワード] を入力してください。



! お願い

- [匿名アカウントを使う] [Windows ログオン名とパスワード (必要であればドメイン名も) を自動的に使う] の設定は、本プリンターでは未サポートです。設定しないでください。

プリンターの [プロパティ] ダイアログに戻ります。

5 [OK] をクリックします。

WSD 印刷

! お願い

- Windows Server 2008 (R2 以外) の場合、WSD 印刷は未サポートです。設定しないでください。

WSD 印刷を有効にする

WSD 印刷は、工場出荷時の設定では有効となっています。無効の場合は、先に WSD を有効にしてください。

- 1 プリンターの Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。

- 2 [管理者設定] を選択します。

- 3 [ネットワーク設定] > [TCP/IP] を選択します。

- 4 [設定変更] > [ステップ 2.] > [(追加設定) その他の TCP/IP 設定] を選択します。

- 5 [・Windows Rally:] > [WSD Print] の [有効] を選択し、[OK] をクリックします。

- 6 [設定変更] 画面に戻ったら、[送信] をクリックします。

インストールする

「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」から、プリンタードライバーのインストーラを起動して、セットアッププログラムでインストールを行います。

! 注

- USB ケーブルは接続しないでください。
- インストールを行う前に、あらかじめプリンターに IP アドレスを設定しておいてください。
- 使用するコンピューターとプリンターは、ネットワーク接続されている必要があります。
- 正常にインストールされないときは、手順 8 の画面でプリンターアイコンを右クリックして [アンインストール] を選択し、最初からインストールし直してください。

- 1 管理者としてログインします。

- 2 「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」をコンピューターに挿入します。

[FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ] ダイアログが自動的に表示されます。

メモ

- [FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ] ダイアログが自動的に表示されない場合は、エクスプローラーなどを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある [XLSTART.EXE] をダブルクリックしてください。[FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ] ダイアログが表示されます。
- 自動再生時や [XLSTART.EXE] をダブルクリックしたときに、[自動再生] ダイアログが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、[Xlstart.exe の実行] をクリックしてください。

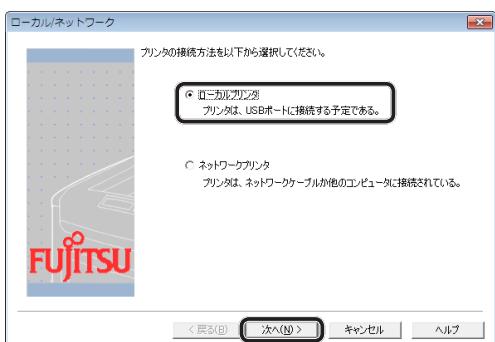
3 メニューから [プリンタドライバのインストール] をクリックします。



! 注

- [ユーザー アカウント 制御] ダイアログが表示されたら、[はい] をクリックします。

4 [ローカルプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。



5

5. ネットワークに関する設定

5 ポートで [USB] を選択し、[次へ] をクリックします。



ファイルのコピーが行われます。

6 プリンタードライバーをインストールします。
[ケーブルの接続] ダイアログが表示されたら、画面の指示に従いプリンタードライバーをインストールしてください。

! 注

- USB ケーブルは接続しないでください。



引き続き、WSD 印刷の設定を行います。

■ 参照

OS によって、設定手順が異なります。

- 「Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012 の場合」 (P.98)
- 「Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合」 (P.99)

■ Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012 の場合

画面は Windows 10 を例にしています。

7 [デバイスとプリンター] フォルダーを表示します。

■ Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1. [スタート] をクリックし、[Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の□を右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。

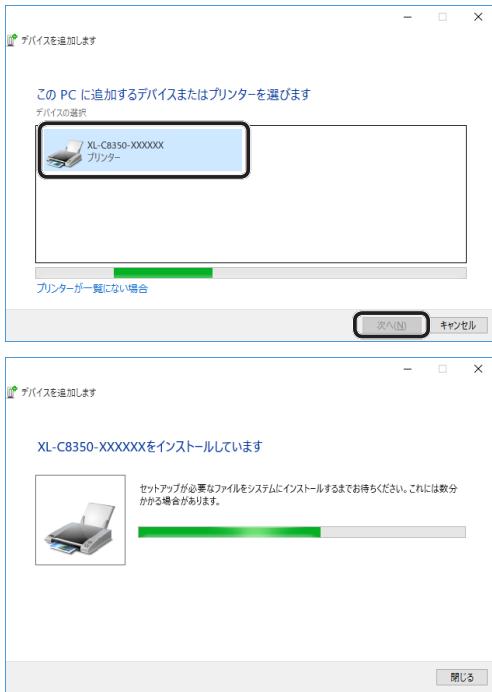
■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の [すべてのアプリ] を選択します。
2. [Windows システムツール] の [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。

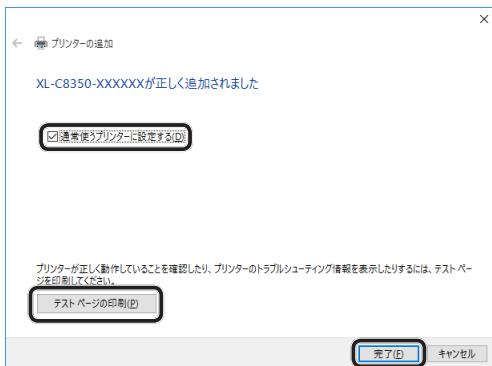
8 [プリンターの追加] をクリックします。



9 [XL-C8350-XXXXXX] を選択し、[次へ] をクリックします。



10 通常使うプリンターに設定するかどうかを選択し、テストページを印刷する場合は [テストページの印刷] をクリックし、[完了] をクリックします。



11 [完了] をクリックします。



[デバイスとプリンター] フォルダーにプリンターアイコンが追加されていれば、プリンタードライバーのインストールは完了です。

■ Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

7 エクスプローラーで [ネットワーク] を選択します。



5

5. ネットワークに関する設定

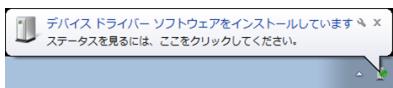
8 プリンターアイコンを右クリックし、[インストール] をクリックします。



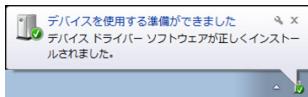
画面右下の通知領域に [デバイスドライバーソフトウェアが正しくインストールされました] と表示されます。



引き続き、画面右下の通知領域に [デバイスドライバーソフトウェアをインストールしています] と表示されます。



しばらくすると、[デバイスドライバーソフトウェアが正しくインストールされました] と表示されます。



9 [完了] をクリックします。



[デバイスとプリンター] フォルダーにプリンターアイコンが追加されていれば、プリンタードライバーのインストールは完了です。

WSD 印刷を実行する

メモ

- 次の手順では、メモ帳を例にしています。お使いのアプリケーションによって、記載と異なることがあります。

- 1 印刷したいファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 作成されたプリンターを [プリンターの選択] から選択し、[印刷] をクリックします。

IPSec で通信を暗号化する

! お願い

- 本プリンターでは、IPSec は未サポートです。設定しないでください。

本項目を設定すると、ネットワークからプリンターにアクセスできなくなることがあります。本項目を設定してネットワークからプリンターにアクセスできなくなった場合は、「ハードウェアガイド」 - 「こまつたときには」 - 「そのほかのトラブル」 - 「コンピューターから印刷できないとき」 - 「ネットワーク接続の問題」を参照してください。

SNMPv3 を使用する

! お願い

- 本プリンターでは、SNMPv3 は未サポートです。設定しないでください。

IPv6 を使用する

プリンターは IPv6 に対応しています。プリンターは IPv6 アドレスを自動的に取得します。IPv6 アドレスを手動で設定することはできません。

プリンターは次のプロトコルに対応しています。

● 印刷：

- LPR
- IPP
- RAW (Port9100)

● 設定：

- HTTP
- SNMPv1

特定の条件下で動作を確認済みのアプリケーションは、以下のとあります。

プロトコル	OS	アプリケーション	条件
LPD	Windows Server 2016/ Windows 10/ Windows 8.1/ Windows Server 2012/ Windows 7/ Windows Server 2008	LPR (コマンドプロンプト)	*1, 2
Port9100	Windows Server 2016/ Windows 10/ Windows 8.1/ Windows Server 2012/ Windows 7/ Windows Server 2008	LPRng	*1, 2

*1) ホスト名を指定するには、host ファイルを編集するか、DNS サーバー経由でアクセスします。

*2) リンクローカルアドレスを使用してアクセスする場合は、ホスト名を指定できません。

IPv6 を有効にする

- 1 プリンターの Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。
- 2 [管理者設定] を選択します。
- 3 [ネットワーク設定] > [TCP/IP] を選択します。
- 4 [IPv6] の [有効] を選択します。
- 5 [送信] をクリックします。
ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。

IEEE802.1X を使用する

! お願い

- 本プリンターでは、IEEE802.1X は未サポートです。設定しないでください。
本項目を設定すると、ネットワークからプリンターにアクセスできなくなることがあります。本項目を設定してネットワークからプリンターにアクセスできなくなった場合は、「ハードウェアガイド」 - 「こまつたときには」 - 「そのほかのトラブル」 - 「コンピューターから印刷できないとき」 - 「ネットワーク接続の問題」を参照してください。

IPv6 アドレスを確認する

IPv6 アドレスは、自動的に割り当てられます。

5

5.

ネットワークに関する設定

- 1 [装置情報] を選択します。
- 2 [ネットワーク] > [TCP/IP] を選択します。

メモ

- グローバルアドレスがすべて「0」で表示されている場合は、お使いのルーターに起因するエラーの可能性があります。

備考

- <設定>ボタンを押し、[プリンタ情報印刷] > [ネットワーク] を選択すると、プリンターからのネットワークレポートで IPv6 アドレスを確認することができます。レポートと、レポートを印刷する方法については、「プリンタ情報を印刷する」(P.37) を参照してください。

■ その他の操作

この節では、ネットワーク設定を初期化する方法と、DHCP を使用するようにプリンターおよびコンピューターをセットアップする方法について説明します。

ネットワーク設定を初期化する



- この操作を行うと、すべてのネットワーク設定が初期化されます。

- <設定>ボタンを押します。
- スクロールボタン▼を押して [管理者用メニュー]を選択し、<設定>ボタンを押します。
- テンキーから管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。
- <設定>ボタンを押します。
- [ネットワーク設定] が選択されていることを確認し、<設定>ボタンを押します。
- スクロールボタン▼を押して [工場出荷時設定]を選択し、<設定>ボタンを押します。
- [実行] が選択されていることを確認し、<設定>ボタンを押します。
ネットワークの設定が初期化されます。

DHCP を使用する

DHCP サーバーから IP アドレスを取得できます。



- 管理者の権限が必要です。

DHCP サーバーの設定をする

DHCP は、TCP/IP ネットワーク上の各ホストに IP アドレスを割り当てます。



- ネットワーク経由で印刷したい場合は、プリンターが固定 IP アドレスを持っている必要があります。固定 IP アドレスを割り当てる方法については、お使いの DHCP サーバーのマニュアルを参照してください。



- 以下の OS に対応しています。
 - Windows Server 2016/Windows Server 2012/
Windows Server 2008
- 次の手順では、Windows Server 2008 R2 を例にしています。
お使いの OS によって、記載と異なることがあります。

- [スタート] をクリックし、[管理ツール] > [サーバーマネージャー] を選択します。
[管理ツール] に [DHCP] がすでに表示されている場合は、手順 8 に進みます。
- [役割の概要] で [役割の追加] を選択します。
- [役割の追加ウィザード] で、[次へ] をクリックします。
- [DHCP サーバー] にチェックをつけ、[次へ] をクリックします。
- 必要に応じて、画面の指示に従って設定します。
- [インストール オプションの確認] 画面で、設定を確認し、[インストール] をクリックします。
- インストールが終了したら、[閉じる] をクリックします。
- [スタート] をクリックし、[管理ツール] > [DHCP] を選択して [DHCP] ウィザードを起動します。

9 DHCP リストで、使用するサーバーを選択します。

10 [操作] メニューから [新しいスコープ] を選択します。

11 [新しいスコープ ウィザード] で、必要に応じて画面の指示に従って設定をします。

※メモ

- 必ずデフォルトゲートウェイの設定をしてください。
- [スコープのアクティブ化] 画面で、[今すぐアクティブにする] を選択します。

12 [完了] をクリックします。

13 DHCP リストから新しいスコープを選択し、
[予約] を選択します。

14 [操作] メニューから [新しい予約] を選択します。

15 設定をします。

16 [追加] をクリックします。

17 [閉じる] をクリックします。

18 [ファイル] メニューから [終了] を選択します。

※メモ

- 工場出荷時の設定では、DHCP プロトコルが有効になっています。
無効に設定している場合は有効にしてください。

6. こんなときには

この章では、初期化とプリンタードライバーの削除・更新について説明します。

■ 初期化する

この節では、プリンターの機器設定を工場出荷時の設定にリセットする方法について説明します。

プリンターを購入時の状態に戻したいときに行います。



- 工場出荷時の設定では、[Boot Menu] の [Storage Setup] の [Enable Initialization] が [No] に設定されているため、[初期化] を選択できません。[Boot Menu] の [Storage Setup] で、[Enable Initialization] を [Yes] に設定します。



- [管理者用メニュー] メニューに入るには、管理者パスワードが必要です。工場出荷時のパスワードは「aaaaaaa」です。

機器設定を初期化する

機器設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。

- <設定>ボタンを押します。
- スクロールボタン▼を押して [管理者用メニュー] を選択し、<設定>ボタンを押します。
- テンキーから管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「aaaaaaa」です。
- <設定>ボタンを押します。
- スクロールボタン▼を押して [設定値] を選択し、<設定>ボタンを押します。
- [出荷時に戻す] が選択されていることを確認し、<設定>ボタンを押します。
- [実行] が選択されていることを確認し、<設定>ボタンを押します。

■ プリンタードライバーを削除またはアップデートする

この節では、使用中のプリンタードライバーを削除またはアップデートする方法について説明します。

プリンタードライバーを削除する

アンインストーラを使用せずに [デバイスとプリンター] フォルダーまたは [プリンタ] フォルダから削除する方法と、アンインストーラを使用する方法があります。

アンインストーラを使用する場合は、プリンターに添付の「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」または富士通製品情報ページ (<http://www.fmworld.net/biz/printer/>) からダウンロードしたプリンタードライバーが必要です。

関連参照

- 「アンインストーラを使用して削除する場合」(P.106)
- 「アンインストーラを使用せずに削除する場合」(P.106)

アンインストーラを使用して削除する場合

6

- 1 管理者としてログインします。
- 2 「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」をコンピューターに挿入します。
[FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ] ダイアログが自動的に表示されます。
- 3 メニューから [終了] をクリックします。
- 4 エクスプローラーでアンインストーラが格納されている [D: ¥drvinst ¥drvuninst ¥DrvUninst.exe (コンピューターのOSが64ビット版の場合は D: ¥drvinst ¥drvuninst64 ¥DrvUninst.exe)] (CD-ROMドライブがD:の場合) を選択し、ダブルクリックします。

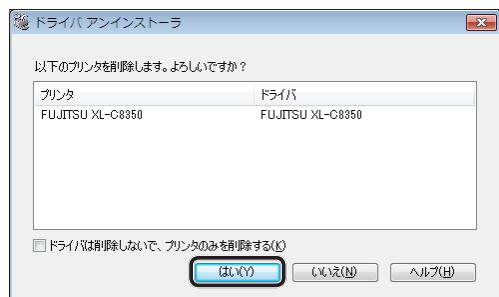
メモ

- [ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示されたら、[はい] をクリックします。
- 5 削除するプリンターを選択し、[削除] をクリックします。



- 6 [はい] をクリックします。

[ドライバは削除しないで、プリンタのみを削除する] を選択すると、プリンターのみ削除されます。



[プリンタドライバを削除しています。しばらくお待ちください] と表示されます。

- 7 [プリンタとドライバの削除が完了しました。] と表示されたら、[完了] をクリックします。



再起動を要求するメッセージが表示されます。

- 8 [はい] をクリックして、コンピューターを再起動します。

以上で、プリンタードライバーの削除は完了です。

アンインストーラを使用せずに削除する場合

- 1 管理者としてログインします。
- 2 [コントロールパネル] を起動します。
 - Windows Server 2016/Windows 10 の場合
 1. [スタート] をクリックし、[Windows システムツール] > [コントロールパネル] を選択します。
 - Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合
 1. 画面左下隅の□を右クリックし、[コントロールパネル] を選択します。
 - Windows Server 2012 (R2以外) の場合
 1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の [すべてのアプリ] を選択します。
 2. [Windows システムツール] の [コントロールパネル] を選択します。

■ Windows 7/Windows Server 2008 の場合

- 【スタート】をクリックし、【コントロールパネル】を選択します。

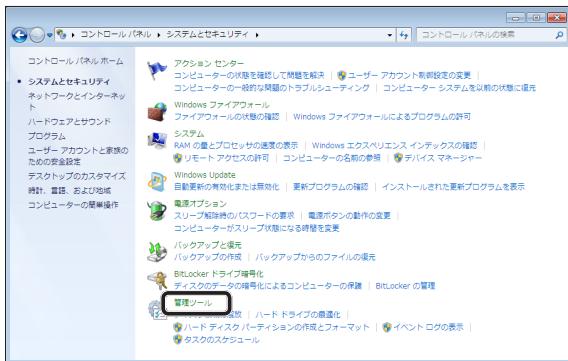
3 【システムとセキュリティ】をクリックします。



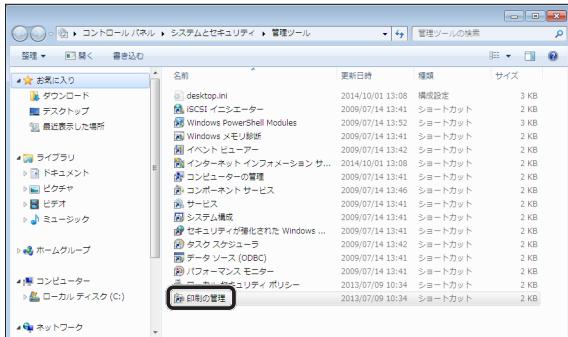
4 【管理ツール】をクリックします。

! 注

- Windows Server 2012 R2 で管理ツールがない場合は、サーバーマネージャーの【役割と機能の追加】から【印刷とドキュメントサービス】の【プリントサーバー】をインストールする必要があります。

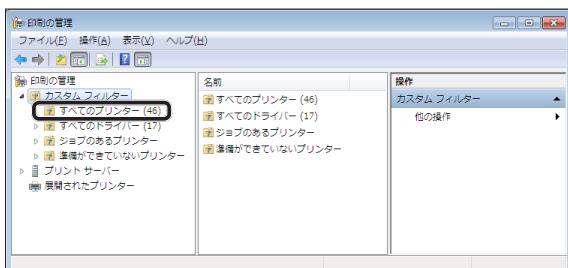


5 【印刷の管理】をダブルクリックします。



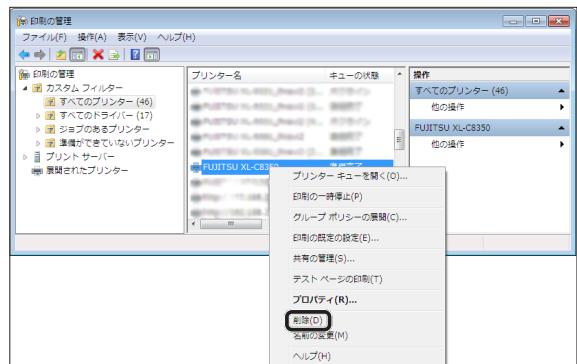
【印刷の管理】ダイアログが表示されます。

6 左側にあるツリーで、【カスタムフィルター】>【すべてのプリンター】を選択します。

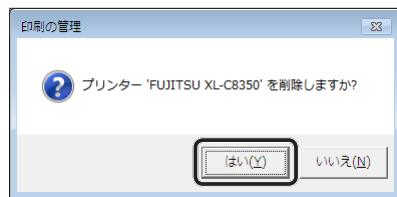


削除するプリンターが一覧に表示されていない場合は、手順 9 に進んでください。

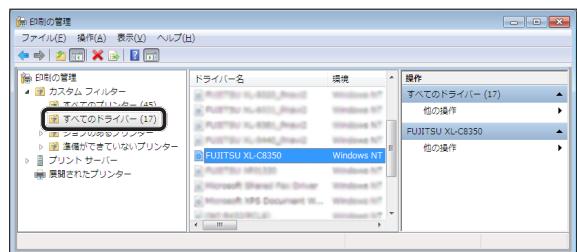
7 削除するプリンター名を右クリックし、【削除】をクリックします。



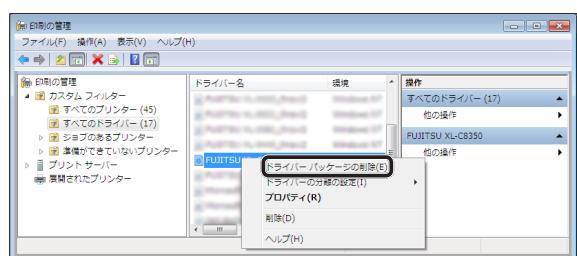
8 【はい】をクリックします。



9 左側にあるツリーで【カスタムフィルター】>【すべてのドライバー】を選択します。



10 削除するドライバ名を右クリックし、【ドライバーパッケージの削除】をクリックします。

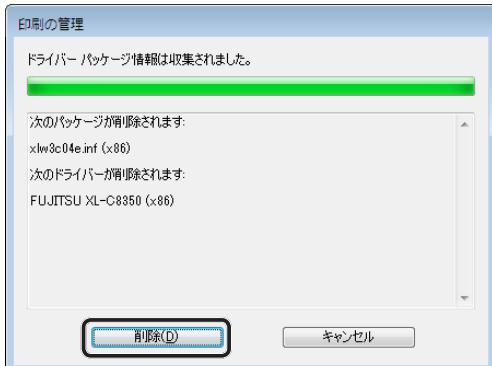


【ドライバーパッケージ情報は収集されました。】というメッセージが表示されます。

メモ

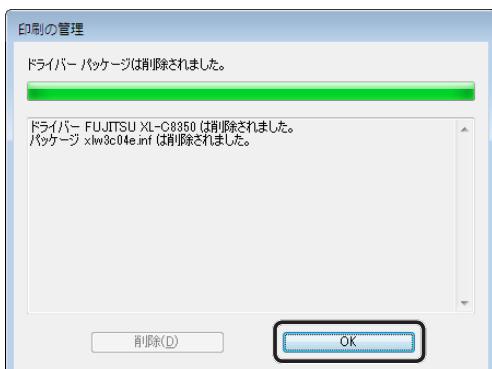
- 削除できない場合は、Windows を再起動してから再度実施してください。

11 [削除] をクリックします。



[ドライバーパッケージは削除されました。] というメッセージが表示されます。

12 [OK] をクリックします。



13 Windows を再起動します。

メモ

- ドライバーの削除後に、USB ケーブルを接続したままで Windows を再起動すると、再びプラグアンドプレイが動作して、[ドライバのインストールに失敗しました] というメッセージが表示されるため、プリンターを使用しない場合にはケーブルを外してください。

参考

- プリンタードライバーといっしょにインストールされる FUJITSU LPR ユーティリティと Network Extension は、プリンタードライバーの削除をしても削除されません。 FUJITSU LPR ユーティリティと Network Extension を削除する場合は、「FUJITSU LPR ユーティリティ」 - 「アンインストールする」(P.70)、「Network Extension」 - 「アンインストールする」(P.72) を参照してください。

プリンタードライバーをアップデートする

まず、プリンタードライバーのバージョンを確認します。

1 [デバイスとプリンター] フォルダーまたは [プリンタ] フォルダーを表示します。

■ Windows Server 2016/Windows 10 の場合

- [スタート] をクリックし、[Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

- 画面左下隅の□を右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

- スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の [すべてのアプリ] を選択します。
- [Windows システムツール] の [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。

■ Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

- [スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。

■ Windows Server 2008 (R2 以外) の場合

- [スタート] をクリックし、[コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [プリンタ] を選択します。

2 [プロパティ] ダイアログを表示します。

■ Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

- 使用するプリンターアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選択します。

■ Windows Server 2008 (R2 以外) の場合

- 使用するプリンターアイコンを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] を選択します。

3 [基本設定] タブの [バージョン情報] をクリックします。

プリンタードライバーのバージョンが表示されます。



プリンタードライバーのアップデートは、旧バージョンのプリンタードライバーを削除してから、新しいプリンタードライバーをインストールして行います。

[[参照](#)]

- 削除方法については、「[プリンタードライバーを削除する](#)」([P.106](#)) を参照ください。
- インストール方法については、「[ハードウェアガイド](#)」 – 「コンピューターに接続する」を参照ください。

**カラーページプリンタ XL-C8350
ソフトウェアガイド**

B5WY-1701-01 Z0-00

発行日 2017年8月
発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権および他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。